2008 7



Architecture and Society
建築と社会

特集/中国地方を訪ね歩いて見えるもの
小林聖心女子学院

日本建築協会

TAKENAKA
CORPORATION

コドモとオトナを
行ったり来たり。



Inter-Art Museum
小学生の美術展より
「なわとび」

「?」や「!」を大切にする会社です。

コドモのイマジネーションには、羽根が生えています。
オトナには、状況を判断し、的確な答を出す力があります。
プランを練るとき、図面に向かうとき、
私たちは、コドモとオトナを行ったり来たりしているのです。

www.takenaka.co.jp

想いをかたちに
竹中工務店

お問い合わせは ―― 広報部へ
〒136-0075 東京都江東区新砂1丁目1-1 Tel.03(6810)5140
〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-13 Tel.06(6263)5605

会長就任ごあいさつ



中井　進

このたび新しく会長に就任しました中井進です。大任を仰せつかり、身のひきしまる思いです。私なりに努力する所存ですが、会員の皆様のより一層のご支援をお願いいたします。

次の百年につなぐ

日本建築協会は本年92年目の活動をはじめたところです。創立の大正６年以来、“建築を通じて広く社会に貢献する”ことをめざし、建築界では最も歴史のある公益法人として様々の活動を続け、現在では、会誌「建築と社会」、日本建築協会賞、青年技術者表彰、工高生デザインコンクールほか多彩な実践と継続は、広く認められるところとなっています。この輝かしい歴史と実績を次の百年につなぎ、これらをいかした新しい展望を拓いていきたいと考えています。すでに百年を目指す10年委員会が発足し、いろいろな企画がはじめられてます。この活動にもぜひ会員の皆様の参加・ご協力を仰ぎたいと思います。

各分野の裾野を活用する

日本建築協会は“建築に関する学術・技芸・事業の進歩・発展を図る”ために、単なる職能団体ではなく、広く建築界の各分野よりなる会員で組織され、いわば“サロン”的なテイストで独自の活動を展開してきたといえます。耐震偽装に端を発する法改定や建築界の再編成ともいえる状況の中で、職能団体という限界を超えて、最も広い裾野を持つ日本建築協会こそが大きな力を発揮できる可能性があるのではないでしょうか。自らの立脚点を再度見つめなおす中から新しい活路も開けてくると思います。まちづくりを提案できる仕掛けも継続し、会員層の広さや地域性に根ざした活動を続けたいと考えています。

若い力を組織する

大きな課題ですが、会員数はここしばらく少しずつ減少しています。状況の変化に見合うものだともいえますが、思い切って若い力を活用することが必要だと思います。幸い、これまで建築協会は、50年以上にわたる青年技術者表彰や工高生コンペなどを通じて、新しい人材を定常的に発掘してきました。この人材群にうまく接続しながら、若い力を活性化のために組織していければと考えています。若い会員だけの企画なども立ち上げたいと思います。

前会長のもとに、財政再建のための施策が実行されてきましたが、建築協会の再建も端緒についたばかりです。“建築を通じて広く社会に貢献する”ことをめざし、次の百年につないでいくためにも、引き続きぜひ会員の皆様方のご協力・ご支援を重ねてお願いしたいと思います。

総会議決お知らせ

平成20年６月18日開催の平成20年度第１回通常総会において、下記議案がそれぞれ原案のとおり承認されました。

- 第１号議案
  平成19年度事業報告の件
  （詳細p3）
- 第２号議案
  平成19年度収支決算報告の件
  （詳細p4）
- 第３号議案
  役員選任の件

＊６月21日付で退任した理事（敬称略・順不同）
名張隆司／㈱大阪ガス
岡田聿之／㈱東畑建築事務所
松本壮一郎／愛知工業大学
任田　勉／西松建設㈱
前川　翼／㈳大阪建設業協会
相馬一男／住友電設㈱
伴　昭秀／㈱西原不動産管理

退任された理事の方には、長年にわたり会務遂行にご尽力いただき、ありがとうございました。
再任及び新任の理事、監事はP7の会務分掌の表のとおりです。

臨時理事会議決のお知らせ

平成20年６月22日開催の平成20年度第１回臨時理事会において、役付役員並びに理事の会務分掌が、P7の会務分掌の表のとおり決まりました。

IDEC SALES OFFICE（全館LED照明社屋）見学会

［㈳大阪府建築士会および、㈳日本建築家協会のCPD対象（２単位）］

環境、省エネルギー性が問われる昨今、大阪の淀川区三国に省エネ・CO_2削減を追求した、地球環境に優しい世界初の全館LED照明のオフィスビルが竣工しました。
この「IDEC SALES OFFICE」においてLED照明の実物採用事例を見学すると同時に、照明器具を試作し本館に設置した総合制御機器メーカーIDEC㈱からご説明いただき、LED照明の今後の可能性を実感していただきたいと企画しました。

日　時　2008年７月23日（水）
　　15：30～17：30
　　（15：00より受付開始）
集　合　IDEC SALES OFFICE
　　１階ショールーム

定　員　40名
　　（同業他社はご遠慮ください）
　　※申込み多数の場合は抽選
参加費　会員500円　一般1,000円
　　学生は各半額
申　込　７月11日（金）までに、
　　①IDEC SALES OFFICE見学
　　②氏名
　　③会員・一般の種別
　　④職場名または学校名
　　⑤参加票送付先
　　（住所、郵便番号）
　　⑥連絡先電話番号
　　⑦CPD申請を希望する人は
　　申請先団体名
　　を明記のうえ、下記へお申し込み下さい。
申込先　㈳日本建築協会編集事業課
　　大阪市中央区大手前1-7-31
　　（〒540-6591）
　　TEL：06-6946-6981
　　FAX：06-6946-6984
　　E-mail：jigyoka@aaj.or.jp

●建築概要
所在地　大阪市淀川区三国本町1-10-40
建築主　IDEC株式会社
設計監理　鹿島建設㈱
施　工　鹿島建設㈱



全館LED照明の社屋

平成19年度事業報告書

平成19年4月1日～平成20年3月31日

1．総　　会

(1) **第1回通常総会**　平成19年6月14日
議事　①平成18年度事業報告書（案）の件
②平成18年度収支決算書（案）の件
③役員の選任の件

(2) **第2回通常総会**　平成20年3月26日
議事　①平成20年度事業計画（案）の件
②平成20年度収支予算（案）の件

2．理　　事　　会

(1) **第1回通常理事会**　平成19年6月6日
議事　①平成18年度事業報告書（案）の件
②平成18年度収支決算書（案）の件
③役員の選任の件
④会議等の開催について

(2) **第1回臨時理事会**　平成19年6月22日
議事　①役付き役員選任の件
②常設委員長並びに常任理事委嘱の件
③理事の会務分掌の件

(3) **第2回通常理事会**　平成20年3月26日
議事　①平成20年度事業計画（案）の件
②平成20年度収支予算（案）の件

3．評　議　員　会

(1) **第1回定時評議員会**　平成19年6月6日
議事　①役員候補者選任の件

4．役　員　会　等

(1) 常任理事会　　8回
(2) 常設委員長会議　1回

5．常設委員会等

(1) 編集委員会　委員会　12回　小委員会等　90回
(2) 事業委員会　　7回
(3) 教育委員会　　5回
(4) 出版委員会　委員会　11回
(5) 建材委員会　　2回

6．特別委員会等

(1) 工高生デザインコンクール審査委員会　1回
(2) 青年技術者選考委員会　1回
(3) 読者と選ぶ「建築と社会」賞審査会　1回

7．建築と社会・特集号

4月号　創立90周年記念―この10年、これからの10年―
5月号　あそび 考
6月号　こだわりが創る住まいのカタチ
7月号　住まいの設備と空間の移り変わり
8月号　建築系雑誌が伝えるもの
9月号　建築基準法等 大改正
10月号　第54回青年技術者
11月号　ガラスを考える
12月号　楽しい構造の世界
1月号　私の空間作法―会員作品―
2月号　PFI事業、その後
3月号　東海支部会員作品2008＋東海支部特集3部作

8．講　　演　　会

「地域の中で自然を保全する―ThinkもActもローカルで」　6月14日　参加者50名
講師：池田　啓（兵庫県立大学教授、兵庫県立コウノトリの郷公園研究部長）

9．見　　学　　会

- **茶室「西翁院澱看席」**　9月29日　参加31名
- **大阪市中高一貫教育校（咲やこの花中学校及び高校）**　平成20年1月19日　参加32名
- **武庫川女子大学甲子園会館（旧甲子園ホテル）**
3月1日　参加33名

10．建築工事実務講習会

- **本部主催「施工計画・仮設見積」**
10月11日（木）　9：15～17：15　受講者：46名
講師：①施工計画（地下工事）・仮設工事
―白塚芳郎／鴻池組大阪本店
②施工計画（上部工事）・工程計画
―河野浩司／竹中工務店大阪本店
③仮設計画・同見積り
―阪井　聡／大林組本店
- **東海支部主催「施工計画・仮設見積・積算業務」**
1月29日（火）　9：30～17：00　受講者：46名
講　師：①施工計画―古澤新司／清水建設名古屋支店
②仮設見積―横山裕司／大林組名古屋支店
③積算業務―山田　治／竹中工務店名古屋支店

11．新建材の紹介

建材委員会事業として、会誌「建築と社会」の誌面を活用し、新建材の特性・市場への展開等の紹介を行った。

12．展示会出展

けんざい2007（第19回総合建築材料、住宅設備展）に出展。

13．コンクール

- **第53回工高生デザイン・コンクール**

設計課題：こども園　応募者：30校・139点
審査会：10月20日　表彰式：11月10日
審査委員長：林　浩二／大林組本店設計部長
入選作品：10点（うち最優秀1点、優秀2点）
- 東横堀川ライトアップデザイン・アイデアコンペ～水と光の回廊づくりへ～（関西電力㈱と共催）

設計課題：光による環境演出
応募者：デザイン部門19点　アイデア部門27点
審査会：9月20日　表彰式：10月11日
審査委員：北川フラム　木下博夫　佐藤友美子　橋爪紳也　堀井良殷　面出薫　大橋達夫
入選作品：デザイン部門3点
（うち最優秀1点、佳作2点）
アイデア部門8点
（うち最優秀3点、特別賞5点）

14．後援・協賛等の承認

- 「日本マンション学会創立15周年記念京都大会及び、同市民公開シンポジウム」に対する後援
- 「エネルギーソリューション＆蓄熱フェア2007」に対する後援
- 「第29回Japan Home & Building Show2007」に対する協賛
- 「けんざい2007」（第19回総合建築材料・住宅設備展）に対する後援
- 特集展示「大阪が生んだ偉才　建築家・中村順平［生誕120年］展」に対する後援
- 「第14回大阪心ふれあうまちづくり賞」に対する協賛
- 「第27回大阪都市景観建築賞（大阪まちなみ賞）」に対する協賛
- 「講習会（民間（旧四会）連合協定工事請負契約約款の解説）」に対する後援
- 「偉大なるオブセッション　フランク・ロイド・ライト建築と日本～ドキュメンタリー映画上映会～」開催に対する後援
- 「Osaka Home Expo 2007（旧Osaka Home Show）」に対する協賛
- 「契約書　改正講習会」に対する後援
- 「建築・建材展2008」に対する協賛
- 「ウィリアム・メレル・ヴォーリズ展」に対する後援
- 「あすなろ夢建築」第17回大阪府公共建築設計コンクールに対する後援
- 「第31回人間―生活環境系シンポジウム」に対する協賛
- 「第25回睡眠環境シンポジウムに」対する協賛
- シンポジウム「大阪を中心とした郷土建築座談会」に対する後援
- 『瓦kawara―景観をデザインする』に対する後援
- セミナー「実例で示す木造建物の耐震補強と維持管理」に対する後援
- 「2007年　E・家・くらし　住まいの設計コンテスト」に対する後援
- 「平成20年度1級・2級建築施工管理技術検定試験受験準備講習会」の共催
- 「第10回睡眠環境フォーラム」に対する協賛
- シンポジウム「法改正は建築文化の変革をもたらすか」に対する協賛
- 「ATC関西学生卒業作品展vol.13」に対する後援
- 創立25周年記念事業講演会「未来を語ろうー毛利衛さんを迎えてー」に対する後援

15．青年技術者の顕彰

- 満35歳以下の青年技術者を対象に、昭和29年度より実施しており、第54回は、応募者24名のうち18名を顕彰した。
- また、顕彰者を称え激励するため、表彰式・講演会、及び先輩・役員との交流会を平成18年度と同様に実施した。

16．会員名簿の作成発行

- 隔年発行である会員名簿を発行し、全会員へ無償で配布した。

17．合同忘年懇親会等

- **建築関係4団体合同忘年懇親会**

19年度は、㈳大阪府建築士事務所協会が当番会となり、次のとおり開催した。
12月14日　18：00～19：30　太閤園
- **建築関係14団体合同新年交礼会**

19年度は、㈳日本建家協会近畿支部が当番会となり実施された。
平成20年1月4日　14：30～15：30　シェラトン都ホテル大阪
＜けんちく名曲コンサート＞
建築関係14団体で新年交礼会50周年を記念して、音楽会を実施した。
9月28日　19：00～20：30　OBPいずみホール
出演　テレマン室内管弦楽団

18．役員を送った団体

大阪商工会議所	2号議員
大阪市街地再開発促進協議会	理事
日本建築総合試験所	評議員
大阪建築防災センター	評議員
大阪住宅センター	理事
国際デザイン交流協会	評議員

19．各支部事業活動

京都支部
- 会議の開催　総会1回　役員会1回
- 事業　見学会1回
受験講習会　1級建築士（学科）延べ24日間
2級建築士（製図）延べ4日間

中国支部
- 会議の開催　総会1回　常議員会1回　企画・幹事会5回
「第1回工高生建築作品展示会in中国」編集委員会8回
- 事業「第1回工高生建築作品展示会in中国」開催講演会及び懇親会1回

東海支部
- 会議の開催　総会1回　役員会等9回　総務委員会等の委員会35回
- 事業　支部機関紙の発行2回
講演会1回　見学会1回
支部会員名簿の発行
懇親会2回　ゴルフ親睦会2回
「建築と社会」東海特集号編集
協力事業　中部建築賞協議会ほか4団体の事業実施に協力した。
建築8団体の新年互例会で幹事を担当した。

和歌山支部
- 会議の開催　総会1回　幹事会1回
- 事業　懇親会1回

平成19年度決算報告書

貸借対照表

平成20年３月31日現在　　(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金・預金	32,444,510	42,486,689	-10,042,179
貯蔵品	95,271	93,109	2,162
未収入金	3,699,733	4,135,966	-436,233
前払費用	173,134	945,075	-771,941
仮払金	0	59,280	-59,280
流動資産合計	36,412,648	47,720,119	-11,307,471
２．固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
記念事業積立預金	3,000,000	3,000,000	0
事業基金積立預金	29,000,000	27,000,000	2,000,000
退職給付引当資産	6,330,304	5,960,304	370,000
特定資産合計	38,330,304	35,960,304	2,370,000
(3) その他固定資産			
什器備品	111,260	111,260	0
ソフトウェア	0	27,606	-27,606
投資有価証券	443,316	441,630	1,686
保証金	3,436,650	3,436,650	0
その他固定資産合計	3,991,226	4,017,146	-25,920
固定資産合計	42,321,530	39,977,450	2,344,080
資産合計	78,734,178	87,697,569	-8,963,391
Ⅱ　負債の部			
１．流動負債			
未払金	2,419,108	2,783,390	-364,282
前受金	10,436,047	28,699,790	-18,263,743
預り金	119,193	403,908	-284,715
流動負債合計	12,974,348	31,887,088	-18,912,740
２．固定負債			
退職給付引当金	6,330,304	5,960,304	370,000
固定負債合計	6,330,304	5,960,304	370,000
負債合計	19,304,652	37,847,392	-18,542,740
Ⅲ　正味財産の部			
１．指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
２．一般正味財産	59,429,526	49,850,177	9,579,349
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(32,000,000)	(30,000,000)	(2,000,000)
正味財産合計	59,429,526	49,850,177	9,579,349
負債及び正味財産合計	78,734,178	87,697,569	-8,963,391

正味財産増減計算書

平成19年４月１日～平成20年３月31日　　(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	48,558,400	51,110,718	-2,552,318
個人正会員受取会費	14,865,200	15,918,700	-1,053,500
個人正会員（地方）受取会費	1,068,900	1,101,450	-32,550
団体正会員受取会費	32,607,500	34,060,468	-1,452,968
準会員受取会費	16,800	30,100	-13,300
事業収益	26,372,376	25,953,142	419,234
会誌収益	16,606,136	20,834,697	-4,228,561
契約約款収益	5,244,030	2,637,760	2,606,270
会員名簿収益	1,945,900	0	1,945,900
出版委員会収益	782,868	588,423	194,445
事業委員会収益	224,000	389,000	-165,000
教育委員会収益	1,018,792	1,339,012	-320,220
建材委員会収益	0	0	0
事業雑収益	550,650	164,250	386,400
雑収益	280,797	74,058	206,739
記念事業収益	0	465,000	-465,000
経常収益計	75,211,573	77,602,918	-2,391,345
(2) 経常費用			
事業費	38,808,784	42,151,593	-3,342,809
給料・手当	13,594,277	14,311,864	-717,587
法定福利費	1,270,093	1,183,104	86,989
会誌発行費	16,099,432	21,505,000	-5,405,568
契約約款費	3,373,437	1,252,431	2,121,006
会員名簿発行費	2,019,099	0	2,019,099
出版委員会事業費	226,413	109,135	117,278
事業委員会事業費	172,957	220,656	-47,699
教育委員会事業費	1,721,308	1,732,402	-11,094
建材委員会事業費	0	0	0
記念事業費	0	1,691,053	-1,691,053
雑費	331,768	145,948	185,820
管理費	26,823,440	27,184,091	-360,651
給料・手当	11,565,789	12,127,287	-561,498
退職給付費用	370,000	0	370,000
法定福利費	1,391,766	1,221,655	170,111
福利厚生費	0	0	0
助成費	2,279,462	2,317,583	-38,121
会議費	1,008,555	988,799	19,756
旅費交通費	63,580	104,760	-41,180
通信運搬費	440,341	434,967	5,374
減価償却費	27,606	66,255	-38,649
集金費	723,375	812,815	-89,440
消耗品費	1,804,837	2,019,721	-214,884
備品購入費	136,395	99,750	36,645
修繕費	0	15,456	-15,456
印刷製本費	0	0	0
光熱水料費	248,429	249,665	-1,236
保険料	18,520	17,200	1,320
租税公課	698,200	610,200	88,000
清掃費	14,700	14,700	0
建物管理費	4,353,690	4,349,175	4,515
雑費	1,678,195	1,734,103	-55,908
経常費用計	65,632,224	69,335,684	-3,703,460
当期経常増減額	9,579,349	8,267,234	1,312,115
２．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	9,579,349	8,267,234	1,312,115
一般正味財産期首残高	49,850,177	41,582,943	8,267,234
一般正味財産期末残高	59,429,526	49,850,177	9,579,349
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	59,429,526	49,850,177	9,579,349

財務諸表に対する注記

1．重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法
その他の有価証券　時価のあるもの…期末日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は移動平均法により算定）によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法
什器備品及びソフトウェア……定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準
退職給付引当金……期末退職給与の要支給額を引当てている。

(4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

2．基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小　　計	0	0	0	0
特定資産				
記念事業積立預金	3,000,000	0	0	3,000,000
事業基金積立預金	27,000,000	2,000,000	0	29,000,000
退職給付引当資産	5,960,304	370,000	0	6,330,304
小　　計	35,960,304	2,370,000	0	38,330,304
合　　計	35,960,304	2,370,000	0	38,330,304

3．基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科　　目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
小　　計	0	－	－	－
特定資産				
記念事業積立預金	3,000,000	－	(3,000,000)	－
事業基金積立預金	29,000,000	－	(29,000,000)	－
退職給付引当資産	6,330,304	－	－	(6,330,304)
小　　計	38,330,304	－	(32,000,000)	(6,330,304)
合　　計	38,330,304	－	(32,000,000)	(6,330,304)

4．固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,112,560	1,001,300	111,260
ソフトウェア	331,275	331,275	0
合　　計	1,443,835	1,332,575	111,260

財産目録

平成20年３月31日現在　　(単位：円)

科目	金額		
Ⅰ　資産の部			
1．流動資産			
現金預金	32,444,510		
現金手許有高	49,781		
普通預金 三井住友銀行大阪中央支店	9,172,185		
普通預金 三菱東京UFJ銀行瓦町支店	6,080,638		
普通預金 りそな銀行北浜支店	10,137,876		
郵便振替 00910-9-39975	5,969,021		
普通預金 マーチャンダイズビル内郵便局	1,009		
定額預金 マーチャンダイズビル内郵便局	34,000		
定期預金 三井住友銀行大阪中央支店	1,000,000		
貯蔵品	95,271		
切手・はがき	95,271		
未収入金	3,699,733		
会誌収入	2,626,000		
会員名簿収入	84,000		
個人正会員会費収入	856,950		
地方会員会費収入	53,550		
団体正会員会費収入	70,833		
準会員会費収入	8,400		
前払費用	173,134		
助成費	165,934		
集金費	7,200		
流動資産合計		36,412,648	
2．固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0		
(2) 特定資産			
記念事業積立預金	3,000,000		
定期預金　三菱東京UFJ銀行瓦町支店	3,000,000		
事業基金積立預金	29,000,000		
定期預金　三菱東京UFJ銀行瓦町支店	29,000,000		
退職給付引当資産	6,330,304		
定期預金　三菱東京UFJ銀行瓦町支店	6,330,304		
特定資産合計	38,330,304		
(3) その他固定資産			
什器備品	111,260		
書棚１式	111,260		
投資有価証券	443,316		
中期国債ファンド　三菱UFJ証券	443,316		
保証金　本部事務所賃貸契約による保証金	3,436,650		
その他固定資産合計	3,991,226		
固定資産合計		42,321,530	
資産合計			78,734,178
Ⅱ　負債の部			
1．流動負債			
未払金	2,419,108		
会誌発行費	1,677,738		
会員名簿発行費	16,800		
委員会費（損害保険料：会議用）	33,920		
助成費	31,450		
集金費	31,000		
租税公課	628,200		
前受金	10,436,047		
個人正会員会費収入	2,968,000		
団体正会員会費収入	6,931,247		
地方会員会費収入	140,200		
準会員会費収入	2,100		
会誌収入	394,500		
預り金	119,193		
給与源泉税預り	21,280		
報酬源泉税預り	97,913		
流動負債合計		12,974,348	
2．固定負債			
退職給付引当金	6,330,304		
固定負債合計		6,330,304	
負債合計			19,304,652
正味財産			59,429,526

収支計算書

平成19年４月１日～平成20年３月31日　　(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異
Ⅰ　事業活動収支の部			
１．事業活動収入			
会費収入	47,198,645	48,558,400	-1,359,755
個人正会員	14,002,578	14,865,200	-862,622
個人正会員（地方）	1,021,647	1,068,900	-47,253
団体正会員	32,149,220	32,607,500	-458,280
準会員	25,200	16,800	8,400
事業収入	27,438,000	26,372,376	1,065,624
会誌収入	20,000,000	16,606,136	3,393,864
契約約款収入	2,600,000	5,244,030	-2,644,030
会員名簿収入	2,200,000	1,945,900	254,100
出版委員会収入	500,000	782,868	-282,868
事業委員会収入	400,000	224,000	176,000
教育委員会収入	1,500,000	1,018,792	481,208
建材委員会収入	0	0	0
事業雑収入	238,000	550,650	-312,650
雑収入	45,000	280,797	-235,797
記念事業収入	0	0	0
前受金収入	0	10,436,047	-10,436,047
前払費用収入	0	945,075	-945,075
仮払金収入	0	1,304,571	-1,304,571
預り金収入	0	4,613,377	-4,613,377
事業活動収入計	74,681,645	92,510,643	-17,828,998
２．事業活動支出			
事業費支出	41,272,000	38,808,784	2,463,216
事業関係人件費支出	15,442,000	14,864,370	577,630
会誌発行費支出	20,000,000	16,099,432	3,900,568
契約約款費支出	1,300,000	3,373,437	-2,073,437
会員名簿発行費支出	2,200,000	2,019,099	180,901
出版委員会事業費支出	100,000	226,413	-126,413
事業委員会事業費支出	300,000	172,957	127,043
教育委員会事業費支出	1,700,000	1,721,308	-21,308
建材委員会事業費支出	0	0	0
記念事業費支出	0	0	0
雑支出	230,000	331,768	-101,768
管理費支出	29,832,840	26,425,834	3,407,006
管理関係人件費支出	14,299,000	12,957,555	1,341,445
退職給付支出	0	0	0
福利厚生費支出	50,000	0	50,000
助成費支出	2,350,000	2,279,462	70,538
会議費支出	1,050,000	1,008,555	41,445
旅費交通費支出	153,840	63,580	90,260
通信運搬費支出	500,000	440,341	59,659
集金費支出	900,000	723,375	176,625
消耗品支出	2,100,000	1,804,837	295,163
備品購入費支出	300,000	136,395	163,605
修繕費支出	50,000	0	50,000
印刷製本費支出	80,000	0	80,000
光熱水料費支出	280,000	248,429	31,571
保険料支出	20,000	18,520	1,480
租税公課支出	800,000	698,200	101,800
清掃費支出	20,000	14,700	5,300
建物管理費支出	4,600,000	4,353,690	246,310
雑支出	2,280,000	1,678,195	601,805
前受金支出	0	28,699,790	-28,699,790
前払費用支出	0	173,134	-173,134
仮払金支出	0	1,245,291	-1,245,291
預り金支出	0	4,898,092	-4,898,092
貯蔵品支出	0	2,162	-2,162
事業活動支出計	71,104,840	100,253,087	-29,148,247
事業活動収支差額	3,576,805	-7,742,444	11,319,249
Ⅱ　投資活動収支の部			
１．投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
２．投資活動支出			
特定資産取得支出	370,000	2,370,000	-2,000,000
退職給付引当資産取得支出	370,000	370,000	0
事業基金積立預金支出	0	2,000,000	-2,000,000
投資有価証券取得支出	0	1,686	-1,686
投資活動支出計	370,000	2,371,686	-2,001,686
投資活動収支差額	-370,000	-2,371,686	2,001,686
Ⅲ　財務活動収支の部			
１．財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
２．財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
Ⅳ　予備費支出	150,000	0	150,000
当期収支差額	3,056,805	-10,114,130	13,170,935
前期繰越収支差額	43,045,000	43,839,265	-794,265
次期繰越収支差額	46,101,805	33,725,135	12,376,670

１．資金の範囲

資金の範囲には、現金・預金・未収入金及び未払金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記２に記載するとおりである。

２．次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科　　目	前期末残高	当期末残高
現　金　預　金	42,486,689	32,444,510
未　収　入　金	4,135,966	3,699,733
合　　計	46,622,655	36,144,243
未　　払　　金	2,783,390	2,419,108
合　　計	2,783,390	2,419,108
次期繰越収支差額	43,839,265	33,725,135

平成20年度

日本建築協会役員会務分掌

(20.06.22現在・敬称略)

名誉会長	佐野　正一	㈱安井建築設計事務所	
名誉会長	市川　　宏	㈱東畑建築事務所	
会　長	中井　　進	㈱日建設計	
副会長	足髙　晴夫	㈱きんでん	会勢・事業担当
副会長	井上　　豊	大阪大学名誉教授	編集・研修担当
副会長	門川　清行	㈱竹中工務店	企画・財務担当
＊**副会長**	長　　恵祥	㈱大林組	会勢・事業担当
＊**副会長**	樋口　洋一	大阪ガス㈱	総務・事務局担当
＊**副会長**	松村　孝治	㈱東畑建築事務所	会長職務代行　編集・研修担当

理事　○印は常任理事で委員長

(総務) 6名
- 大林　剛郎　㈱大林組
- 栗原　信英　栗原工業㈱
- 佐野　吉彦　㈱安井建築設計事務所
- 立野　純三　㈱ユニオン
- ○松原　徹雄　㈱日本建築総合試験所
- ○山形　政昭　大阪芸術大学

(財務) 4名
- 奥村太加典　㈱奥村組
- 木村　之彦　木村工業㈱
- ＊大寺　正直　中央電設㈱
- 森本　晴夫　三和建設㈱

(編集・出版) 9名
- ○上原　正行　U建築工房
- 木戸　　徹　鹿島建設㈱
- 佐藤　栄一　㈳日本建築材料協会
- 佐藤友美子　㈶サントリー文化財団
- ○設楽　貞樹　㈱安井建築設計事務所
- 竹中　統一　㈱竹中工務店
- 立成　良三　㈶大阪住宅センター
- ＊松村　孝夫　関西電力㈱
- 吉村　英祐　大阪工業大学

(会勢) 12名
- 淺沼　誠夫　㈱淺沼組
- 池内　哲郎　野里電気工業㈱
- 鴻池　一季　㈱鴻池組
- 小橋　鴻三　清水建設㈱
- 近藤　　徹　不二熱学工業㈱
- 錢高　善雄　㈱錢高組
- 野村　　昇　戸田建設㈱
- 藤井　　實　エスケー化研㈱
- ＊藤原　富男　㈳大阪建設業協会
- ＊佐伯　　博　㈱東畑建築事務所
- 森畑　　武　MO建築研究室＆RG
- 與謝野　久　㈱日建設計総合研究所

(事業) 7名
- 木村　雅則　都市再生機構
- 城口　俊雄　㈱大阪城口研究所
- ○瀬戸川　葆　関西住宅品質保証㈱
- ＊髙嶋　章光　西松建設㈱
- 平岡　　博　大阪市
- 好井　康則　㈱フジタ
- 渡辺　勝紀　㈱熊谷組

(研修) 7名
- 岩橋　貞雄　八千代電設工業㈱
- 片倉　健雄　元・近畿大学
- 志摩　宣彦　大阪府
- 千種　幹雄　㈱昭和設計
- 寺下　　均　大成建設㈱
- 古元　眞美　㈱シブタニ
- 和田　克朗　元・㈶日本建築センター

常務理事	林　　新一
監事	杉山　泰生　元・㈳日本建築協会　　前田　隆司　㈱前田商会

注　＊印は新任理事

細則抜粋　第17条　会務分掌理事のうち若干名を常任理事に選任する。

平成20年度

日本建築協会評議員

議　長　三木　敏男　　**副議長**　嘉納　秀一

20.6.1現在（敬称略）

区分	任期（20.6.1～22.5.31）		任期（19.6.1～21.5.31）	
技術 3	三木　敏男	㈱サングローブ		
	村上幸三郎	村上デザイン事務所		
	＊五十嵐巳代治	飛鳥建設㈱		
	柿本　正和	㈱錢高組	天羽　良一	㈱鴻池組大阪本店
	中窪　義征	㈱淺沼組	木村　修治	㈱奥村組
	中垣　　潔	安藤建設㈱	重見　法人	三井住友建設㈱
	＊黒川　省二	㈱竹中工務店		
	＊中本　修司	㈱大林組		
	山本　清彦	戸田建設㈱		
	中道　正伸	㈱中道組	今西　邦夫	㈱今西組
	原　　眞一	コーナン建設㈱	金山　隆興	㈱金山工務店
電気 4	大石　忠彦	㈱きんでん	嘉納　秀一	三宝電機㈱
	森　　淳	三和電気土木工事㈱	嶋田　雅景	㈱クリハラント
管工 4	安原　和利	㈱精研	吉武　秀幸	㈱三冷社西日本支社
	春木　雄一	㈱三晃空調大阪本店	若林　尚史	若林設備工業㈱
建材 4	安田　　誠	安田㈱	月城　則男	新東洋合成㈱
	山中　豊茂	㈱山中製作所	深江　隆司	アスワン㈱
中国 4	国沢　幹男	日本住宅パネル工業協同組合	清田　剛一	㈱大方工業所
	嶋津　孝之	広島大学	村重　保則	現代建築設計事務所㈱
東海 7	小宮　三辰	三辰設計事務所	後藤　利秋	㈲和光建築計画研究所
	鈴木　慶智	㈱伊藤建築設計事務所	中村　哲士	元安井建築設計事務所
	寺本　英一	㈲T.R.A	福田　泰造	福田泰造建築事務所
	芳山　明久	東海支部幹事		
京都 4	上林　研二	㈱地域生活空間研究所		
	長瀬　博一	長瀬建築研究所		
	森島　照雄	森島建築設計事務所		
	山田　昌次	花豊造園㈱		
和歌山 2			岩脇　伸行	環境建築計画
			北山　泰秀	㈱北山組

総数45人　＊印は新任

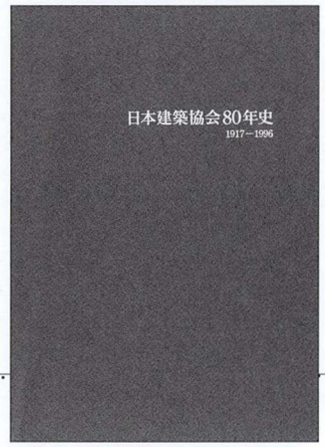
平成20年度

日本建築協会支部長 (敬称略)

京　都	上林　研二	㈱地域生活空間研究所
中　国	森畑　　武	MO建築研究室＆RG
東　海	佐伯　　博	㈱東畑建築事務所
和歌山	東野　信義	東野建築設計事務所

「日本建築協会80年史1917-1996」

増刷頒布中　頒価　3,000円



A4判・240頁・並製本

1999年７月に発刊した「日本建築協会80年史1917-1996」は、各方面から好評をいただいておりますが、このたび、皆様の強いご要望により、増刷・頒布することにいたしました。大正６年３月30日に関西建築協会として誕生した日本建築協会の80年の歴史を、様々な事業や委員会活動を通じて、また、本会設立者の片岡安、武田五一以降現在までの会員たちの社会活動を通して知ることができる記念誌として、A4判・240頁にまとめています。

とくに、協会草創期の大正・昭和初期の片岡安ら協会のメンバーと当時の大阪市長・関　一との交流を物語る一文は、大阪の都市計画史、あるいは関西の建築人物誌ともなっています。本会の歴史を知るだけでなく、建築を通して、それぞれの時代の雰囲気を身近に感じることができる大変貴重な資料となるものです。

購入ご希望のかたは、下記要領でお申し込み下さい。

＊

申 込 先　社団法人 日本建築協会
〒540-6591　大阪市中央区大手前1-7-31
大阪マーチャンダイズ・マートビル7階B室
TEL 06-6946-6981　FAX 06-6946-6984

頒　　価　１部3,000円（税・送料込み）

※増刷部数には限りがございますので、お早めにお申し込み下さい。

「日本建築協会80年史」…

●日本建築協会の沿革／委員会活動／「建築と社会」の変遷／大正時代から現在までの本会主催の博覧会・展覧会・講演会／よろず相談住宅展／青年建築家・青年技術者顕彰／工高生デザインコンクール入選者etc.

●日本建築協会創立者と会を支えた38人のプロフィール（片岡　安・設楽貞雄・武田五一・池田　實・波江悌夫・竹腰健造・尾崎久助・東畑謙三・塚本猛次・福田朝生・佐野正一・葛野壯一郎・横濱　勉・松本禹象・宗　兵蔵・園部文雄・日高　胖・野村一郎・古宇田　實・松室重光・松井貴太郎・安井武雄・中澤誠一郎・坂　靜雄・今林彦太郎・井上新二・松本儀八・池田宮彦・錢高輝之・中西六郎・大林芳郎・鴻池藤一・伊東五郎・竹中錬一・鷲尾健三・松村雄吉・横尾義貫・足立　孝）

●座談会「戦中から戦後初期の協会活動」―尾亀清四郎・大林芳郎・小西　岬・佐野正一・横尾義貫・三品哲夫の6氏による終戦前後の協会活動の証言―

＊

■執筆ワーキンググループ
坂本勝比古／安達英俊／石田潤一郎／植松清志／梅宮弘光／桐浴邦夫／酒井一光／橋寺知子／山形政昭／吉田高子／和田康由

■80年史編纂委員会
長谷部朔郎／安達英俊／近藤達夫／谷淳之介／十倉　毅／原見昌志／和田康由／吉田悦二



「日本建築協会の遺産と功績」（坂本勝比古）より



「草創期の人々」より片岡安の項

建築と社会

Architecture and Society

2008 No.1036 7

日本建築協会

■特集予告

8月号/建築と景観

9月号/第55回青年技術者

編集委員会(平成20年度)

■副会長
井上　豊
松村　孝治

■編集担当理事
上原　正行
木戸　徹
佐藤　栄一
佐藤友美子
◎設楽　貞樹
竹中　統一
立成　良三
松村　孝夫
吉村　英祐

■特集小委員会

■計画分科会

★計画系
飯田　匡
飯沼　清明
鈴木　克彦
田中　慎治
田中　直人
紅谷　昇平
松田奈緒子
△三宅　次郎
守井　辰
吉村　英祐

★建築計画系
安部　新二
荒木　宏之
江副　敏史
奥村　朋孝
菅野　忠司
神戸　嘉也
木多　彩子
△楠　敦士
小林　優子
所　千夏
野田　隆史
枇杷　健一
松森　織江

★インテリア・住宅系
阿部　泰浩
加藤　力
神谷　浩司
黒柳　亮
髙野　直樹
田中　浩介
戸井賢一郎
ペリー史子
本山　仁

■構造分科会
秋田　智
岸本　光平
瀧野　敦夫
鶴田　潤
中塚　光一
難波　尚
△房安　智也
松村　健
向井　洋一
安野　郷
矢野　勇二

■設備分科会
△赤澤　正治
梶井　宏修
河井　康人
北野　勝也
谷野　太志
夏井　重行
福谷　周
桝井　貴廣
村上幸三郎
山下　修
渡邊　裕之

■施工材料分科会
桜井　和男
平田　茂良
藤丸　啓一
松元　秀樹
△山岡　篤人
吉田　正友

■法令分科会
伊賀　誠
片岡　正和
金本　忠義
河野　学
坂本　智生
△谷本　和子
中迫　悟志
文山　達昭

■作品作風小委員会
○居内　章夫
池上　明
稲垣　和江
井上　雅祐
岩佐　進
加嶋　章博
倉澗奈千子
澤田　純一
戸川　勝之
牌野　淳司
豊田　充広
長堀　晃治
西田　佳代
芳谷　晴彦
増田　敬彦
山田　俊紀

■広告企画小委員会
荒本　俊明
宇城　英彦
小笠原修一
○虎谷　伸幸
○前田　衛
南澤　浩司
森川　幸信

■10年委員会
赤木　隆
川上比奈子
熊田　将男
河野　浩司
齊藤　幸代
菅原　幸也
中村　文紀
○前川　治彦

◎委員長　○副委員長　△幹事

印　刷　2008年6月25日
発　行　2008年7月1日
発行人　社団法人日本建築協会
発行所　社団法人日本建築協会
大阪市中央区大手前1-7-31
電　話　06-6946-6981
振替口座　00910-9-39975
印刷所　㈱NPCコーポレーション
定　価　1200円〔税込〕

Journal of the Arghitectural Association of Japan

中国支部特集

特集　中国地方を訪ね歩いて見えるもの

■作品
三次市立塩町中学校 —— 16
松江赤十字病院 —— 18
まなびの館ローズコム（福山市中央図書館・生涯学習プラザ） —— 19
ゆめタウン広島店 —— 20
ヴァイス フェー タンツェン「ハウス バーンフリート平和大通り」 —— 22

■本文
路面電車のDNA／中尾正俊 —— 23
新広島市民球場の建設について／佐名田敬荘 —— 26
～中国地区のまちづくり～
広島駅南口Bブロック —— 28
広島駅南口Cブロック市街地再開発事業基本構想 —— 29
広島駅北口・若草地区 第一種市街地再開発事業 —— 30
福山駅周辺のまちづくり～備後都市圏の玄関口にふさわしい駅前の整備にむけて～ —— 31
東桜町地区 第一種市街地再開発事業 —— 32
徳山駅ビル及び周辺グランドデザイン —— 33
～中国地区の耐震事例～
ノンコンプレションブレース（NCブレース）耐震改修工法／高松隆夫 —— 34
広島大学（霞）歯学系研究棟　耐震改修 —— 36
国立岡山病院棟から、県民福祉の総合拠点へのコンバージョン
岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館 きらめきプラザ —— 38
～中国地方の歴史をたずねて～
荒神谷遺跡とその周辺 —— 40
（広島）二葉の里歴史の散歩道 —— 41
重要文化財 國前寺本堂保存修理事業 —— 42
～会員作品～
広島市民病院増改築整備新棟建設その他建築工事 —— 43
大和ミュージアム―呉市海事歴史科学館― —— 44
介護付有料老人ホーム　ティエラ —— 45
エルピーダメモリ株式会社 広島工場 E300ファブ増設プロジェクト —— 46
ラインヴァント「ハウス バーンフリート宇品東」 —— 47

特集　小林聖心女子学院

■作品
小林聖心女子学院 小学校棟と体育館 —— 50

■対談
小林聖心女子学院の85年―築く―●宇野三恵子／佐野吉彦 —— 54

■小学校および体育館の着工から完工まで
2006年冬から2008年初夏へ―人と自然と学校と― —— 57
●中村篤史／二宮章悟／藤松薫／百々美佐子

■子どもの視線
探検！発見！新しいって？ わたしのお気に入り！●小林聖心女子学院の小学生 — 61

■建築概要
平面図 —— 64

会告　会長就任ごあいさつ●中井 進 —— 1
総会議決お知らせ
臨時理事会議決のお知らせ．IDEC SALES OFFICE（全館LED照明社屋）見学会．平成19年度事業報告書．平成19年度決算報告書．平成20年度日本建築協会役員会務分掌・日本建築協会評議員・日本建築協会支部長 —— 2

作品作風　兵庫県立総合リハビリテーションセンター小児病棟 10

研究の風景　岩田研究室(東海大学情報デザイン工学部建築デザイン学科) 12

gallery　歴史を語るギャラリー（片山 貢）●増田敬彦 14

法令コーナー　住宅の税制●国土交通省住宅局住宅政策課 65

構造の頁　積層パイプ構法―輪切りにした鋼管を積層した耐震補強構法―●九鳴壮一郎 66

information　推薦してください！素敵なマンション―大阪市ハウジングデザイン賞．自立循環型住宅設計講習会開催．工作の時代展―『子供の科学』で大人になった．「ネパールの大工道具」展．北京大会の競技コートに仏ジェルフロアー社の床材．シンポジウム「再発見!歴史遺産の魅力」．大阪歴史博物館の7・8月．Art Court Frontier2008#6．建築が見る夢―石山修武と12の物語．花鳥画に託す「生命のぬくもり」．NIPPONの夏―応挙・歌麿・北斎から「きもの」まで．モディリアーニ展．「冒険王・横尾忠則」．「現代美術の冒険」．京都文化博物館の展覧会2つ． 67

月間の動き　平成20年5月分 70

表紙　デザイン　花城 辰男（時空アート）
本文　デザイン　高橋 善丸





作品
作風

設計・監理■
兵庫県県土整備部営繕課

施工■
美樹工業（建築）
セーバー技研（設備）
山口電気工業（電気）

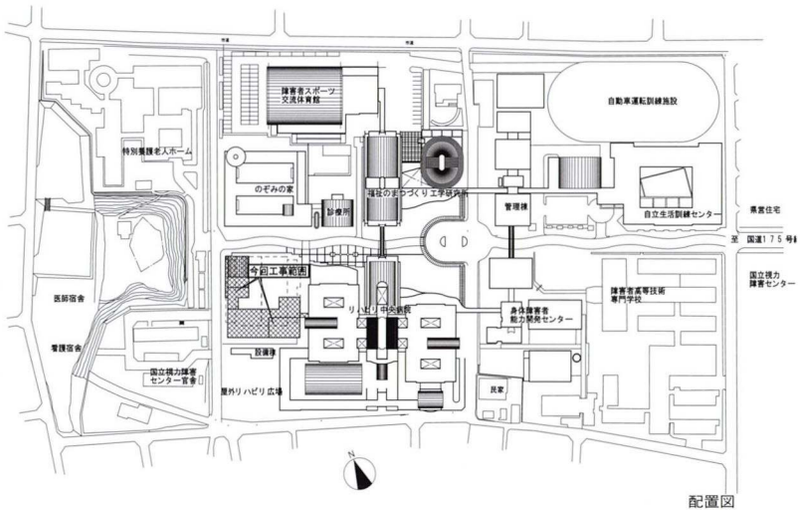
兵庫県立総合リハビリテーションセンター小児病棟

～子供に優しく、楽しめる病院～

本施設は、神戸市西区の総合リハビリテーションセンター内に増築するものだが、昭和49年の身体障害者能力開発センターの設計時点で、このセンター全体のマスタープランを作成し、その後の中央病院の立て替え時点で将来の増築スペースとして予定したところに、この施設を計画した。

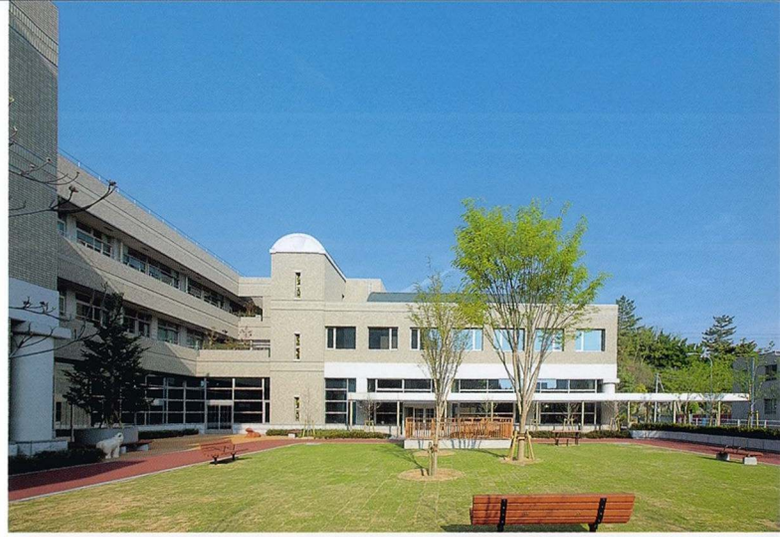
従って、機能的にも景観的にも全体と調和させながら、同時に長期生活する小児（1歳から18歳まで）に優しく楽しい病院を目指した。センター全体の景観はややハイテクモダンなトーンで統一してきたので、この病院の外観もそれに合わせつつ、内装は床や腰壁、キックプレート、回縁、鏡枠にいたるまで木質化するなど自然素材を多用し、また子供が楽しめるモビールや壁画を随所に配した。屋外には「親子ふれあい広場」とネーミングした屋外リハビリスペースを確保した。親と離れて療養する子供たちの憩いの一時となることを願っている。

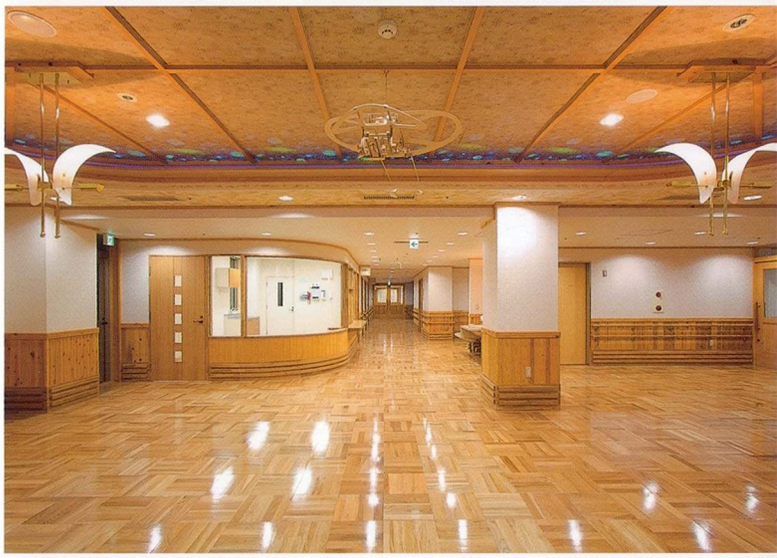
（黒田達雄）



配置図

所 在 地 ――神戸市西区曙町1070
敷地面積 ――16,397㎡
建築面積 ―― 1,234㎡
延床面積 ―― 3,766㎡
構造規模 ――RC造、PC基盤、4F
工　　期 ――2007年～2008年３月
最 寄 駅 ――山陽電鉄明石駅よりバス15分
撮　　影 ――花城辰男（時空アート）









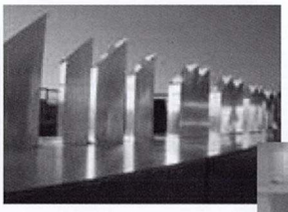
研究の風景

東海大学情報デザイン工学部
建築デザイン学科

岩田研究室



今年度の卒論生、やっと研究室にも慣れてきて、今日は建築学会光環境運営委員会シンポジウム「空間を魅せる光と色」のお手伝い。受付で先生を囲んで集合写真です。



↑昼光導入装置の一つ、光ダクトを用いた模型実験



↑昼光利用をした学校におけるライトシェルフ効果の実測

■はじめに

私たちの研究室は東海大学代々木キャンパス（東京都渋谷区）内にあります。周囲は閑静な高級住宅地で、立派な邸宅に囲まれ、「何でこんなところに大学が？」あるいは「えっ！ここは大学なの？」という感じです。（近隣住民には外国人や芸能人も多く、ハロウィンやクリスマスの飾りつけが見事な地域です）

東海大学のメインキャンパスは神奈川県平塚市にある「湘南キャンパス」で、工学部建築学科も本来は湘南キャンパス内にあります。けれど岩田研究室は情報デザイン工学部（旧・第二工学部（夜間））建築デザイン学科の研究室を兼ねているので、本来は湘南所属の学生も代々木キャンパスで卒業論文、修士論文の研究を行っています。

今年度は、工学研究科修士課程（湘南キャンパス）１年生が２名、工学部建築学科（湘南キャンパス）の卒論生が12名、情報デザイン工学部建築デザイン学科（代々木キャンパス）の卒論生が２名と、湘南所属の学生の方が多くなっています。修士課程の学生は授業が湘南キャンパスで行われるので、往復（片道２時間近く）に体力を使うことが悩みの種です。

この数年、大学院への進学希望者が減ってしまい（設備系就職状況の良さの影響か？）、何と今年はＭ２がいません。昨年までは博士課程に１名いたのですが、今年の３月に学位を取得して就職してしまい、それ以降、教授の岩田はてんてこまいです。すべてを一人でこなさなければならず、休日がなくなってしまいました。

さらに悲しいことに、情報デザイン工学部が本年度から募集停止となるため、2000年度からはじまった「代々木キャンパスの岩田研究室」も近い将来終わりになる運命に……夜間の学生が減ってきた最近の事情からいたしかたないこととはいえ、さびしさを感じます。

と、ちょっと話が暗くなりましたが、研究は元気、光環境を中心にしているだけに明るいです。以下に最近の研究状況を示します。



東海大学代々木キャンパス。X型の建物が特徴的ですが、研究室があるのはその左側の建物の３階です。

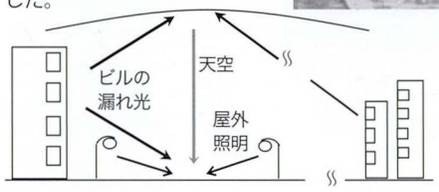
■光害の研究

光害は夜間の照明によるさまざまな障害の総称ですが、その一つとして、地上の照明から漏れる光によって夜空が明るくなってしまう現象が上げられます。夜空への漏れ光はエネルギーの無駄になるだけでなく、動植物、時には人間への害となることもあります。岩田研究室では、夜空の明るさに与える都市照明の上方光束に関する研究を行っています。これまで、オフィスビルの窓からの上方光束影響の定量化、天空の輝度分布を用いた上方光束量の推定方法の提案、住宅地の上方光束量変化の調査などを行ってきました。



都心の公園で地上面照度変化、上部輝度変化を測定　測定中→これを下図のように、屋外照明、天空からの光、オフィスビル窓からの漏れ光に分離し、オフィス窓からの上方光束を推定しました。



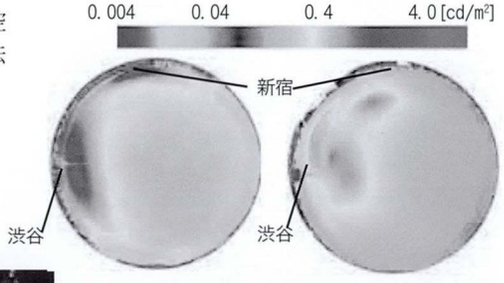


■昼光利用照明の研究

自動ブラインドや窓スクリーンといった直射日光制御装置や、ライトシェルフ、光ダクト、透光性壁などの昼光導入システムに関する研究は研究室のメインテーマです。それぞれのシステムについて、視的快適性評価を明らかにし、それを基に照明用電力削減効果などのシミュレーションを行います。

オフィスにおける昼光利用による電力削減効果は、初期照度補正や人感センサーによる消灯などの削減効果に対して大きいとは言いにくいのが現状です。時々結果に落胆しながらも、「昼光照明の特長は省エネルギーだけじゃない」と心に言い聞かせています。何とかエネルギー以外の利点について、説得力を持って訴えられないかと模索中。

しかし、このテーマは企業との共同研究も多く、「必要とされている」感が強いので、それが学生にとっては大きな励みになるようです。実際に使われることもあるので、内心ではクレームの心配も。



↑大学の上空の輝度分布画像、渋谷と新宿の上空が明るくなっています。明るい部分の位置が異なるのは雲底高さが異なるためです。このように夜空の輝度分布画像と雲底高さ、雲の反射率から、それぞれの地域の上方光束量を推定する方法を提案しました。

屋外照明調査→約16.4haの地域のすべての屋外照明のワット数、光束、上方光束をひたすら調査。器具専門家のご指導を仰ぎつつ。

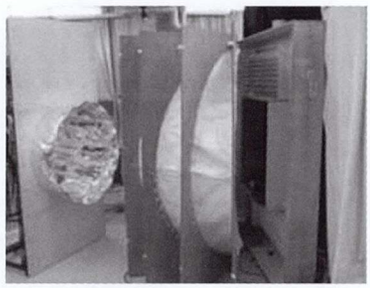




↑とにかく配線。線が多いし間違うのが怖いから、みんな黙々。



視野装置の内部を貼っているところ→

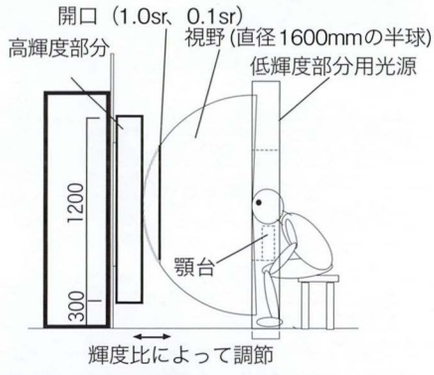


↑視野装置全体



↑輝度の確認
これがとても難しい。

ちなみに論文に表した図はこんな感じ↓
実物より美しいかも。



■視環境評価研究（不快グレア、明るさ感）

被験者を使った実験が主体です。岩田研は実験スペースがないので、通常は後期に授業のないデッサン室を使わせてもらっています。だから、前期の授業が終わった直後から大急ぎで装置を組み立てなければなりません。だいたい夏休み中に完成させるスケジュールで臨みますが、なかなか予定通りには進みません。特に暗室ではないので、実験条件の微妙な輝度の制御が難しく、多くの蛍光ランプ（40本～50本）を調光制御するのですが、時々ブレーカーが落ちたり、苦労山積みです。

でも、学生は自分の作った装置に愛着がわくのか、実験自体は楽しそうです。被験者は近くの研究室の学生にお願いしています。

これらのやや美しさに欠ける装置から得られた不快グレア評価などの結果は、意外にも国際会議やジャーナルで成果を上げています。また、前述の昼光利用照明研究のシミュレーション条件の基本ともなります。研究室にとっては重要な基礎テーマです。

■光の概日リズム影響

光は視覚だけではなく、生体の概日リズムにも関わりがあります。概日リズムは人間をはじめとする生物においてさまざまな生体機能が約１日を周期として変動する現象のことで、松果体からのメラトニン分泌も、昼間は低く夜間の２時から３時にピークになるというリズムを持ち、光によって抑制されます。メラトニン分泌は睡眠の質や覚醒度に影響を与えます。

メラトニンの分泌抑制は446～477nmの波長域にピークがあり、これは、照度の基になっている555nmを最大感度とする視感度とは異なっています。つまり、従来の照度などの測光量では、光環境の健康影響は測れない、ということになります。

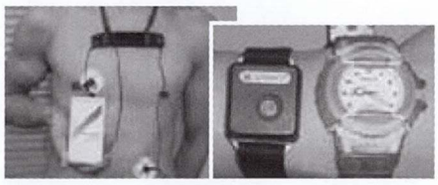
研究室ではこれまでに、メラトニン分泌抑制に基づいた光の単位の提案や、それを照度と色温度で示す簡易式の提案を行ってきました。また、曝露される光量の日変化と睡眠効率について実測調査も行っています。

今年度は脳神経学的なメカニズムを解明するため、情報科学部の先生との共同研究を行っています。動物実験では新たな光受容器ipRGCの存在やその情報伝達経路などが明らかになりつつあり、楽しみなテーマです。

■室内空気質の研究

室内の空気汚染のうち特に微生物による汚染に関して研究しています。保育園の浮遊真菌濃度や床塵中のダニアレルゲン濃度の実測などを行いました。ダニアレルゲンの分析はかなりの技術を要し、杏林大学保健学部の先生にご指導していただいています。掃除機で集めた粉塵をふるいにかけ、粉塵中からアレルゲンを抽出します。主にダニの死体と糞（！）がアレルゲンとなるのですが、このテーマを選ぶ学生にとってはアレルゲンがいっぱい抽出される方がうれしいようです。

同様に真菌の研究でも、カビのコロニーが少ないとがっかりしてしまうようです。湿度コントロールによる真菌対策の研究では、空気の湿度、材の含水率とコロニーの成長速度の関係について実験を行いました。せっかく真菌の成長が抑制できる湿度変動を示せても、卒論生は思わず「成長を阻害してしまう湿度」と発表していました。



↑小型心拍変動計測装置（左）や、腕時計型の活動量測定装置（右）などにより、光と生産性、睡眠効率、疲労との関係についても研究を行っています。

■おわりに

ここに紹介したように、研究テーマはいろいろで、学生の興味に合わせて毎年少しずつ変わっています。（実は光の研究は、それぞれが繋がって一つの大きなテーマとなっています。）一見、ばらばらとやっているので、構造や計画の研究室から「環境系は何でもありだから」と言われますが、たしかに人間と環境、環境と建築の関わりを考えればテーマは無限にありそうです。学生にとってもあまり建築という枠組みを意識せずに、自由に研究を進められるということは楽しいようです。

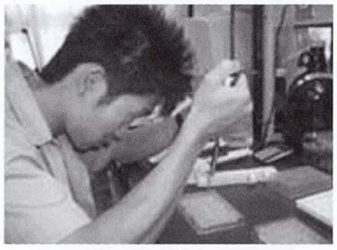
（岩田利枝）



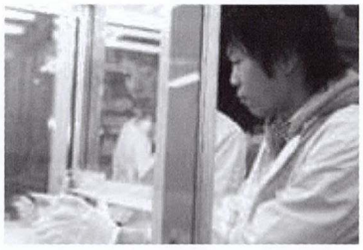
↑まずは、床塵を採取。保育園の園児とも仲良くなりました。



↑ごみパックから粉塵を慎重に取り出し、ふるいにかけてファインダストに。



↑サンドイッチ・エライザ法でアレルゲン量を測定。



↑クリーンベンチを使って、真菌採取用の培地作り。

まち　建築　ひと

gallery

歴史を語るギャラリー

アートディレクター　株式会社ライト・プロス
片山 貢 KATAYAMA, Mitsugu

2003年11月に竣工した味の素グループ大阪ビルの施設の一角に設けられた遺跡出土品の展示スペースです。
大阪・中之島の西端に立地する本ビルの建設工事に先立ち、大阪市教育委員会と大阪市文化財協会によって発掘調査が行われました。遺跡からは江戸時代の蔵屋敷の遺構や船入と推測される石垣、食にまつわる各地の特産品の器、伊万里・唐津など多数の陶磁器類が出土しました。
展示スペースはこれら出土品を一般に公開することを意図して歩道に面して配置され、設計・施工担当の清水建設㈱からの依頼により、展示計画およびコンテンツの制作を行いました。
コーナー部分を掘込んだ壁面に出土品を展示し、周囲のパネルに地域の歴史や発掘調査の概要、出土品の解説等をグラフィカルに配置しました。また、遺跡と現在の位置関係が把握できるよう斜投影法で図面表現を揃えました。
今年10月開業予定の中之島新線により来街者増が見込まれる中、この展示が地域の歴史ロマンに思いを馳せるきっかけに一役買ってくれることを願っています。

1969　大阪府豊中市生まれ
1996　筑波大学大学院芸術研究科修了
　　商業施設の企画デザイン会社等を経て2001に独立
2008　株式会社ライト・プロスとして法人化
現在　代表取締役 アートディレクター
　　梅花女子大学非常勤講師
　　www.wrightbros.co.jp

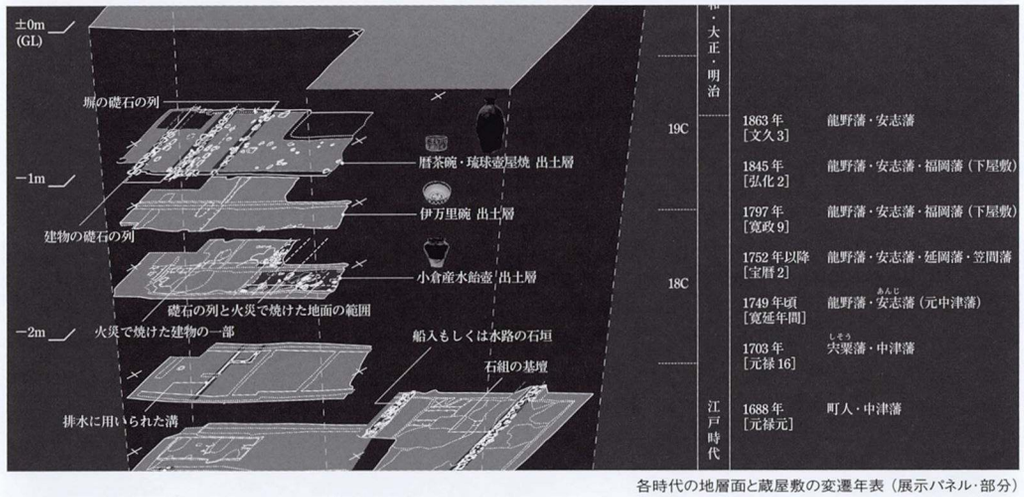
企画編集　増田敬彦(作品作風小委員会)



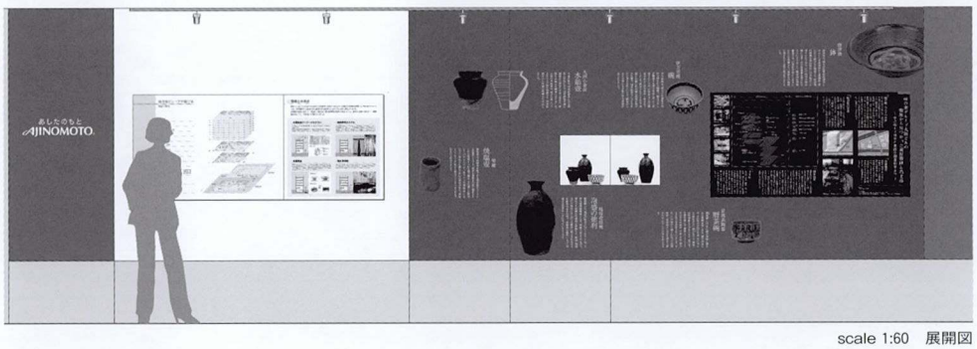
味の素グループ大阪ビル 1 階の展示スペース



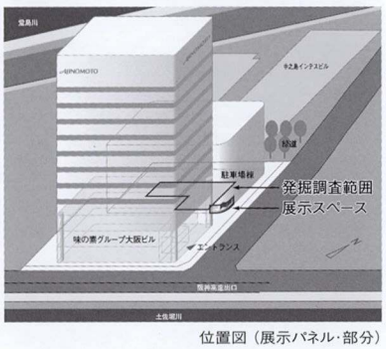
展示されている出土品の解説（展示パネル･部分）



各時代の地層面と蔵屋敷の変遷年表（展示パネル･部分）



scale 1:60　展開図



位置図（展示パネル･部分）

特集
中国地方を訪ね歩いて見えるもの

歴史（島根出雲＆広島二葉の里）・街づくり（福山・広島・徳山&新球場と建物）
そして広島市民の足（広島電鉄）・今急務の事例に学ぶ（既存建物の耐震補強）


広島国前寺


出雲荒神谷博物館


福山東桜町再開発


広島新球場


徳山駅前再開発の夢

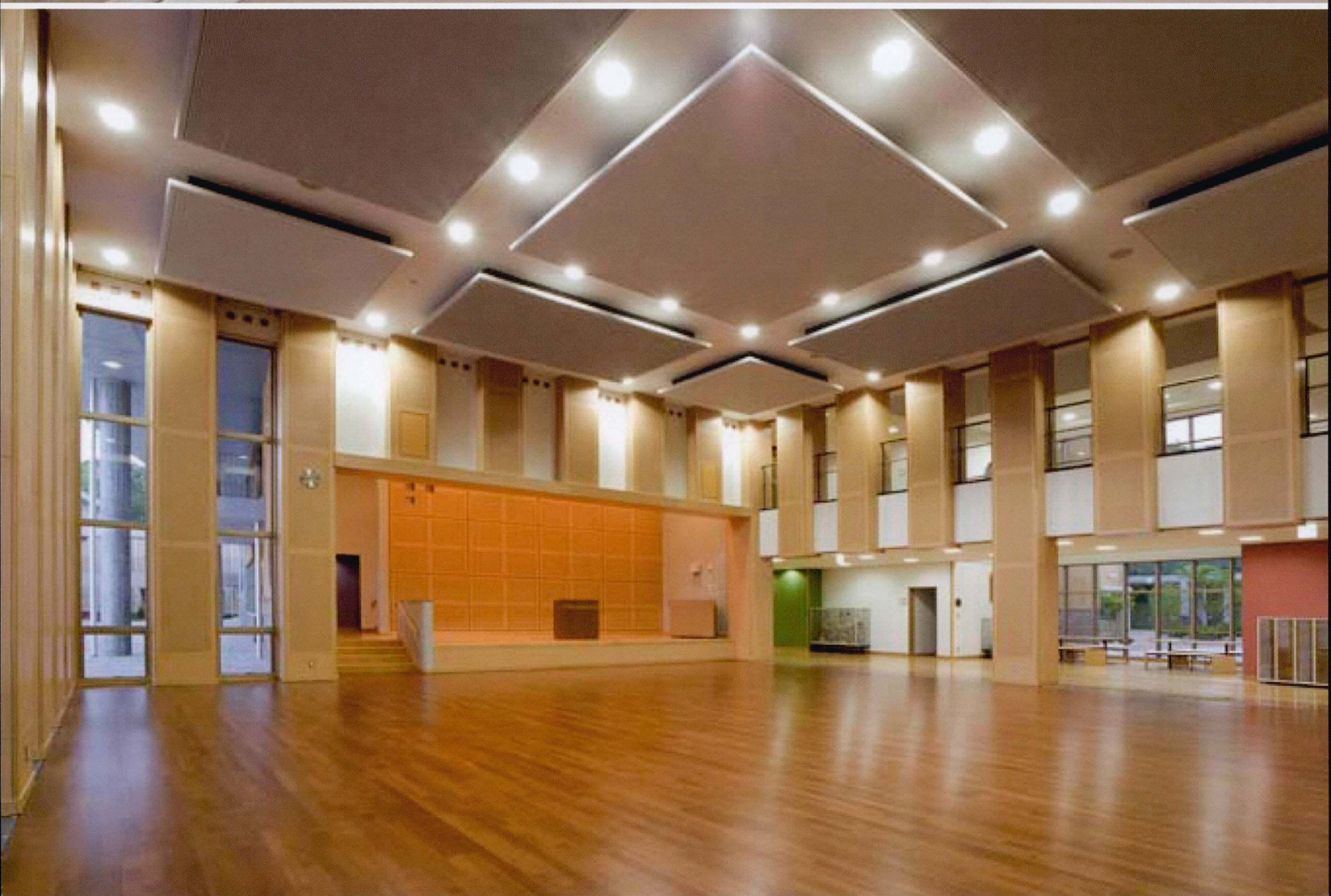

広島若草町再開発

〔作品〕
三次市立塩町中学校
松江赤十字病院
まなびの館ローズコム（福山市中央図書館・生涯学習プラザ）
ゆめタウン広島店
ヴァイス フェー ダンツェン「ハウス バーンフリート 平和大通り」
〔本文〕
路面電車のDNA/中尾正俊
新広島市民球場の建設について/佐名田敬荘
～中国地区のまちづくり～
広島駅南口Bブロック
広島駅南口Cブロック市街地再開発事業基本構想案
広島駅北口・若草地区 第一種市街地再開発事業
福山駅周辺のまちづくり～備後都市圏の玄関口にふさわしい駅前の整備にむけて～
東桜町地区 第一種市街地再開発事業
徳山駅ビル及び周辺グランドデザイン
～中国地区の耐震事例～
ノンコンプレションブレース（NCブレース）耐震改修工法/高松隆夫
広島大学（霞）歯学系研究棟　耐震改修／荻窪伸彦・松尾雅夫
国立岡山病院棟から、県民福祉の総合拠点へのコンバージョン
岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館 きらめきプラザ／須田修司
～中国地方の歴史をたずねて～
荒神谷遺跡とその周辺
（広島）二葉の里歴史の散歩道
重要文化財 國前寺本堂保存修理事業
～会員作品～
広島市民病院増改築整備新棟建設その他建築工事
大和ミュージアム―呉市海事歴史科学館―
介護付有料老人ホーム　ティエラ
エルピーダメモリ株式会社 広島工場 E300ファブ増設プロジェクト
ラインヴァント「ハウス バーンフリート宇品東」

今回の中国支部特集号は2000年の２月号以来で、実に８年振りの中国地区の紹介です。
６月20日のTVで2000年前のハス５千株、５万本の花が5000㎡の水田に咲き誇ると放送された場所、それが島根県斐川町の荒神谷遺跡公園です。1984年（昭和59年）世紀の大発見と言われた銅剣358本の発見、次いで銅鐸６個・銅矛16本の発見になり、語りの無いこの遺跡は夢を呼びます。
原爆で廃墟と化し、歴史の消えた広島に生き残り・再生し、そして再建された街道、それが歴史の散歩道で国宝のほか、国の重文７点・県の重文２点・市の重文13点、これが夢街道と言われる由縁です。
「作品作風」・「支部会員作品」は目次の通りですが、中国・四川大地震、つづく岩手・宮城地震。そしてこの６月21日の新聞は１面トップで「学校４万棟倒壊の危険」報じ、鳥取を除く４県は平均の33.9％を超えて、島根（34％）・岡山（49.1％）・広島（47.6％）・山口（51.7％）となっており、耐震補強の記事はグッドタイミングになります。
また歴史的意味を持った広島の市内電車、民間企業で戦前戦後を市民の足として、また原爆投下直後電源供給場所が爆心地より15キロ離れていて、被爆を免れ、３日後の８月９日には一部で運転再開になり、大きく市民を勇気付けました。この電車今も走ります。一度広島を訪れては？

中国支部特集編集委員長：森畑　武
特別参加：山本秀雄、僊石友秋
編集委員：柴田修身、森川　素、新宅快野、辻　誠治、佐々木史郎





設計・監理■
東畑建築事務所

施工■
フジタ・加藤組共同企業体

三次市立塩町中学校

広島県北部に位置する三次市は、河川の合流により創られた肥沃な盆地を中心とした都市である。塩町周辺はのどかな田園地帯であり、秋から春には霧の海となる風景をみせる。敷地は山の豊かな緑に囲まれた丘の上に位置し、歴史的には勇免古墳群といわれる円墳が点在し弥生式住居跡地を含め、悠々の時間を感じさせる場所でもある。

本計画は交通の要衝である三次盆地のまちと古代文化発祥の地にふさわしい塩町の歴史を継承した風景づくりを心がけ、周辺地域との景観・環境調和を進める「地形・歴史の継承、まちの風景となる学校、まちに開かれた学校」づくりを目指した。

新校舎は山並みのスカイラインを崩さないボリュームで佇み、緑に溶け込む瓦葺きの切妻屋根のシルエットは、大きな「木の葉のイメージ」のフォルムを創出する。グラウンドへは開放感あふれる大きなガラススクリーンとテラスで構成される。また、リズミカルな列柱と軒下空間が子ども達を優しく包み込む。水墨画の如く山々に対峙し、大きな屋根に表現されるフォルムは子ども達と地域の人々の心に残る風景となることが期待される。

校舎棟の核となる「スクールストリート」は階段・吹抜など変化のある空間構成により、光がふりそそぎダイナミックな視界が広がる開放的な街路を形成する。この街路に対し各学年毎のホームベイ及び教科教室をクラスター配置することにより、教科教室型授業に対応する新しい学校を目指した。

子ども達は、自ら考え、行動することを学んでいく。つくり込むのではなく、可能性のある様々な活動空間を設けることで、子ども達が自分の居場所を発見し、安らぎや交流のきっかけに満ちた場所となることを願っている。

（松田　一／東畑建築事務所）



校舎棟平面図１階

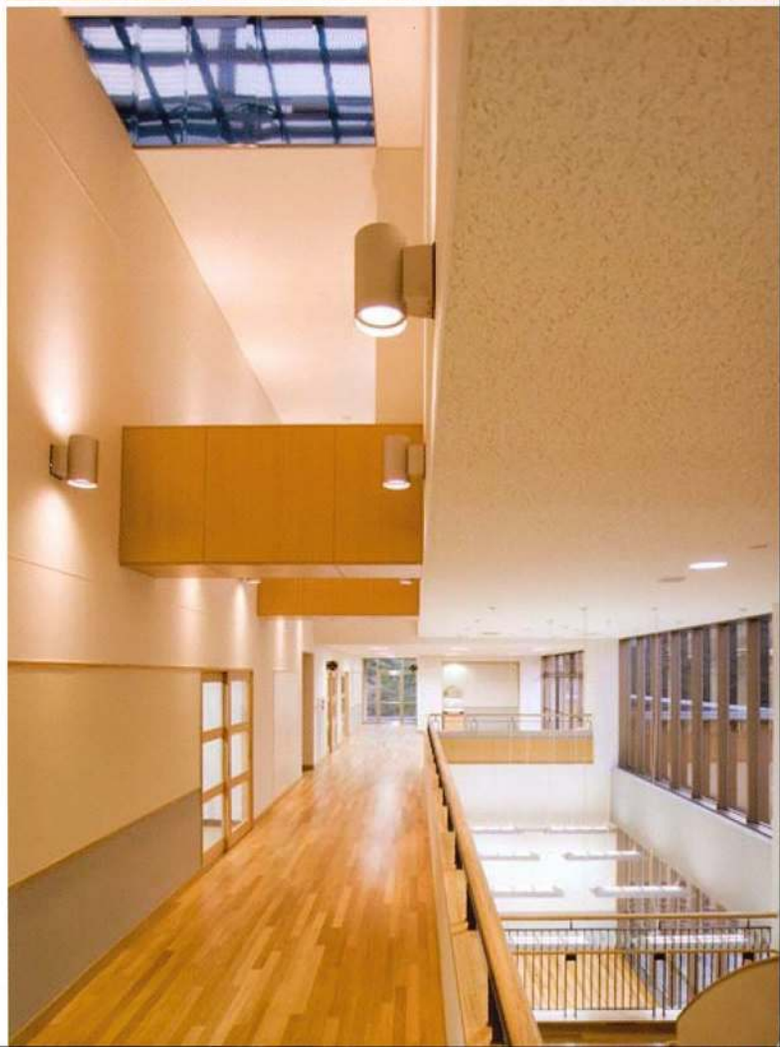
所 在 地 ――広島県三次市大田幸町541番地
敷地面積 ――51,062㎡
建築面積 ――　4,536㎡
延床面積 ――　5,746㎡
構造規模 ――RC造、S造　2F
工　　期 ――2006年12月～2008年３月
最 寄 駅 ――JR福塩線　塩町駅
撮　　影 ――エスエス大阪（清水向山）

1		3
2		4
		5

1：新校舎　　4：屋内運動場
2：オーディトリアム　5：スクールストリーム（２階）
3：エントランス







松江赤十字病院

設計・監理　横河建築設計事務所
施工　　鴻池組

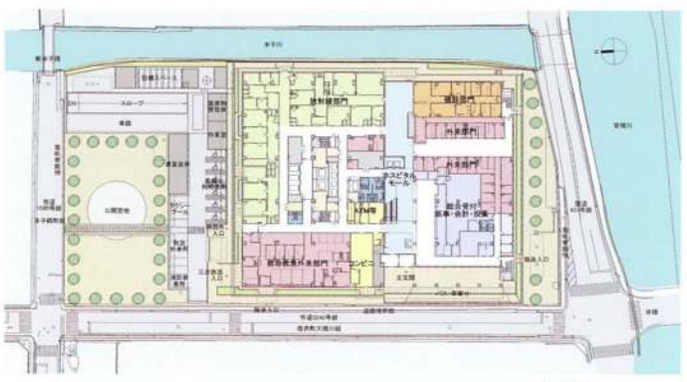
所 在 地　島根県松江市母衣町200番地
敷地面積　9,358.30㎡
建築面積　5,243.25㎡
延床面積　42,210.08㎡
構造規模　S造、SRC造　B1F、14F、P1
工　　期　2007年２月～2012年７月（予定）
最 寄 駅　JR山陰本線　松江駅
撮　　影　完成予想図



松江赤十字病院は、昭和11年４月に日本赤十字社島根支部病院として開設されて以来、県東部地区の中核病院として広く地域住民に親しまれてきた。しかしながら、病院施設は老朽化が著しく、また、数次にわたる増改築を重ねてきた結果、複雑かつ狭隘なものとなってしまったために全面的な建替え整備を行うこととなった。

松江赤十字病院は、急性期医療を基本とし、県東部や隠岐地域を中心とした県内の広い地域をカバーする高度、専門的な医療サービスを提供しており、三次医療機能を有する中核病院である。このことから、機能的な空間であることをベースとし、
（1）親しまれる良質な環境づくり
（2）先進・高度な医療の提供にふさわしい環境づくり
（3）安全に機能する信頼性の高い施設づくり
を設計の基本方針とした。
当敷地は、JR松江駅から北西に１kmほどの市街地に位置しているが、東には遊覧船のルートとなる米子川が隣接し、また、松江城や宍道湖、大山を望める環境にある。この恵まれた環境に加え、敷地内に市民に開放された公開空地を整備することにより地域環境の向上を図っている。
建物は現地建替えという条件のもとに高層棟と低層棟の２棟構成となっており、これらの中央に２層吹抜け空間のホスピタルモールを配置し、総合窓口・外来・検査部門につながりを持たせ、明るく開放的で、わかりやすい空間とすることにより、患者さんに親しみやすさを与えるとともに心理的な負担の軽減につながるよう配慮した。また、眺望の良い最上階には、ラウンジや外来食堂、職員食堂を配置しアメニティーの向上を図り、患者さんやその家族及びスタッフの精神的・肉体的な負担を和らげる環境づくりに努めている。
医療機能面においては救命救急センターの充実整備に伴い、救急を中心とした効率的な連携が可能な部門配置としているほか、清潔管理に対するきめ細かな配慮により高度医療の提供に寄与できる計画としている。また、免震構造の採用をはじめ、緊急対応用ヘリポートの設置、水害対策、ライフラインの確保など地域災害拠点病院としての機能強化を図り、安全性・信頼性の高い施設づくりに努めている。

（藤田　憲／横河建築設計事務所
織田泰彦／鴻池組）



配置図

まなびの館ローズコム
（福山市中央図書館・生涯学習プラザ）

設計　株式会社　日建設計
監理　福山市建設局建築部営繕課
施工　戸田・占部・山陽土建（仮称）
　　中央図書館建設工事共同企業体（建築）

所 在 地：広島県福山市霞町一丁目地内
敷地面積：4,837.89㎡
建築面積：3,862.51㎡
延床面積：13,789.89㎡
構造規模：図書館棟　SRC-4/1一部RC
　　駐車場棟　S-4/0
工　　期：平成18年６月～平成20年３月
最 寄 駅：JR山陽本線　福山駅
撮　　影：株式会社　西日本写房



まなびの館ローズコム（福山市中央図書館・生涯学習プラザ）は市内中心部の中央公園に位置し、「市民の生涯学習及び交流の拠点」という重要な役割を担う施設として2008年（平成20年）７月の開館をめざし計画された。この新しい施設は、図書館・会議室・子育て応援・放送大学など、多様な機能を集約した複合施設となった。

福山市は広島県の東部に位置し、人口約47万人の備後地方の中核都市であり、四季を通じて穏やかな気候と瀬戸内海国立公園など豊かな自然に恵まれている。

計画地は約1.6haの中央公園に隣接するため、利用者が公園の豊かな緑に囲まれながら時間を過ごせるようにと考えた。各階で2.4m張り出した庇により、開館時間内はブラインドを使用する必要がなく、季節を問わず公園との連続性を確保している。

また、図書館中央のトップライトは日中の太陽光を柔らかく取り込み奥行きの深い閲覧室に開放感を与えている。

ほぼ全ての空間を@1,950のRC格子梁で天井を構成し、約12mスクエアの無柱空間を実現。格子梁の懐を光天井として利用し、図書館としての充分な照度を確保した上で構造のもつ力強さを表現することができた。

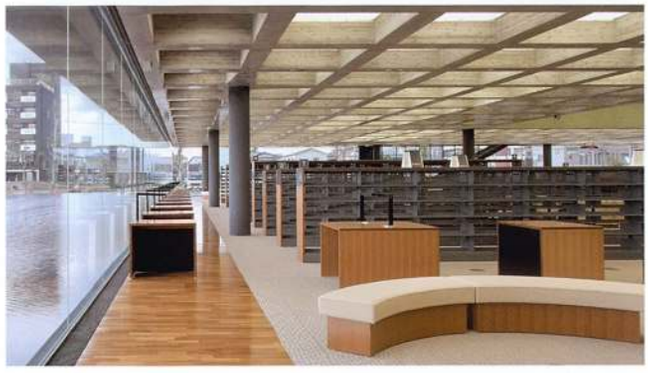
外壁には還元焼成を施した国産の煉瓦を用い、大きな壁面に深みを与えるとともに土の温もりが感じられるような表情を目指した。

一方、中央の吹抜を利用した自然換気をはじめ、クールヒートチューブ、太陽光発電、自動調光、大きな水盤による打ち水効果など環境負荷を抑える工夫も随所に取り入れている。

いつまでも市民に愛されるよう、中央公園の整備計画と相互に連携を図りながら、周辺環境との調和を重視し、機能的で人に優しい施設づくりをめざした。

（喜多主税・萩森　薫／日建設計）






you
me
you
me
NAMCO
LAND

建　築　主　日本たばこ産業
　　イズミ
設計・監理　ジェイティ開発コンサルティング
　　安井建築設計事務所
施　　工　清水建設

ゆめタウン広島店

当施設は広島市中心部を流れる京橋川沿いに、モール型の大型ショッピングセンター（SC）として建設された。敷地は日本たばこ産業㈱旧広島工場の跡地で、49,680㎡の開発である。市行政の協力を得て、川沿いの西側道路に新たな右折レーンを設けるなど、周辺整備を行うと共に地域に親しめるフラッグシップ施設を目指した。
テナントである㈱イズミは大型SC「ゆめタウン」を九州地区で大きく展開してきたが、今回は、地元広島での大型出店の期待に「本店」と位置づけ、建築主の日本たばこ産業㈱と一丸となって開発に取り込んだ。
店舗の配置は１階から３階で、その構成はイズミ直営売場の中心に位置するセンターコートと、200店を超える専門店の大型モールの２つの吹き抜け空間を主とし、どちらの吹き抜けも総天井高約15mで開放感を持たせた。また、吹抜け部分の３階天井は、アール折上げを基本に、圧迫感をあたえないよう配慮した。
また、３階フードコートには、飲食しながら喫煙できる大型喫煙ルームを設置。日本たばこのノウハウを生かし、クリーンなスペースを作り出した。またその一角に、旧たばこ工場の歴史を残すため、旧工場の模型、当時のたばこ製作機の一部などを展示している。
駐車施設は約2400台の収容能力を持ち、建物前面に大きな平面駐車場、建物内には４階、屋上、及び地下駐車場を完備し、車社会における多くの利用客への利便性に配慮した。
正面ファサードは、３箇所の大きなエントランスを配し、路面電車の行きかうメインストリートへ「ゆめタウン」の存在を植付けた。また、壁面には横リブを使うことで伸びやかさを強調し、テナントサインとも調和させた外観デザインとした。夜は正面２階に設置した横連窓のサッシを内照させ、かつ建物をライトアップすることにより、華やかな賑わい感を出し、集客性を求めた。
構造はローコスト化を図り、杭のない「セミフローティング工法」を採用した。また、各階吹抜け部に面する床の振動を抑える為、モールに面するシャッター方立に兼用した間柱を配し、安全性、視覚性に配慮した。
空調設備熱源は中国電力の受託方式を採用。深夜電力を利用した氷蓄熱方式と追掛け運転の可能なターボ冷凍機との組合せにより、ランニングコストを配慮した高効率の冷房運転を行っている。（青木隆文／安井建築設計事務所）

所 在 地　広島市南区皆実町2-224-7
敷地面積　49,680.91㎡
建築面積　27,652.53㎡
延床面積　122,107.16㎡
構造規模　S造　B1F、5F（５階は屋上駐車場用EVホール）
工事期間　2006年９月６日～2008年２月19日
撮　　影　（株）西日本写房









イズミ直営のセンターコート



専門店街ショッピングモール




フードコート 喫煙ルーム

ヴァイス フェー タンツェン
「ハウス バーンフリート平和大通り」

所 在 地　広島市中区鶴見町2-6、2-10
敷地面積　822.71㎡
建築面積　548.72㎡
延床面積　8,554.05㎡
構造規模　RC造　B2F、20F
工　　期　2004年３月～2006年３月
最 寄 駅　広電「比治山下」下車徒歩６分
撮　　影　㈲JP

設計　沖本初建築設計事務所
施工　下岸建設



マンション建築は、事業性、経済性が最優先になりがちになる中で、本マンションは以下の項目を最重要とし、平和大通りにシンボリックな集合住宅建築の実現を目指した。

１．美しい建築・美しい住宅をつくる

買いやすい価格、住みやすい家といった経済性・機能性を満たし、同時に品格のある美しい建築の実現。

２．都市デザインとしての建築

この建築は広島の顔である平和大通りに面して建つ。京橋川の対岸、竹屋小学校校庭の南側、平和大通りの東と西の遠方など遠くからその姿をとらえることができるため、都市景観に配慮した建築デザインを考える

３．形態のイメージ

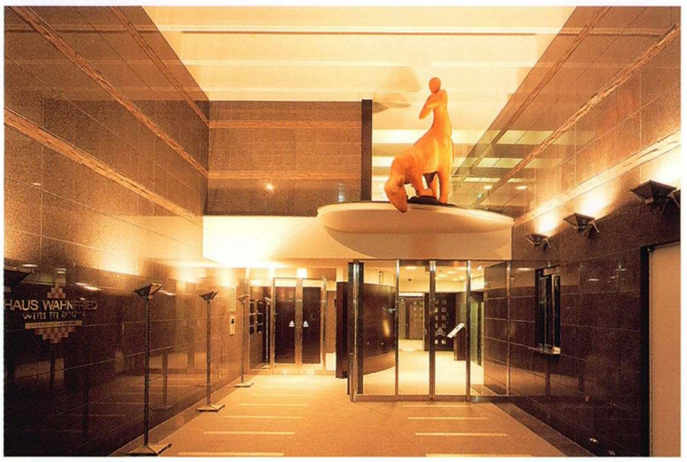
20階建ての垂直性の高い建築なので単調なファサードにならないよう、低層・中層・高層のデザイン区分を行って外観に変化を与える。側面も南北に建物のボリュームを二分割し、壁のプロポーションを美しく整える。

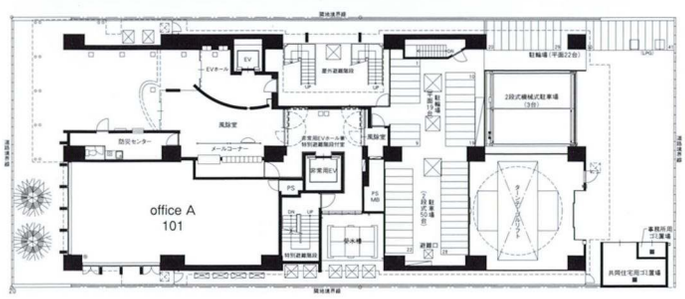
４．素材・色調について

外観デザインにおいては、コンクリート化粧打ち放し・タイル・吹付け材等の土系素材と、アルミやガラスといったメタリック系の素材との調和を考えて仕上げを決定していく。白からダークグレイまでの無彩色を基本とした色調でまとめ、細部に御影石やアルミ・木等の微妙な素材感を混用して洒落た建築をつくる。

（沖本　初/沖本初建築設計事務所）







路面電車のDNA

中尾正俊

■はじめに■

当社の電車事業は、広島市内を運行する軌道線19.0kmと普通鉄道区間である広電西広島～広電宮島口間を運行する宮島線16.1kmの計35.1kmを営業運転しており、現在の車両数は、軌道68両、22編成（内超低床車両10編成）、鉄道44編成（内超低床車両12編成）で、１日平均約15万６千人のお客様にご利用いただいている。

軌道線は、広島市内の主要公共交通機関として、広島の玄関口であるJR広島駅や広島港と中心市街地である八丁堀、紙屋町を結んでいる。

宮島線は、西の玄関口である広電西広島から広島都市圏のベッドタウンとして開発が進む西部沿岸地帯沿い、日本三景のひとつ「安芸の宮島」の玄関口である広電宮島口を結んでいる。当社の主要路線である宮島線は1962年（昭和37）１月から鉄軌道直通運転を行っており、鉄道と軌道の乗り換えの不便さを解消した。またこの路線は、通勤通学路線であるとともに、原爆ドームと厳島神社の２つの世界遺産を結ぶ観光路線でもあり、多くの観光客にご利用いただいている。

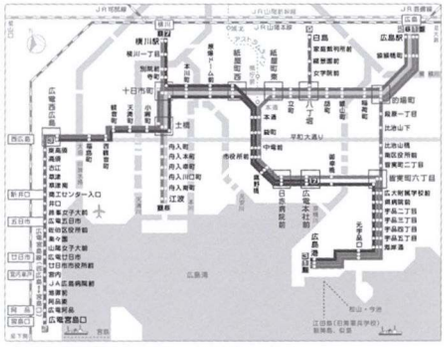


図1　路線図参照

■広電の創設から昭和初期■

1909年（明治42）春に広島の実業家松浦泰次郎からガス会社の設立の相談を受けた大林組創業者の大林芳五郎は、直ぐに北浜銀行（三菱東京UFJ銀行の前身のひとつ）を設立した岩下清周氏ならびに大阪瓦斯社長片岡直輝氏に相談し、片岡氏の協力を得て広島瓦斯会社を設立し自らも経営に参画した。また瓦斯会社設立準備中には、地元有力者から電気軌道創設の相談を受けるが、既に鉄道事業ブームで、東京から福沢桃助（福沢諭吉の娘婿）と松永安左衛門組の出願のほか数件の競願があり、容易に調停を見なかった。しかし大林芳五郎は、松永氏を尋ね誠意をつくし懇談し、一夜にして当時電力界の雄であった松永氏を譲歩させたのは奇跡的なこととして伝えられている。

1910年（明治43）６月に資本金300万円で広島電気軌道株式会社として設立され、大林芳五郎は初代社長となった。それから２年後の1912年（大正元）11月23日に軌道線（6,129m）で開業した。

1912年（大正６）には広島瓦斯株式会社と合併して、広島瓦斯電軌株式会社となり、その後1942年（昭和17）交通運輸部門を分離し、現在の広島電鉄株式会社となった。

■戦災復興期■

1945年（昭和20）８月６日午前８時15分、広島の都心部に原爆が投下され、約14万人の命が犠牲になった。当社の被害状況は、全従業員1,241名中、死亡者211人、負傷者289人で犠牲者は500人に達した。車両の被害は、123両中、全焼22両、半焼３両、大破23両、中小破60両の計108両であった（**図２**）。原爆投下により、広島市内の軌道線は壊滅状態となったが、爆心地より西方約15kmに在って唯一被災をまぬがれた電力源の廿日市変電所から市内へ送電し、被爆から３日後の８月９日には、東京電信隊など40名の応急修理によって、己斐（現広電西広島）～西天満町（現天満町）までの運転が再開された。その後順次復旧され、1948年（昭和23）12月18日には白島線を除き市内線全線で復旧した。

広島が今もって路面電車からLRT（Light Rail Transit）へ進化を続けられるのは、被爆から３日後に焼け野原で「チンチン」と力強く運転を再開し、打ちひしがれた人々に限りない勇気と希望を与えたからである。

ある人は言う「広島人のDNAの中に路面電車が組み込まれている」と。

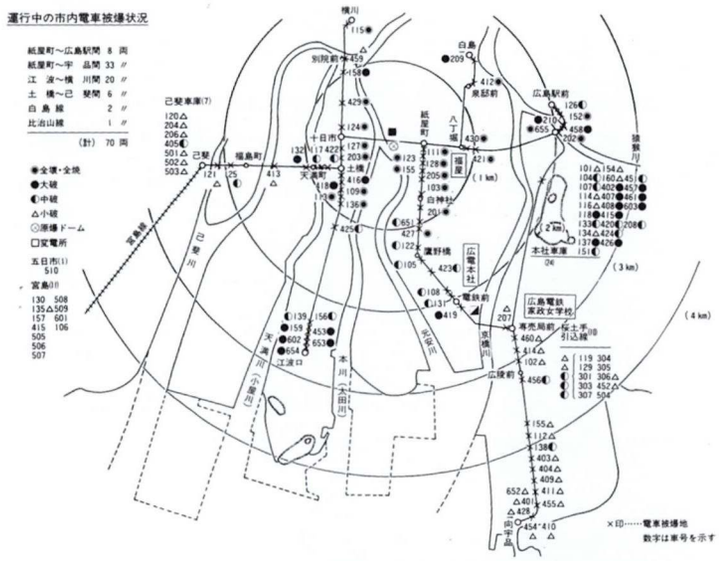


図2　車両配置及び被害状況

■路面電車存続のための施策■

1960年代後半からのモータリゼーションの進展により、道路渋滞が社会問題化されるようになった。渋滞緩和策として1963年（昭和38）軌道敷内諸車乗り入れ禁止が解除されると、路面電車が渋滞に巻き込まれ、表定速度が低下し、定時制を失い利用者が減少し、特に1967年度（昭和42）の電車利用者は年間600万人も減少した。

昭和30年代40年代は、東京、大阪、神戸、京都等大都市で路面電車が撤去され他の交通へと変わっていった時代であった。その後も各地で路面電車の廃止が進んでいった。当社も存続か廃止かで揺れた時代であったが、他都市で廃車になった大型車両（定員80人～94人）を購入し、小型車両（定員46人）と代替することで単一輸送力の増強やワンマン化等の経営効率化を進めていった。こうして各地で廃止された路面電車が広島で運行するようになり、今では「動く交通博物館」と呼ばれている。

広島の路面電車が生き残った最大の要因は、1971年（昭和46）12月１日から軌道敷内諸車乗り入れ禁止の復活を広島県公安委員会が決定したことであった。（**写真１**）当時の広島県警察本部では交通渋滞対策検討のため欧州諸国を視察した。そこでは路面電車を都市内主幹交通機関として優先的に走行させることで交通渋滞緩和を行っていた。この措置は、当時の当社電車部長が「他の代替交通機関もない中、路面電車廃止は無責任な決断、走行空間さえ確保できれば十分公共交通機関として機能できる」という信念のもと県警に日参したことと、自動車一辺倒の時代、路面電車は交通渋滞の元凶のように言われ交通の邪魔者扱いされていた中、しかも自動車産業の盛



写真1　軌道敷内諸車乗入禁止状況

んな広島において、広島県公安委員会の英断があったからこそ実現したものである。

■路面電車からLRT交通システムへ■

時代は平成に入り、公共交通機関に求められている要件も少しずつ変化してきた。

以前は、大量輸送、速達性、定時制が最も重要なファクターであった。これに環境問題とバリアフリーというキーワードが加わった。

路面電車を高規格化したLRTの先進都市のフランス・ストラスブール（**写真２**）は、モータリゼーションの進展で、自動車が出す排気ガスが歴史的建造物を汚損することが社会問題となり、それがLRT導入の要因の一つに挙げられている。

1978年（昭和53）以降、世界87都市で路面電車がLRTとして復活・導入されており、2005年（平成17）にはLRT・路面電車保有都市は362都市になっている。このように自動車依存型の無限に膨張するまちづくりからコンパクトシティーへ、まちづくりのトレンドが移る中、LRTの導入はまちづくりの潮流（**写真３**）となっているように思う。



写真３　ヒューストンのLRT（アメリカ）　日本交通計画協会提供

当社も1997年（平成９）を路面電車ルネッサンスと位置付け、９月には中国地方交通審議会県部会で平和大通り線計画等新規路線計画を発表。1999年（平成11）３月には超低床車両グリーンムーバーをドイツのシーメンス社から導入し、2002年（平成14）11月までに12編成導入した。

また国産超低床車両の開発の機運が高まり、2001年（平成13）運輸省（当時）の研究開発補助金により鉄道メーカー８社からなる超低床LRV台車技術組合が狭軌用低床台車を開発した。

その技術を受けて、近畿車両、三菱重工業、東洋電機製造、広島電鉄の４社の共同企業体が国産初完全超低床車両「グリーンムーバーマックス」（**写真４**）を開発した。



写真２　トランジットモール（ストラスブール）

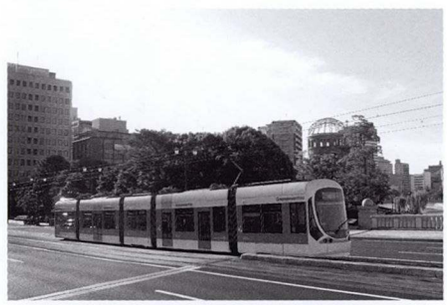


写真４グリーンムーバーマックス

2005年（平成17）３月30日には１号車が営業運転を開始し、現在10編成が営業運転を行っている。

一方、施設面においても利便性の向上に取り組んでいる。2001年（平成13）11月には、鉄道と軌道で別々であった広電西広島（己斐）のホームを一体化し、乗継利便性を向上させるとともに、バリアフリーな駅施設とし、ホーム全体を大屋根で覆うなど地域のランドマーク的な施設に整備した。（**写真５**）



写真５　広電西広島

これが利用者や関係機関から評価を得て、JR横川駅前広場への電停移設（**写真６**）や宇品新旅客ターミナルの新設に伴う電停移設（**写真７**）の際、電停とJR横川駅、広島港を大屋根で覆う一体的な整備が実施された。

電車とバスの乗り継ぎ利便性の向上にも取り組んだ。宮島線内の２つの駅について、電車とバスが同一ホームで乗り換えが可能となるよう改良した。（**写真８**）



写真６　横川駅前広場（広島市提供）



写真７　広島港電停



写真８　廿日市市役所前駅

これらによって、乗り換え時の移動距離が飛躍的に短くなることはもちろん、雨天時も抵抗ない乗り換えを実現し、利用者から好評を得ている。

■新規路線計画■

1997年（平成９）９月に、平和大通り線計画を発表し、それまで広島市が検討していた「新たな公共交通体系づくりの基本計画」の中の東西線計画の議論に一石を投じた。欧米諸国においては1970年代後半から路面電車が新しい形態であるLRTとして復活していることもあって、路面電車を支持する声も少なからず出てきた。

広島市が2000年（平成12）１月に発表した「新たな公共交通体系づくりの基本計画について」の中で、当社の平和大通り線計画江波線接続案並びに広島駅前大橋線計画が中期計画として盛り込まれた。また、2002年（平成14）３月中国地方交通審議会の「広島県における公共交通機関の維持整備に関する計画について」の中でも、平和大通り線江波線接続案並びに広島駅前大橋線計画共に検討することが必要であると答申された。

2004年（平成16）12月には、中国運輸局や広島市、広島商工会議所、広島消費者協会等で構成された路面電車の機能強化策を探る検討委員会が設置され、当社はオブザーバーとして参加し、この委員会で2005年（平成17）３月には、平和大通り西ルート、平和大通り東ルート、広島駅前大橋ルート、段原・宇品東ルートの４ルート案が延伸構想として提案された。（**図３**）

このように各方面から路面電車に対する期待は大きい。これらの期待に応えられるよう、路面電車からLRTシステムへの進化を目指している。

（なかお　まさとし／広島電鉄株式会社常務取締役電車カンパニープレジデント）



図３　新規路線４ルート案

新広島市民球場の建設について

佐名田敬荘

■新球場建設促進会議の設置■

現在の広島市民球場は、昭和32年の開設後50年以上が経過し、施設が老朽化しており、さらに観客サービスや選手諸室等の機能面でも、多くの課題を抱えている。こうした中で起こった新球場建設の動きは、平成16年のプロ野球界の再編論議にまでさかのぼる。

この再編論議を契機に、カープがこれからも広島で活躍できるよう市民・県民や経済界において新球場建設の機運が高まり、平成16年８月に、経済界から広島市に対し新球場の建設促進について要望があった。

そうした状況を受けて、平成16年11月に、広島県知事や広島市長、県・市議会の議長、広島の経済４団体の代表など官民で組織する「新球場建設促進会議」（以下「促進会議」という）が設置された。促進会議は、平成17年３月に、観客定員３万人以上の天然芝のオープン球場とすることや、平成21年のシーズン開幕までの完成を目標とすることなど、新球場建設の方向性をとりまとめた。

■現在地建替えの技術的検討と「新球場建設の基本方針」の決定■

このとりまとめを受け、広島市では、現在地での建替えについて、現球場の周辺には公共施設や民間建物が隣接していることによる敷地上の制約や、プロ野球を開催しながら建替えるといった特殊な条件を踏まえながら、観客席などの施設内容や施工方法、工程、工事中の安全性の確保、事業費等について、技術的検討を行った。

その結果、⑴事業費が大幅に増加すること、⑵敷地上の制約等から、工事期間中の安全確保にリスクが予想されること、⑶完成時期が目標より１年遅れて平成22年のシーズン開幕時となることなどの課題が判明し、また、カープ球団からは、観客数の減少等経営上大きな問題があることや、暫定使用期間中の観客や選手の安全確保について懸念があるとの意見が出された。

これらの検討結果から建設場所はヤード跡地にならざるを得ないと判断し、広島市は、平成17年９月に、建設場所をヤード跡地とし、事業主体は広島市、新球場の事業予定者をコンペ方式で選考することなどの「新球場建設の基本方針について」を公表した。

この方針に基づき具体的に動き出すにあたっては、計画策定の参考とするため、各界各層の方々から意見を聴取することとし、平成17年11月に、広島県、経済界、体育関係団体及びカープで構成される「新球場建設に関する懇談会」を、また、同時期に施設利用者や観客等からなる「新球場建設に関する意見を聞く会」を開催し、新球場について幅広く意見をお聞きした。

■設計コンペの実施■

当初、新球場建設の事業予定者を設計施工コンペ方式（いわゆるデザイン・ビルド方式）で選定することとし、平成17年11月から選考委員会を設置し、設計・技術提案協議を実施したが、コンペ期間中で防衛施設庁の官製談合事件により応募者４者のうち３者が失格し、最終的に当選案を決定するまでに至らなかった。

このため、ゼネコンを応募者に含めない設計者のみを選定する設計提案競技を、改めて実施することになり、平成18年６月、建築の専門家などで構成する選考委員会を設置し、委員長に池原義郎氏（早稲田大学名誉教授、㈱池原義郎・建築設計事務所代表取締役）を選任。平成18年10月、広島市は、選考委員会での選考結果を踏まえ、㈱環境デザイン研究所（東京都港区）の提案を当選作品に決定した。

平成18年10月には、当選作品を提案した㈱環境デザイン研究所と設計委託契約を締結し、新球場の設計に着手した。



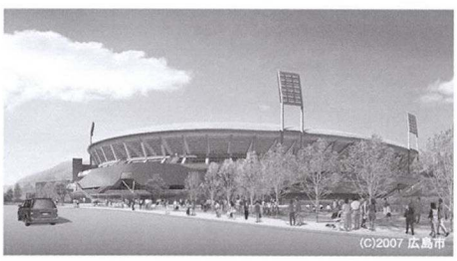
■官民の建設に向けた協力■

平成19年５月には、新球場の施設計画、資金計画、交通計画等について「広島市新球場（仮称）事業計画」をとりまとめた。

資金計画を含む新球場の事業計画をとりまとめたことから、広島県知事及び経済団体の代表者の方々に対して、広島市長から新球場建設の資金協力を要請したところ、広島県知事及び広島商工会議所会頭から協力いただける旨の返事をいただいた。これを受け、平成19年６月に新球場建設について、市・県・経済界で協力して進めることを確認し、共同発表を行っている。

■新球場の工事着手■

平成19年７月には、平成18年10月から進めてきた新球場設計をとりまとめ、平成19年９月に建築本体の工事契約を行い、同年11月末から本格的な工事に着手。現在、平成21年春までの完成に向け、着実に工事を進めている。設計を取りまとめるにあたっては、市民団体や応援団、カープ球団などの意見を反映して、レフトスタンドの座席数を「広島市新球場設計提案競技」の当選作品と比較して約200席増の約2,400席、女子トイレの数を現球場の２倍以上としている。



■新球場の施設概要■

○施設概要（数値は変更になる場合がある。）

グラウンドの大きさ：右翼100メートル　左翼101メートル　中堅122メートル内外野とも天然芝のグラウンド

観客席数：30,350席（固定席）、300席分（車椅子スペース）

観客席寸法：横幅50cm、奥行85cm

主な特徴：

・グラウンドの開放感、通風、街との一体感を確保するため、球場を北側のJR側へ大きく開く形態とし、新幹線などJR車窓からも球場の楽しさを感じることができる。

・１階観客席の最後部に、幅が広く、段差のないコンコースを配置しており、グラウンドを眺めながら周回することができる。

・多様な観戦スタイルが可能となるよう、砂かぶり席、ボックスシート、パーティフロアーやテラスシートなどを設けている。また、観客席は大リーグ球場並みの横幅50cm、奥行き85cmを確保しており、ゆったりと野球観戦することが可能である。

・300席分の車椅子スペース、オストメイト対応型多目的トイレを設置しており、誰でもが利用しやすく、ユニバーサルデザインに配慮した人に優しい球場としている。

・グラウンド下に大州地区（JR広島駅周辺部約50ha）の浸水対策として雨水貯留池を設置するとともに、備蓄倉庫・飲料水兼用型耐震性防火水槽の整備や広域避難場所の指定などにより、災害時の拠点となり、災害に強いまちづくりに貢献できる施設である。

■終わりに■

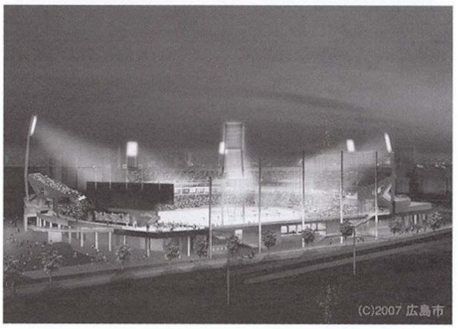
新球場の建設は、広島市にとって、戦後復興期からカープとともに歩んできた市民球場の移転という一大事業であり、思い入れの深いものとなっている。また、市民・県民・全国のカープファンが心踊り胸膨らませる、大きな期待を背負った事業でもある。

平成18年６月に開始した設計コンペから今日を振り返ると、８ヶ月という限られた設計期間と事業費90億円という厳しい予算の中で行った設計の取りまとめ、談合事件により多くのゼネコンが指名停止処分を受けた状況で行った入札など、厳しい環境の下でよくここまで事業を進めることが出来たという感慨で一杯である。今では、建築技術者として、こうした事業を担当できたことに大きな喜びと名誉を感じている。

現在、順調に工事を進めているが、平成21年春の完成に向け、引き続き気を引き締めて取り組みたいと考えている。







（さなだ　けいそう／広島市都市活性化局
新球場建設部工務担当課長）

広島駅南口Bブロック



イメージパース（広島駅南口広場より）

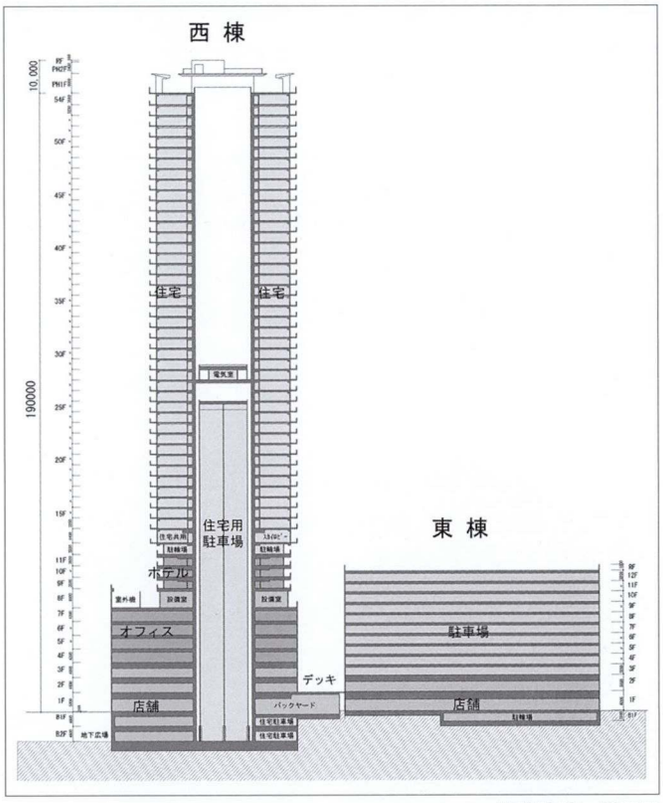
広島駅南口Ｂブロックは、低層老朽家屋が密集し土地利用も細分化しており、広島市の陸の玄関口にふさわしい都市機能の強化が求められている。

このため、商業機能のほか、業務や居住機能などを加えた複合的な都市機能を導入し、ランドマーク性を備えた超高層複合建築物を整備するとともに、河川空間の活用など賑わいのある都市空間を形成することにより、広島都市圏全体の活性化につながる都市機能の強化及び都市景観の整備を図るものである。

当地区は、昭和63年に第一種市街地再開発事業の都市計画決定がされ、平成４年には市街地再開発組合の設立認可がされた。当初は商業系施設主体の計画であったが、経済情勢の激変や広島都市圏の商業環境の変化もあり、計画が実現に至ることなく、当初都市計画決定から20年を経過した。この間の経済環境、社会環境の変化に合わせた計画の見直しをすべく、平成20年３月に当地区の都市再生特別地区の指定と、市街地再開発事業の変更についての都市計画が決定された。

現在、平成21年度の権利変換計画認可、工事着手、平成24年度内の工事完了を目指して、関係権利者の調整や設計・計画作業を進めている。

（平岡　真／株式会社アール・アイ・エー広島支店副参事）



施設設計　断面図

施設建築物計画概要	
建築面積	約7,400㎡
建ぺい率	約90％
延べ面積	約129,000㎡
容積率	約1100％
階数	地上54階、塔屋２階、地下２階
主な用途	住宅、商業施設、事務所、ホテル、駐車場 等
建物の高さ	約190ｍ（最高高さ：約200ｍ）

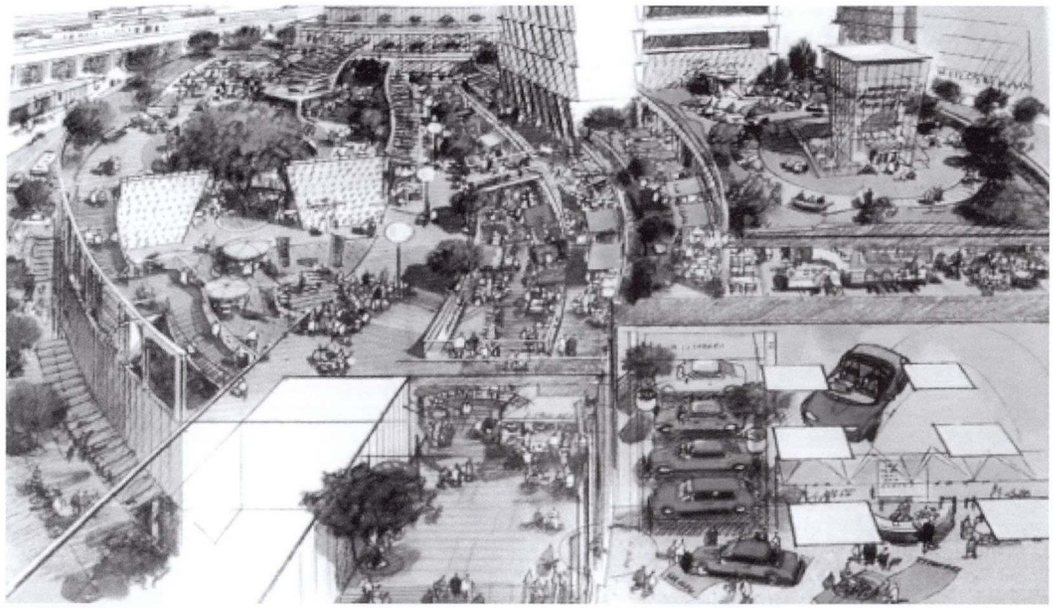
事業名称	広島駅南口Bブロック第一種市街地再開発事業
施行者	広島駅南口Bブロック市街地再開発組合
権利者数	85名（共有者を含む。）
参加組合員（予定）	住友不動産株式会社

広島駅南口Cブロック市街地再開発事業基本構想案

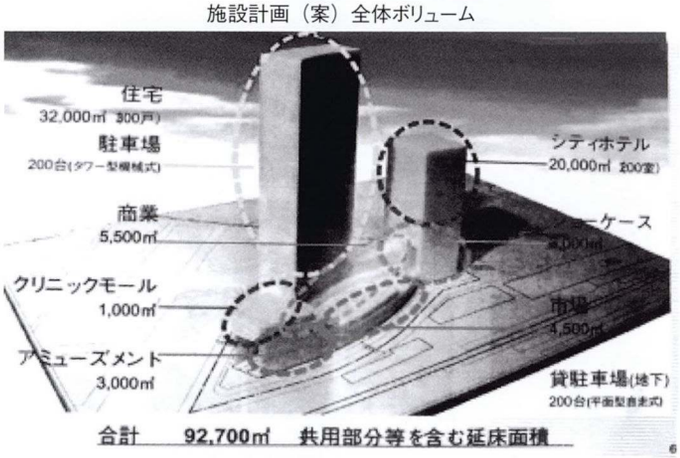
地元で戦後まもなく誕生してから現在も賑わっている「愛友市場」を地域資源として中心に据え、周りを広島の歴史や文化を感じさせるギャラリーとしての環境を創造し演出することがコンセプトイメージで「ウエルカムマーケットギャラリー」と呼び、駅周辺の再開発計画のAブロック・Bブロック・若草町地区の中心的位置付けで、目指すは「観光市場」で、更に完成間近い「新球場」への玄関として位置付けられている。



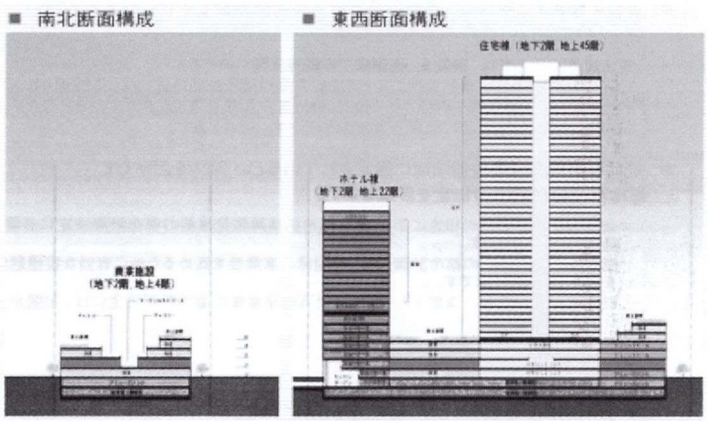
施設計画（案）全体ボリューム



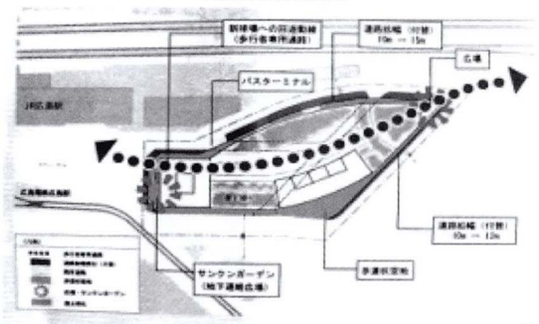
施設計画（案）断面プラン

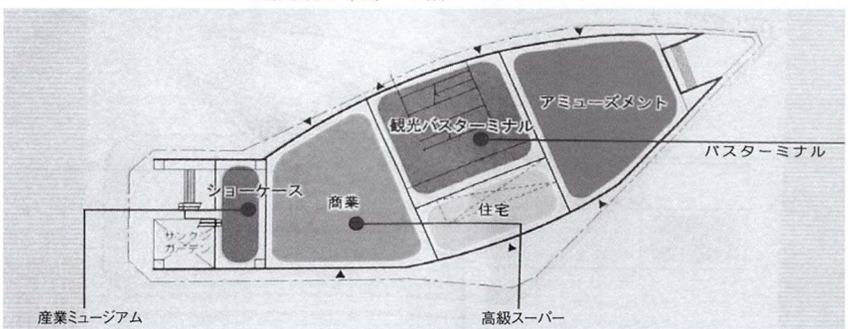


地域貢献施設案

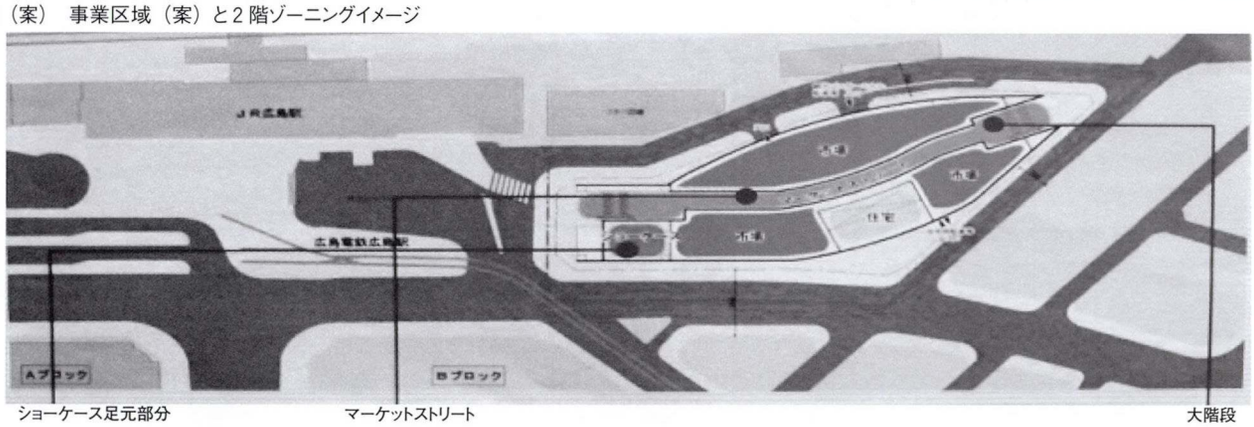


施設計画（案） 1階ゾーニングイメージ





施設計画（案） 事業区域（案）と2階ゾーニングイメージ



資料提供：広島駅南口Cブロック市街地再開発準備組合／コンサルタント ㈱久米設計

（この構想案は組合が権利者皆さんの意見を聞くために出された参考案です）

広島駅北口･若草地区 第一種市街地再開発事業

今回紹介するまちづくり事情の中で唯一工事の始まっている再開発事業である。資料ではタワー住宅棟以外は具体的な数字の記載はないが、下記のようなスケールの大きい街づくりがスタートしている。基本コンセプトも駅前が活発化され、賑わいの創出が期待される内容である。



タワー住宅棟概要

施　　行　　者	広島若草都市開発合同会社
開発業務受託者	大和システム株式会社
設　　計	株式会社竹中工務店
施　　工	竹中・広成・砂原共同企業体
総　戸　数	219戸（分譲戸数206戸・非分譲13戸）
敷　地　面　積	8,291.35㎡
建　築　面　積	1,577.22㎡
延　床　面　積	28,818.15㎡
規模・構造	鉄筋コンクリート造地上33階・免震構造
専　有　面　積	55.02㎡（7戸）～140.60㎡（4戸）
駐　車　場	176台（機械式）
駐輪場･バイク置場	336台
建物竣工時期	平成22年春（予定）
入　居　時　期	平成22年秋（予定）

駅前動く。新都心始まる。ここは未来をひらく躍動のステージとして

「住む・働く・遊ぶ・憩う、都心のニュースタイル」と広島駅「新幹線口」再開発プロジェクトとして計画されている。その新しい街づくりのコンセプトとして、下記のことが記載されている。

- 人が集まる・街が賑わう、人々の豊かな交流が、街の賑わいを呼び覚ます
- 世界の人々をもてなす（仮）広島シェラトンホテル
- 幅広い人々が住まう都心型住居
- 駅前広場にあふれだす賑わい
- 地域とつながる街づくり

［北街区］

分譲タワー住宅（総戸数219戸）

･ファミリーを中心に DINKS、単身者等にも対応した都心型住宅。幅広い世代が住まう街づくりの核。

［北街区］

賃貸住宅（85戸）

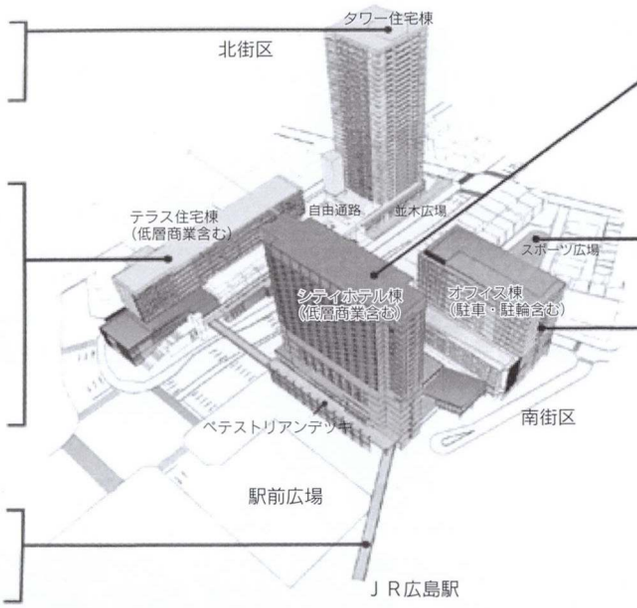
･駅直結を活かし、単身者や外国人が、便利に安心して暮らせる良質な住宅を供給。
･景観への配慮から高さを抑え、視線の抜けを確保。

商業施設

･低層部の賑わい創出、近隣居住者の生活をサポート。
･巨大店舗を避けることで駅前交通負荷を軽減しつつ、都心の多様性や街らしさを創出。

ペテストリアンデッキ（設置予定）

･北街区から南街区を経て駅に至る歩行者デッキ整備（一部民間施設側整備）により、安全で楽しい歩行空間となる都市インフラを整備。



［南街区］

ホテル

･駅前の交流活動を高める最大の核施設として、世界チェーンのシティホテルを誘致。
･観光、ビジネス、都市居住の拠点として大きな役割を発揮し、玄関口にふさわしい風格を形成。
･低層部はホテルのレクリエーション施設や、店舗等を配置。

広場

･既存の広場機能を再確保しつつ、近隣居住者の生活環境を高める配置。

［南街区］

オフィス

･新幹線駅前という絶好の利便性を活かしたオフィス誘致。
･マーケット動向に基づき、確実なテナント誘致が見込める供給規模を計画。

公共駐輪場

･市営駐輪場としての整備にあたっては、利便性と安全性に配慮し、地下部分に配置。（約900台）

駐車場

･計画施設用駐車場の充分な確保。
（約200台）

※上記内容は関係官庁の協議によって変更する場合があります。

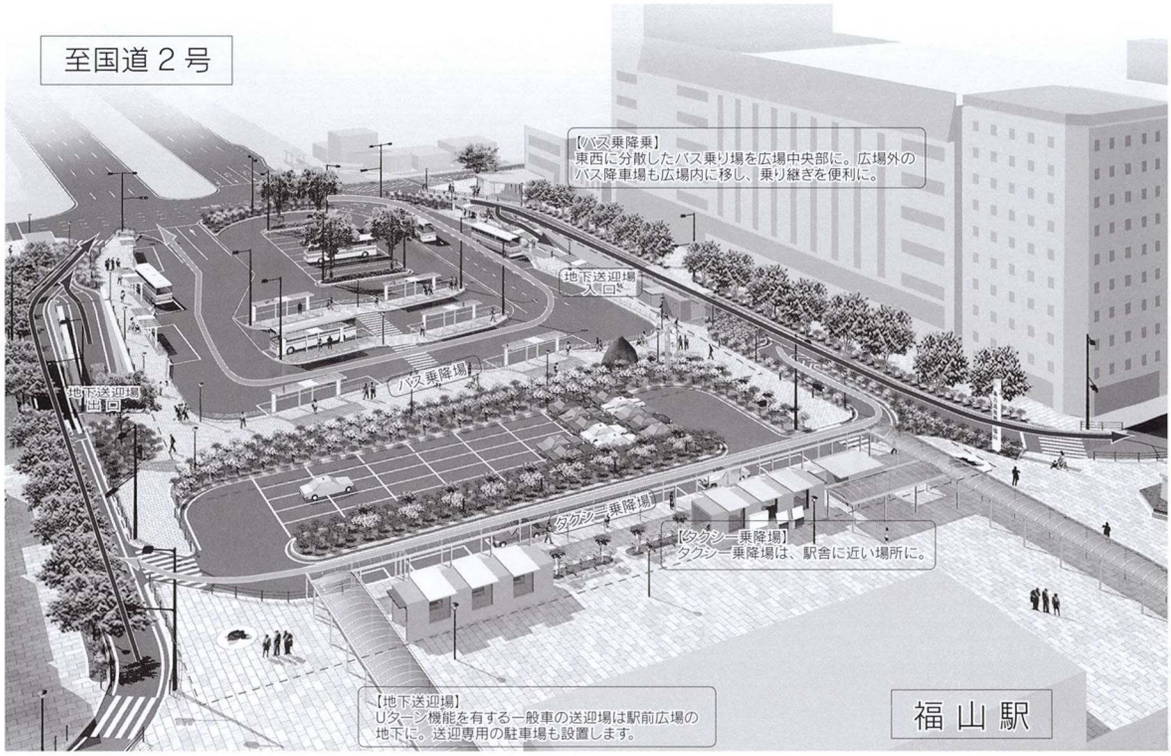


＊今年4月8日付けで公表された「報道資料」参考

資料提供：施　　工　　者 広島若草都市開発合同会社
開発業務受託者 大和システム株式会社

福山駅周辺のまちづくり

～備後都市圏の玄関口にふさわしい駅前の整備にむけて～



福山駅前広場整備概要図

福山駅は1891年（明治24）年以後福山市は備後地域における広域交流拠点都市として駅前を中心に発展してきた。現在の駅前周辺地区のまちの原型は、主に昭和20年代から20年代にかけて行われた戦災復興土地区画整理事業により形成されたものである。このように福山駅前広場の整備事業を進めることにより、備後の中核都市・福山の玄関口として、安全で機能性の高い快適な都市空間を創出し、中心市街地の活性化を進める。

整備の基本方針

備後中核都市の玄関口として機能性・安全性快適性などを兼ね備えた都市基盤整備を進める。

広場内を再配置することにより、ターミナル機能を強化し、交通混雑の解消、円滑化を進める。

ユニバーサルデザインに配慮し、歩行者などの安全性の確保、回遊性の向上、景観形成を進める。

現状の課題

バス・タクシー・一般車などの交通の流れは完全に分離されておらず、広場の中心部分では交通の交錯が生じており大変危険な状態である。また、バス乗り場などが分散しており利用者に不便な状態である。

駅前送迎場

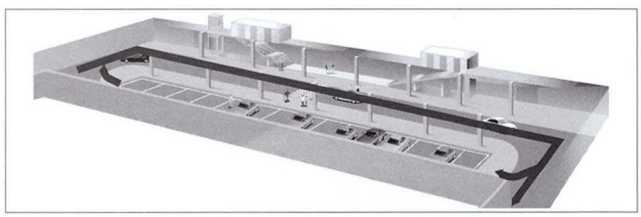
交通渋滞が頻繁に発生しているほか、右側が停車帯のため、助手席側からの乗り降りが危険であり、また、一方通行のため、送迎をすませた車は大きく迂回しなければ元の道に戻ることができず不便である。

バス乗り場および降車場

バス乗り場が広場の東西にあり、また運行路線が重複している乗り場もありバスの利用者に分かりにくい。バス降車場は広場の外にあり、乗り換えやJRとの乗り継ぎが不便である。天満屋前の降車場では車とバスとの交錯が生じており、大変危険な状態となっている。

駅前地下通路

駅前の地下通路はエレベーターが設置されていないため、高齢者や身体障害者などが利用しづらい。





地下送迎場イメージ図

整備計画の概要

面積	約14,000㎡（地下部分約3,000㎡）			
構造	地下１階			
地下部	一般車送迎場		９台分	身障者用１台含む
	送迎専用駐車場		15台分	身障者用１台含む
	エレベーター		１基	
	階段		２ヵ所	東西へ１ヵ所ずつ
地上部広場	バス	乗降場	12ヵ所	待機所８台
	タクシー	乗降場	７台分	待機所40台
他の主な施設	トイレ		１ヵ所	多目的仕様
	地下道エレベーター		２基	東西へ１ヵ所ずつ

資料提供：福山市建設局都市部都市整備課

東桜町地区 第一種市街地再開発事業

下記の施行地区は、福山駅前広場の南西部の一角で、昭和36年に防災建築街区造成事業により「福山繊維ビル」が出来たが、約50年の経過で老朽化が進み、設備が低下し、多種多様な用途が存する雑居ビルとなり、防災上も防犯上も不安があって、兼ねてより再開発が望まれていた。

そこで、市街地再開発事業を施行して、都心部にふさわしい高度利用の図られた、都市型住宅、多様な商業施設、公共施設を配置し、さらに駅前広場の整備と連携した都心部の核を形成し、中心市街地の活性化に向けて、この度スタートした事業である。

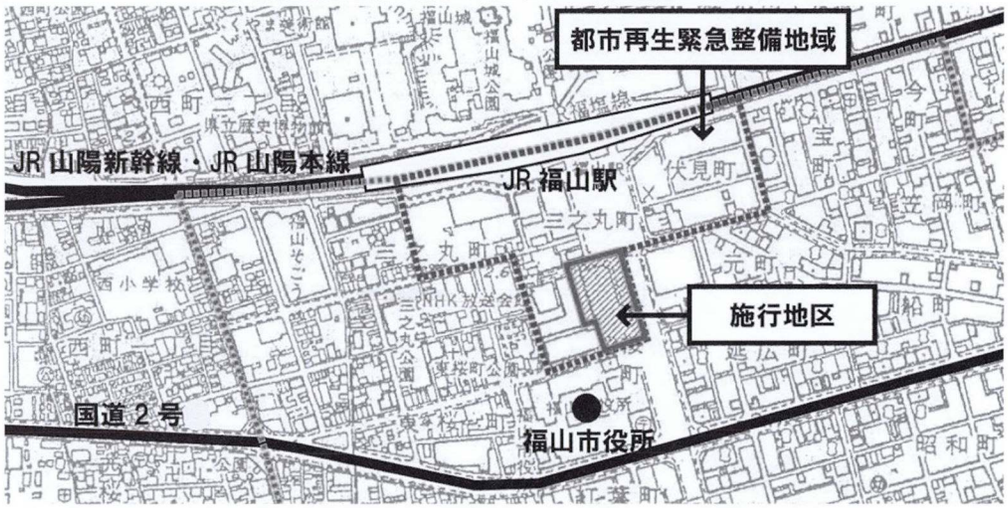


従前の建物外観の写真

施設建築物の概要

敷地面積	5,648㎡
建築面積	4,698㎡
延床面積 （容積対象）	51,010㎡ （39,008㎡）
建ぺい率	83%
容積率	691%
用途	店舗，事務所，住宅，ホテル，駐車場，駐輪場
規模構造	地下１階～地上28階建 鉄骨造・鉄筋コンクリート造 中間免震

都市再生緊急整備地域内の東桜町地区の施工地区は下記による





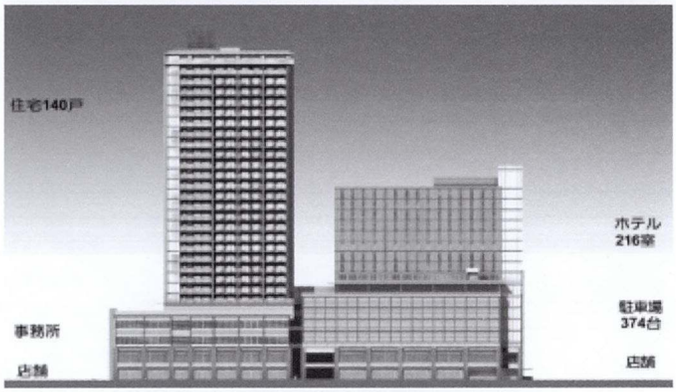
◄ 新しい店舗イメージ



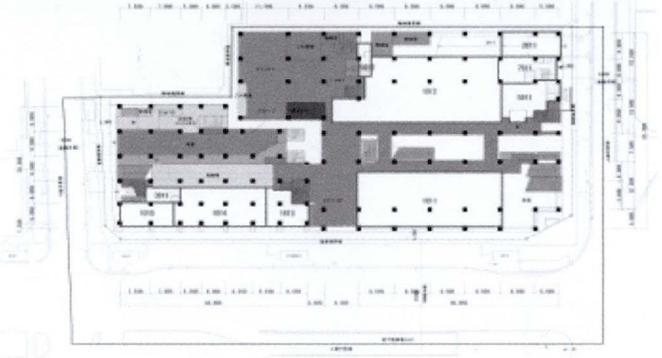
新しい店舗イメージ



駅前より見る完成イメージ（高層部住宅140戸・ホテル216室・低層部１～２階店舗その他）



施設建築物立面図

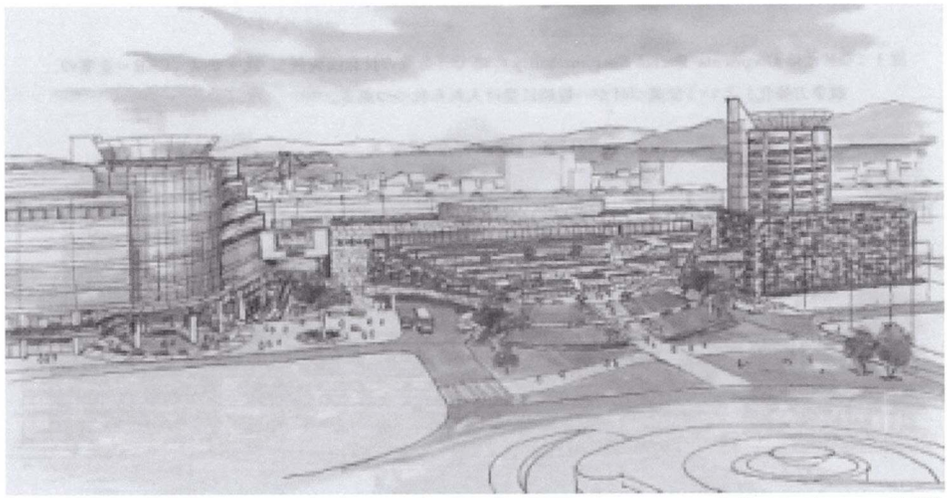


１階平面図

資料提供：福山駅前開発株式会社

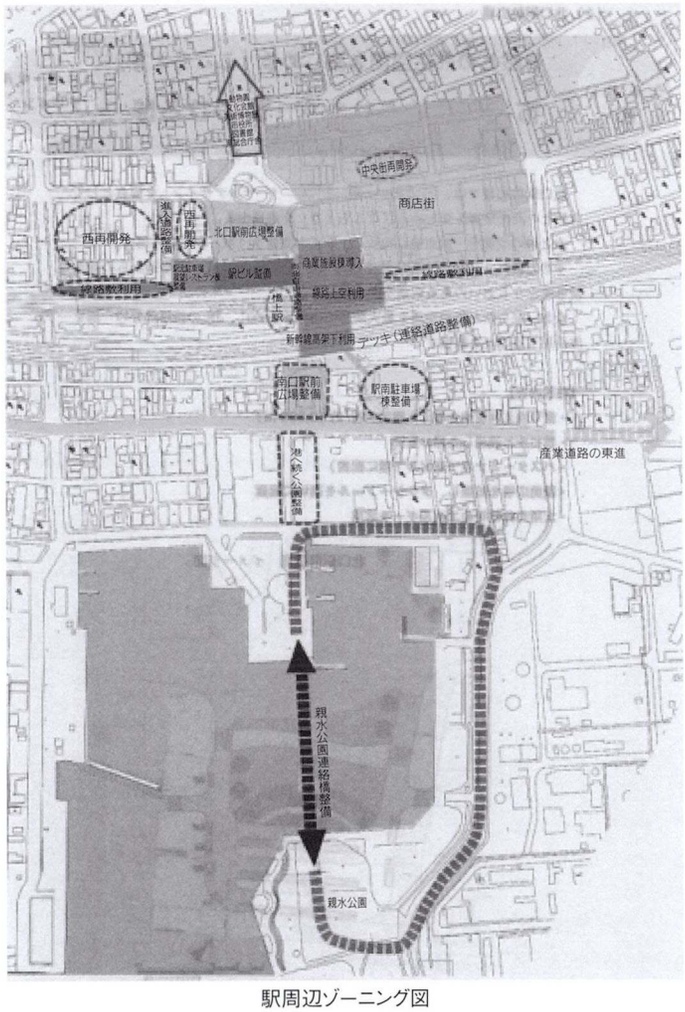
徳山駅ビル及び周辺グランドデザイン

周南市は、2003年４月21日に徳山市・新南陽市・熊毛町・鹿野町が合併し、人口157,800人（県下３位）、面積は656平方キロメートル（中国地区では広島についで２位）となる新しい市である。
この地区は第二次大戦で大空襲を受けたが、広い道路を基軸に街は復興したものの、その後、事業所や大型店舗の撤退などにより空洞化が進んだ。合併を機に、かつての経済の中心であった周南をつくることを目的に、昨年就任した市長が求めた徳山駅周辺の再生プロジェクトの策定が「徳山駅ビル及び周辺グランドデザイン」である。今後、市が案・予算・スケジュール等を決め議会へ提出され審議されていく。



全体イメージパース（鳥瞰）

駅ビル（周辺と調和させ、緑化を主体としたデザイン）
駅ビルでは、「市のシンボル」「産業・文化・観光」等を視点として、北口駅前広場と一体的に、緑と対話し、ふれあいが実感できる「ここちよさ」を表現する。
駅北駐車場棟では、「市のシンボル」「利便性」等を視点として、市のランドマークタワーをつくり、港や海への展望が楽しめる「ここちよさ」を表現する。



駅周辺ゾーニング図



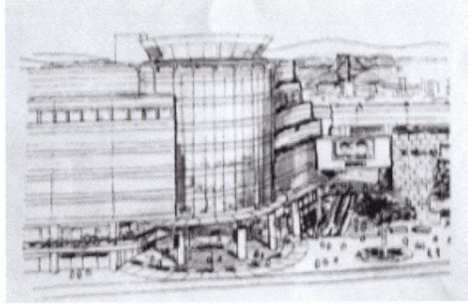
駅ビル　イメージパース

■施設内容

【駅ビル】
・CSRショールーム（周南地域の企業）[注1]
・周南市ショールーム、市役所の窓口機能
・コンベンションホール　・会議室　・市民交流施設

【駅北駐車場棟】
・駐車場（約400台）　・展望レストラン
・駅駐輪場（600台）　・飲食・物販店舗

注１：CSRとはCorporate Social Responsibilityの略で「企業の社会的責任」。欧州では「CSR＝企業の競争力強化」という位置づけが一般的に受け入れられつつある。



大規模商業施設

自由通路（ベンチ等）	幅員10m、延長約110m
商業施設棟（大型書店除く）	約13,500㎡（延床面積）
線路上空店舗	約5,000㎡（延床面積）
新幹線高架下店舗１階、２階	約5,100㎡（延床面積）
大型書店	約2,700㎡（延床面積）
レストラン街	約2,700㎡（延床面積）
シネマコンプレックス	約2,700㎡
計	約31,700㎡

資料提供：周南再生戦略会議（平成19年12月３日）
（徳山駅ビル及び周辺グランドデザイン）より

ノンコンプレションブレース（NCブレース）耐震改修工法

広島工業大学工学部建築工学科教授
高松隆夫

■はじめに

中国の四川大地震において多数の学校建物が倒壊した。そのため、我が国においても、学校建物の耐震診断および耐震改修を今以上の速度で実施するよう検討されている。学校建物の中で体育館は、生徒等が日々の体育授業や各種行事に使用するとともに、地域住民交流のための行事等に積極的に貸し出されている。更に、自然災害等が発生した場合には、被災者の避難場所としての役割も担っている。体育館の耐震性能は校舎以上の高い値に設定することが望まれる。

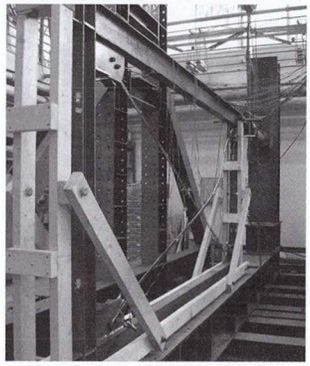


写真１　引張ブレースの座屈

現在、体育館のほとんどは耐震診断をし終えており、その結果も公表されている[1)]。大部分の体育館においては、桁行方向はブレース構造であり、ブレース断面が小さいことによる耐震性能不足のため、ブレース取替え等の耐震改修を必要としている。体育館に使用される細長いブレースは、引張ブレースと呼ばれ、引張力に抵抗するが、圧縮力には曲げ座屈を起こすためにほとんど抵抗しない。更に、引張ブレースは、引張降伏するとスリップ現象を起こす。

これらの弱点を克服するために座屈拘束ブレースと呼ばれるブレースが提案されている[2)]。座屈拘束ブレースは、芯材と呼ばれる軸力に抵抗する部材をコンクリート等で座屈を起こさせないように拘束したものであり、芯材の断面は小さくてもブレースとしての断面はその数倍になってしまう。そのため、耐震改修においては、体育館の雰囲気が暗くなる等の理由から採用されない場合もある。

ノンコンプレションブレース（NCブレース）は、ブレース端部に楔デバイスを設置することにより、スリップ現象も曲げ座屈も起こさせないブレースである[3)]。岡山市の２校（岡山市立彦崎小学校、岡山市立西大寺小学校）の体育館の耐震改修にNCブレースが使用されたので、NCブレースの概要および設計・施工法を紹介する。

■NCブレース

NCブレースは、引張ブレース端部に楔デバイスを設置したものである。**図１**に示すように楔デバイスは楔、楔受け、楔台およびバネで構成されている。楔台をガセットプレートに溶接接合し、その上に楔および楔受けを置き、ブレースナットを締付ける。そして、バネを取付ければ設置は完了する。

NCブレースの設計上の留意点は次のようなものである。

（１）ブレースは十分な塑性伸びを期待できる転造ねじブレースを使用する。

（２）楔角度は45度とする。

（３）楔と楔受け、および楔と楔台の間の摩擦係数が0.45となるように楔、楔受けおよび楔台の摩擦表面処理を施す。

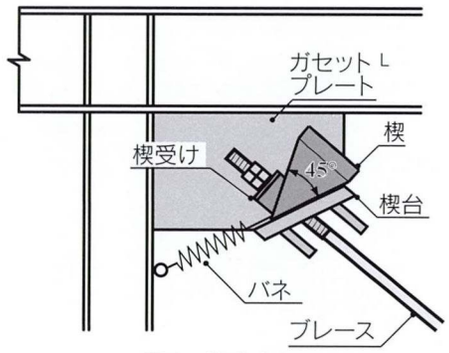


図１　楔デバイス

（４）バネは摩擦面上を楔が水平移動できる程度の剛性を有するものを選定する。

（５）楔貫入距離は、ブレースの必要塑性伸びにより決定する。

（６）ブレースに与える初期張力はブレース降伏軸力の50％とする。

■実験結果

図２に示すブレース付ラーメンの繰返し水平載荷実験を行った。**図３**に引張ブレースおよびNCブレースの実験結果を示す。**図３(a)**にNCブレース、**図３(b)**に引張ブレースの水平耐力―水平変位関係を示す。

図３(a)に示すように、NCブレースは全ての変形下において、引張力が作用すれば抵抗し、圧縮力に対しては曲げ座屈を起こさず理想的な完全弾塑性型復元力特性となっている。弾性剛性は初期張力としてブレース降伏軸力の50％を与えているため、実験開始から終了までブレース２本分の値となっている。ただし、降伏水平耐力はブレース１本分の値である。

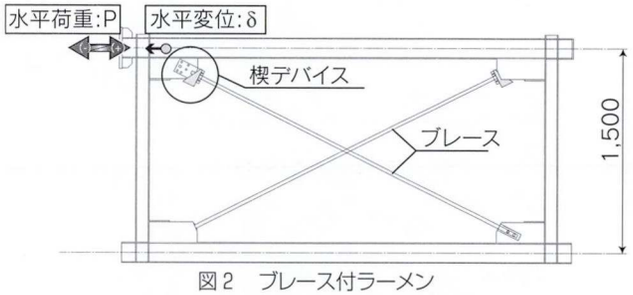


図２　ブレース付ラーメン

図３(b)に示すように、引張ブレースは、引張力には抵抗するが、降伏するとスリップ現象を起こす。圧縮力を受けると直ぐに曲げ座屈を起こしほとんど抵抗しない。そのため、典型的なスリップ型復元力特性を示している。弾性剛性および降伏水平耐力はブレース１本分の値である。**写真１**に示すように引張ブレースは大きな座屈変形を生じている。

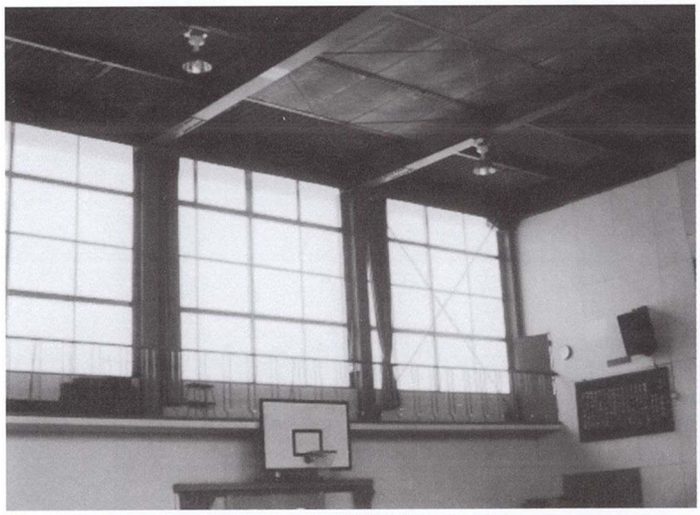


写真３　彦崎小学校のNCブレース

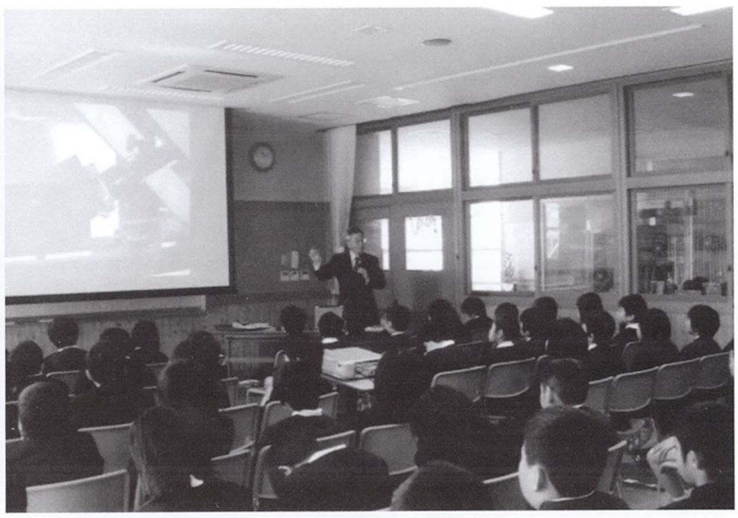
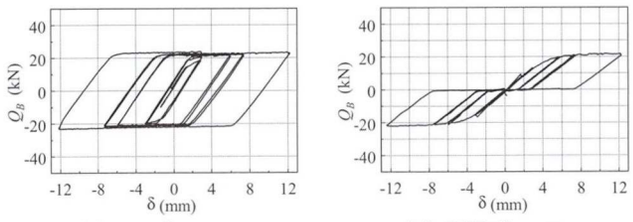


写真４　彦崎小学校での講演会（１）



(a) NCブレース　　(b) 引張ブレース

図３　ブレース水平耐力―水平変位関係

■NCブレースの利点

NCブレースは引張ブレースと比較すれば、次のような利点を挙げることができる。

（１）NCブレースは座屈を起こさず、引張降伏した後もスリップ現象を起こさない。

（２）NCブレースは完全弾塑性型復元力特性を示す。

（３）初期張力としてブレース降伏軸力の50％を与えれば、弾性剛性はブレース２本分の値となる。

（４）NCブレースは耐力および変形性能を容易に算定できるので、耐震設計に適したブレースである。

（５）楔デバイスは楔、楔受け、楔台およびバネで構成されており、簡単に製作できるとともに既存建物に容易に設置できる。

（６）引張ブレース端部に楔デバイスを設置すればNCブレースに変換できる。

■NCブレース耐震改修工法事例

（１）岡山市立彦崎小学校体育館

昭和51年に竣工した岡山市灘崎町に建つ、桁行方向33m、梁間方向18m、軒高9.3mの体育館である。桁行方向は１階が耐震壁付RC造ラーメンであり、２階はブレース付S造ラーメンである。２階が耐震性能不足なのでNCブレースを用いて耐震補強を行った。既存ブレースは撤去して４箇所NCブレースを設置した。**写真３**に示すようにNCブレースにはϕ33転造ねじブレースが使用されており、ブレースが外部空間と室内を遮断することも少なく明るい室内空間を創出している。写真４はNCブレースの概要について４年生に講演した様子である。生徒達が興味を持って大変熱心に聴講してくれたことを心から感謝している。

（２）岡山市立西大寺小学校体育館

昭和43年に竣工した岡山市西大寺に建つ、桁行方向43m、梁間方向22m、軒高7.2mの体育館である。桁行方向はブレース付S造ラーメンである。１，２階とも耐震性能不足であり、１階は引張ブレースで、２階はNCブレースを用いて耐震補強を行った。２階については、既存ブレースを撤去して８箇所NCブレースを設置した。写真３に示すように彦崎小学校と同様にブレースの存在がほとんど気にならない。**写真２**に楔デバイスを設置したブレース端部を示している。通常のガセットプレートを少し大きめに設計すれば十分に楔デバイス設置に対応できる。

■おわりに

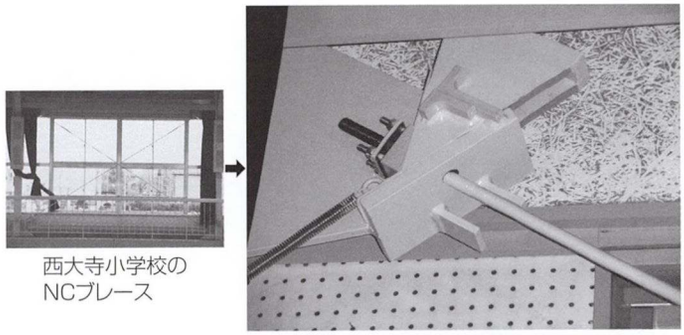
NCブレースが体育館の耐震補強に有効であることを述べた。今後、NCブレースによる体育館の耐震改修が数多く実施されることを期待している。

参考文献

1）日本建築学会大会パネルディスカッション資料：既存鋼構造建物の耐震性能評価と補強・再生、2007.8.

2）玉井宏章，高松隆夫，松尾彰：ノンコンプレションブレースの耐震性能向上について，日本建築学会構造系論文集，第595号，pp.131-138，2005.9.

3）長尾直治、高橋茂治：角鋼管を鉄筋コンクリートで被覆したアンボンドブレースの弾塑性性状、その２　解析的考察、日本建築学会構造系論文集、第422号，pp.45-56，1991.4.　2001.11.



西大寺小学校の
NCブレース

写真２　西大寺小学校の楔デバイス

広島大学（霞）歯学系研究棟　耐震改修

安井建築設計事務所
荻窪伸彦・松尾雅夫



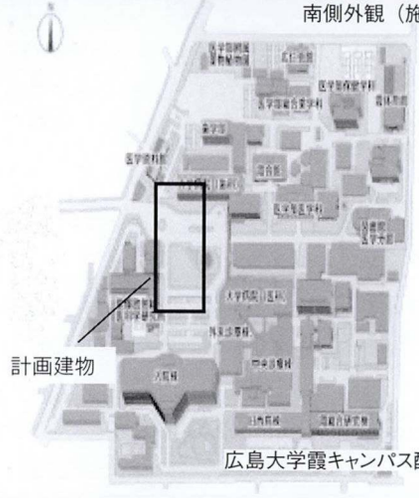
南側俯瞰（施工後）



南側外観（施工後）



南側外観（施工前）



広島大学霞キャンパス配置図

所 在 地　広島市南区霞１丁目
建 築 主　広島大学
受託設計　広島大学施設部・安井建築設計事務所
監　　理　広島大学
施　　工　淺沼組
工　　期　平成18年８月～平成19年３月

■全体計画

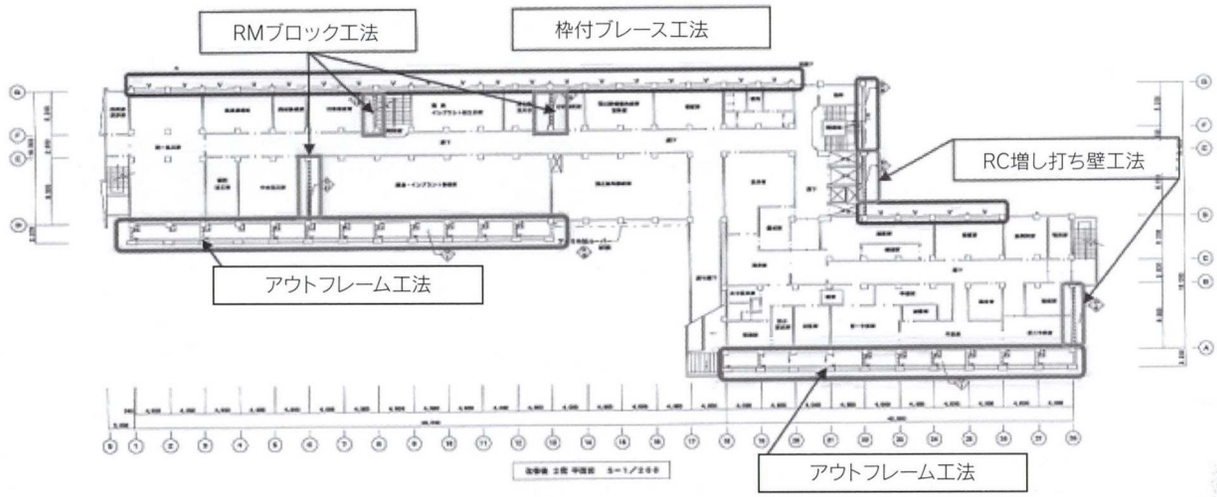
本施設は、広島大学霞キャンパスの正面エントランスを入って初めに目に入る建物で、南側の病院棟と対峙する関係で配置されている。

既設の外観は柱型を生かした、近代的な建築スタイルをもったデザインを有していた。南面はエントランス広場に面したこともあり、計画当初より、外観の再構築のため、既存の構造フレームを使ったブレズ補強ではなく、アウトフレーム型の構造補強形式を採用した。また、エントランスはクランクした棟の中央部分にあり、既存の施設利用を中断しない計画を進める上からもこの動線的にも主要なエントランス部分には外部補強を行わない方針とした。従って、南面はアウトフレームを採用する部分は、既存のイメージを残す竪柱を生かしたデザインとし、アウトフレームを採用しないクランクした部分は横ルーバーとして、デザインを切り変えた。

アウトフレーム出幅については、実物大のモックアップを用いて室内からの景観や日当たり等の確認を行った。

北面は近接する棟も多く、遠景から見える部分も少ないことから、既存構造体へのブレース補強としている。

（荻窪伸彦／大阪事務所設計部主幹）



■耐震補強計画

本建物は1967（昭和42）年に設計された現行の耐震設計基準を満足していない建物であった。耐震改修促進法に基づく第２次診断結果によると、桁行（東西）方向のIs値は0.27から0.70、張間（南北）方向のIs値は0.18から0.93であり、大半の階で判定指標値Iso=0.65（学校建築構造設計指針・同解説による）を大きく下回っていた。耐震性能が低い原因としては耐震壁が少ない上に、柱の帯筋が9φ@250と荒く、耐力・靭性とも乏しい架構のためである。

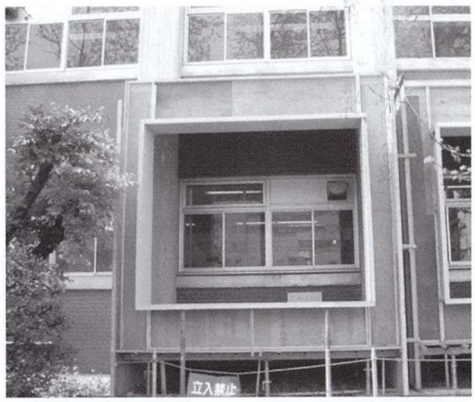
耐震補強工法の選定にあたっては、本建物の構造特性・工事中の使用条件などを考慮し、次の基本方針を設定した。

①用途は１階から３階が病棟、４階から６階は研究棟として常時利用され、工事中の代替え施設はないことから、耐震補強工事は短工期かつ「居ながら」行う必要がある。

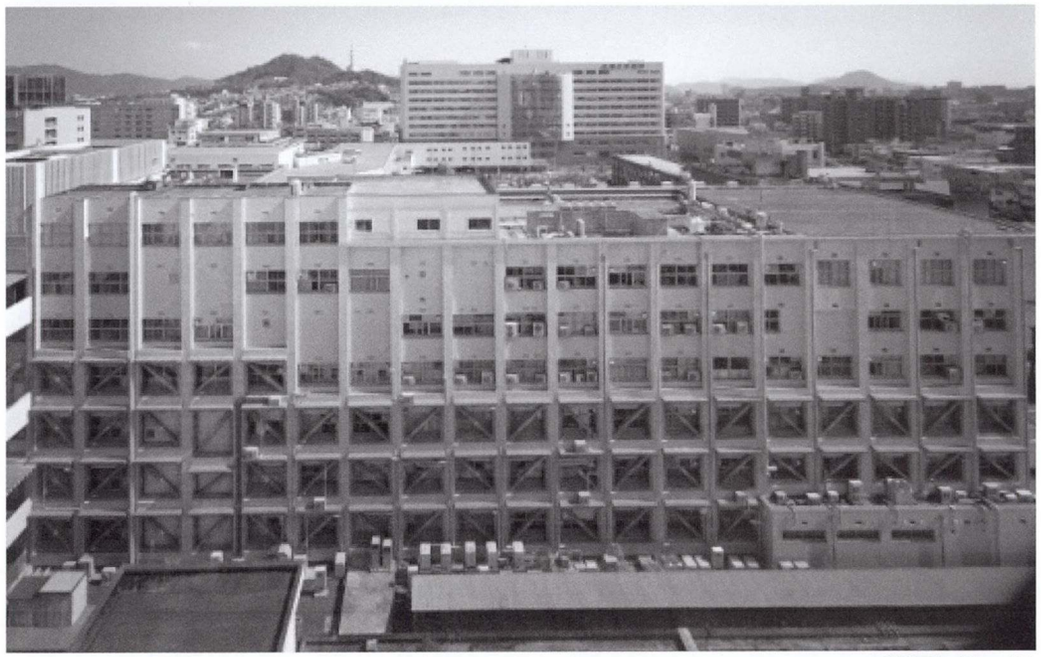
②南面は広島大学霞キャンパスの表玄関に位置する。補強後の意匠デザインは、周辺建物と調和するように配慮した。

（松尾雅夫／大阪事務所構造部部長）


北側外観（施工前）



モックアップ実験


北側俯瞰（施工後）

国立岡山病院病棟から、県民福祉の総合拠点へのコンバージョン

岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館 きらめきプラザ

竹中工務店設計部
須田修司

多様化し増大する福祉サービスへのニーズに対応するため、築後40数年を経た旧国立岡山病院の建物を県民総参加による福祉の総合拠点施設としてコンバージョンした。
整備方針として、ユニバーサルデザインの推進、環境負荷低減、高度情報化対応とともに、県の災害拠点施設と同等の構造体の耐震安全性1.25倍割増しが求められた。
計画にあたり、整備方針を満足するだけにとどまらず、耐震性能向上と同時にさまざまな付加価値を生み出す耐震補強手法として、ダブルフレーム構法を開発した。

○既存躯体の健全性の確認

築後43年が経過しており、躯体損傷状況確認のほか、コンクリートの圧縮強度や中性化を試験にて確認し、補強後30年以上の活用の検証を行った。

○構造計画の課題

既存は病棟のため特にＹ方向は耐震壁が多く、高層部は建物高さに対する建物幅が小さい。フレキシブルな空間創出のための耐震壁撤去による影響の大きいＹ方向に対する耐震性確保と、構造安全性割増しが課題となった。

○ダブルフレーム架構の特徴

低層部SRC造、高層部Ｓ造とし、低層部はスパンを増やして安定性を高め、基礎への地震時軸力を低減させた。
既存建物との連結部は、低層部は柱全長を接続しせん断力と軸力の伝達をさせ、地震時は隣接する各々の柱軸力を相殺し、既存杭基礎への引抜き力を軽減させた。また既存杭基礎のパイルドラフト評価により、既存建物が近接し施工困難なフレーム直下への新たな杭を不要とした。
これらの内容にて特許を出願している。
（既存構造物の耐震補強構造（特願2006-032045））

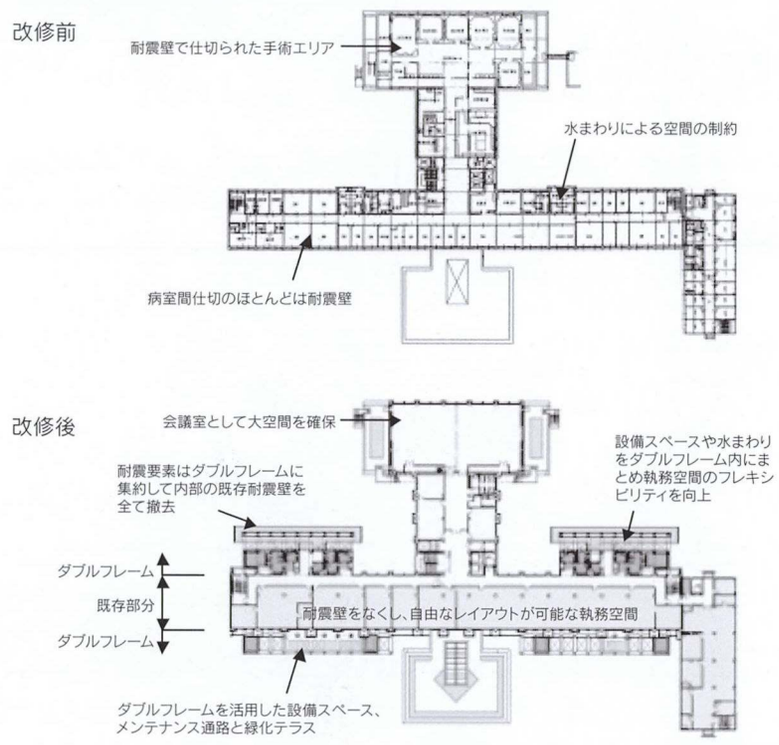
意匠・設備・構造が融合したダブルフレームによって、

○耐震壁のないフレキシビリティの高い空間
○フレームによる庇効果と設備の集約、屋上緑化や太陽光発電の導入などにより、CASBEE評価Ｓランク（BEE＝4.1、改修前は0.9）まで環境性能を向上
○中間領域となるダブルフレームによる、光と影の際立つファサードの再構成と、新しい街並み景観の創造

などを実現した。
既存建物や環境の質を高めることにより、福祉の総合拠点として生まれかわったきらめきプラザは、開館以来、年間20万人を超える利用者を数え、世代を超えた多くの人たちに親しまれている。



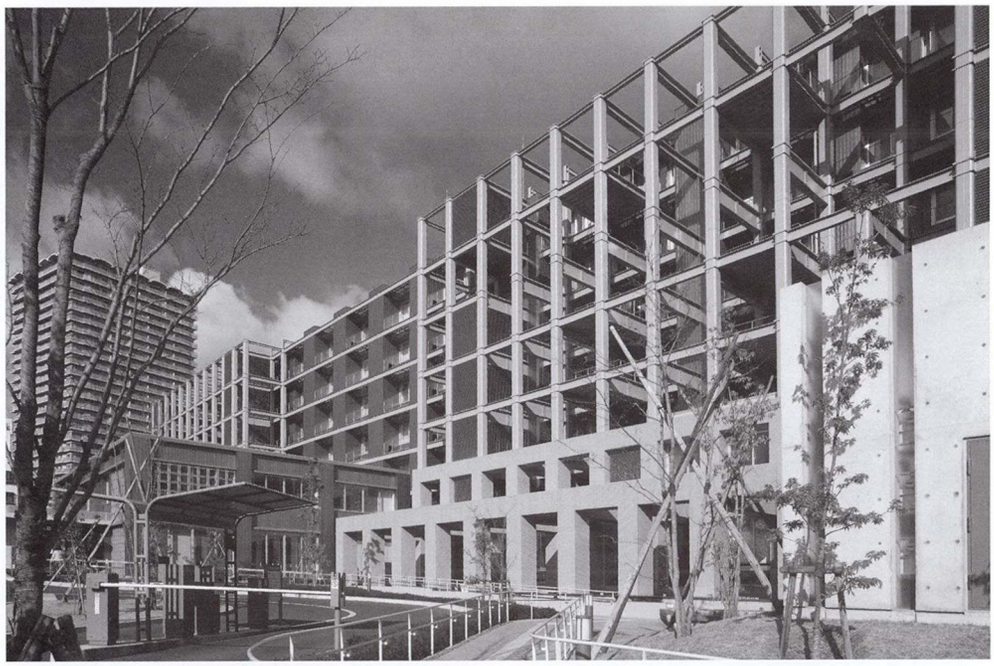
改修前後の3階平面図

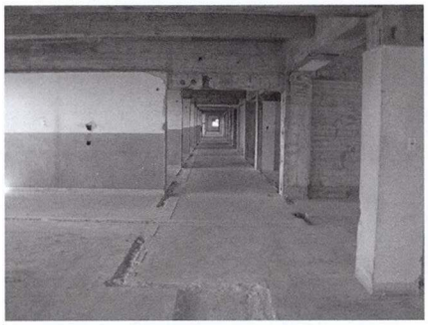


所 在 地　岡山市南方二丁目13－1
設計施工　株式会社竹中工務店
構造規模　SRC、RC、B1　F7　P2
工　　期　2004／9～2005／6
受　　賞　第17回BELCA賞ベストリフォーム部門
　　第５回環境設備デザイン賞　第Ⅱ部門最優秀賞
　　第６回エコビルド賞
　　H17年度　日本建築学会中国支部構造賞
　　H18年度　岡山市まちづくり賞（建築物部門）



南外観（上は改修前）
斜材を用いず、格子状に構成したダブルフレーム。
フレーム部分は設備スペース・メンテナンススペース・緑化テラスなどさまざまな機能を付加した。
これらをデザイン要素として陰影や変化を与え、既存のイメージを一新する新しい街並み景観を創造した。



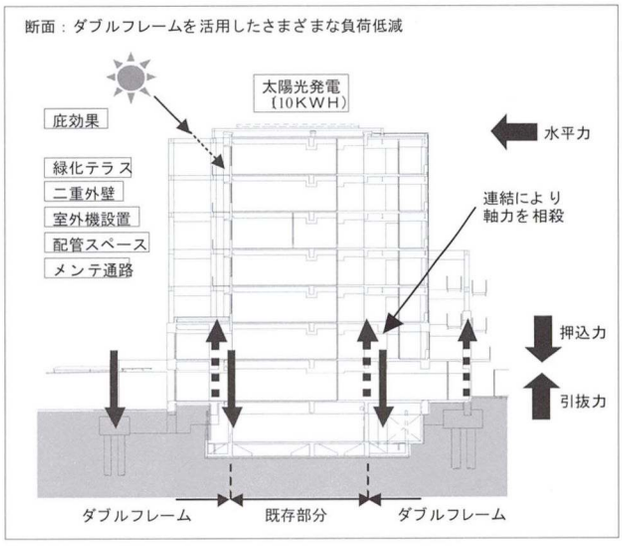


執務スペース（上は改修前）
内部耐震壁を全て撤去し、様々な用途構成に応えるフレキシビリティの高い空間とした。
また、設備スペースをダブルフレームに集約させることにより、階高3.2mで天井高2.55mを確保した。



外部空間や屋上の緑化、自然エネルギー活用、負荷低減などによるヒートアイランド抑制によりCASBEE-HIによる評価Sランクを実現した。
屋上には110KWHの太陽光発電を設置し、全消費電力の８％をまかなっている。



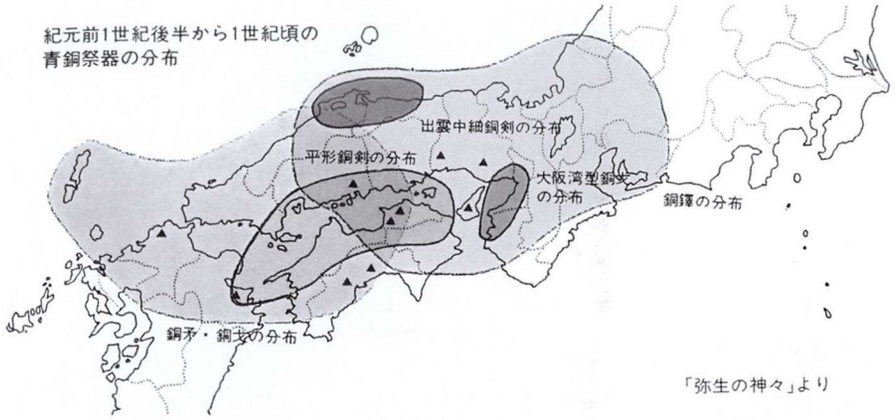


荒神谷遺跡とその周辺

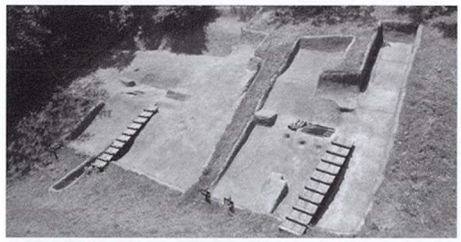
荒神谷遺跡

1983年、農道建設に伴う遺跡調査で一片の土器が出たのが始まりで、その南側に「三宝荒神」が祭られていることから荒神谷遺跡と命名された。

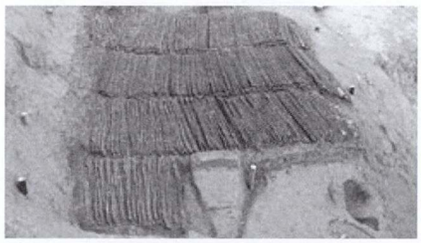
翌年358本の銅剣、さらに銅鐸６個・銅矛16本が発見され国内で昭和60年の重要文化財指定され平成10年には国宝に指定された。



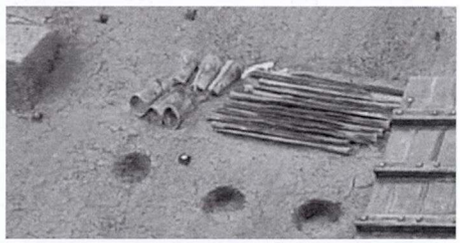
青銅祭器の分布



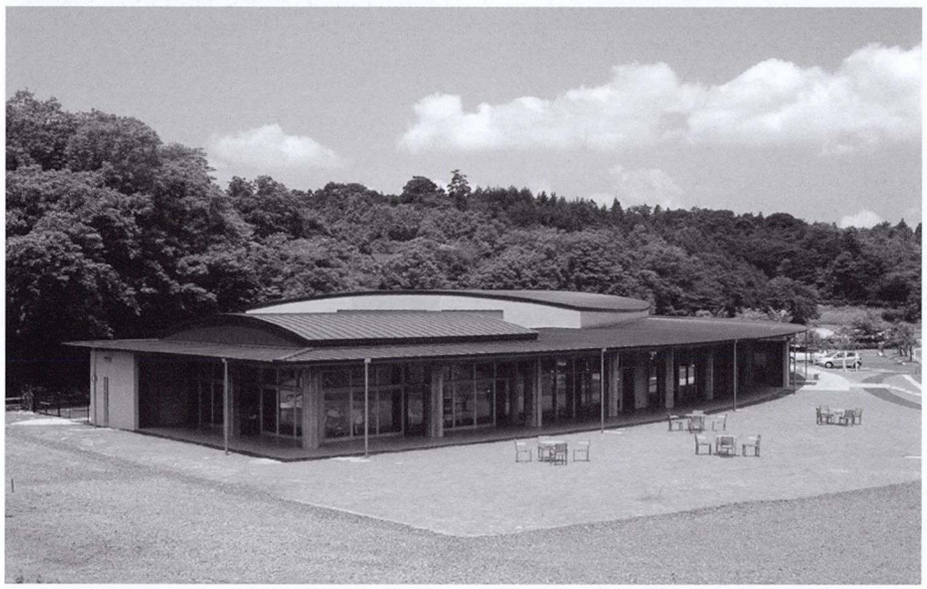
発見現場



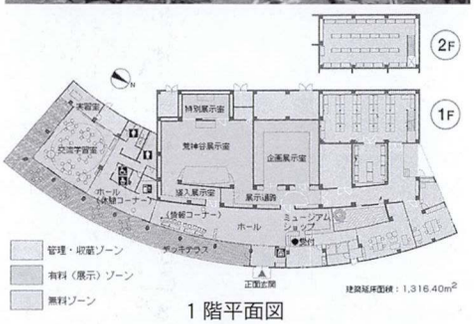
世紀の大発見358本の銅剣



銅鐸と銅矛







1階平面図

荒神谷博物館

2005年10月６日、荒神谷遺跡の隣接地に開館した。館内は国宝を展示できる機能や荒神谷の謎を面白く学べる工夫、出雲の原郷を満喫できる最新機器を駆使した展示となっている。また、講演や体験学習が出来る交流学習室がある。

荒神谷博物館データ

所 在 地　島根県簸川郡斐川町大字神庭837-8
設計主体　斐川町
運営主体　斐川町（NPO法人出雲学研究所）
施　　工　建築：フクダ（担当/持田昇、玖島康之）
　　空調：富士電機総設（担当/穴野順也）
水路改修　コスモ建設コンサルタント
　　（担当/新宮　保、山根絹子）

設計・監理
建築・展示設計統括
　　トータルメディア開発研究所
　　（担当/統括：仁科秀昭）
　　建築：会津寿美子　アドバイザー：石本博巳
建築　寺本建築・都市研究所
　　（担当/寺本和雄、有光礼子、小畑絢子）
構造　前田設計事務所（担当/前田清行、仲佐稔史）
設備　日永設計

荒神谷史跡公園マップ（広さ27.5ha）



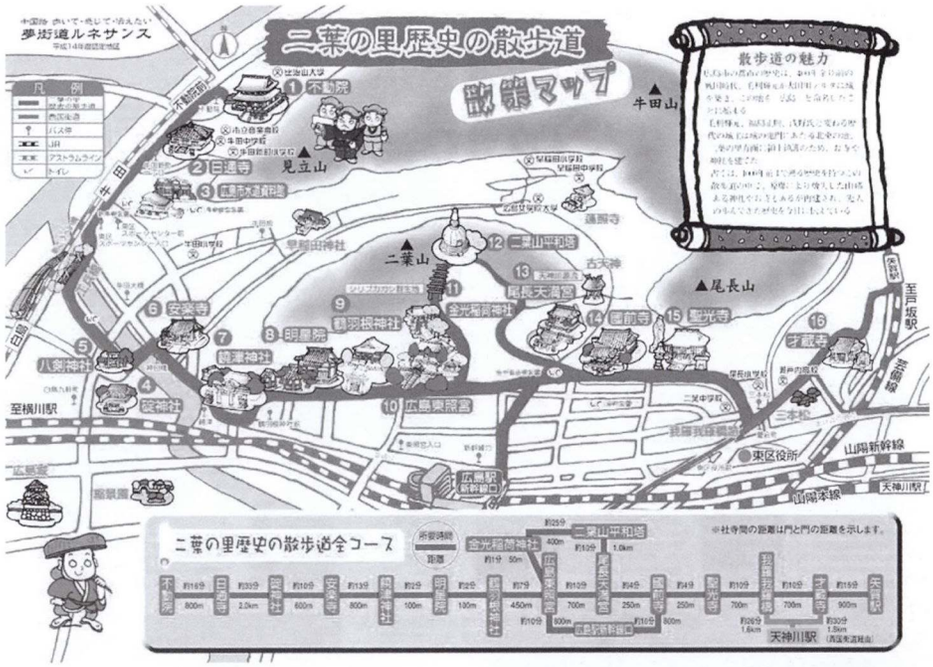
資料提供　島根県教育委員会

（広島）二葉の里歴史の散歩道

広島市は、第４次広島市基本計画（H11年11月策定）で市政推進を市民主体で進める観点から、区民と行政協議して個性豊かなまちづくりを進めていく「区の魅力づくり事業」を位置づけた。

この計画に基づいて平成12年６月に、沿道沿いの神社・お寺、地元の団体、公募市民など27名で構成する「二葉の里歴史の散歩道ブラッシュアップ研究協議会を発足した。

原爆で消えた広島の街、その中で唯一国宝の不動院金堂や重要文化財の建造物が残る「二葉の里歴史の散歩道」は歴史・文化の上で高い評価を受けている。



①不動院



不動院金堂正面（国宝）



不動院楼門（国重文）

足利尊氏が諸国に建立した安国寺（1345頃）の一つで後に毛利輝元の使僧で秀吉の側近で政僧の恵瓊が現代の残る姿に造り、後の住職宥珍が不動明王を本尊として不動院と称するようになった。

②日通寺　③水道資料館　④碇神社
⑤八剣神社　⑥安楽寺



樹齢350年大イチョウは山門を貫いている



安楽寺本堂

⑦饒津神社



拝殿（原爆で全て焼失昭和59年に再建）

⑧明星院



本堂内に赤穂浪士の木像有り

⑨鶴羽根神社　▼⑩広島東照宮



下の駐車場より見上げた正面の唐門と翼廊原爆で本殿拝殿は焼失、写真の唐門と翼廊は焼け残り当時の建築様式を伝えている。

家康の霊を祀るため三代家光が諸国に勧めた神社で、当時の藩主浅野二代光晟の生母振姫は家康の３女で、夫人の満姫は家光の養女であることから夫婦揃って造営を念願し1646年から３年後の1648年に完成し遷宮式が行なわれ、後世50年忌毎に大祭が挙行されてきた。

⑪金光稲荷神社　⑫二葉山平和塔　▼⑬尾長天満宮



菅原道真を祭る神社で、道真が九州大宰府に下る途中、当時海辺であった尾長の地に船を寄せてこの尾長山に登ったゆかりの地である。

⑭国前寺



名の由来は浅野藩菩提寺國泰寺の国と満姫生家前田氏の前を取ったものである。

1340年暁忍が寺を開き暁忍寺と言い、1656年浅野二代藩主光晟夫人満姫（自昌院）の発願で本堂、庫裏・山門・番神社を光晟の援助で1671年に完成、藩の菩提寺となり寺領200石が附された。1692年日蓮宗不受不施派布教禁止政策保護は停止されたが寺院独自で守られた自昌院没後300年を記念し、平成10年山門大修理が、本堂・庫裏が平成５年国重文の指定、解体大修理も行なわれ、貴重な建築文化財として歴史的価値を残している、鳩摩羅什三蔵木像（国内唯一の木像）・日像本尊曼荼羅他・仏像仏具。書画工芸品が多数有る。⑮聖光寺　⑯才蔵寺

編集　支部（森畑　武）

資料提供　二葉の里歴史の散歩道
フラッシュアップ研究協議会
広島市東区役所区政振興課

重要文化財 國前寺本堂保存修理事業

國前寺は、暦応３年（1340）この地で庵を結んでいた暁忍坊が、日蓮の弟子である日像に師事して創立したとされる日蓮宗寺院で、明暦２年（1656）に２代広島藩主浅野光晟の妻満姫が菩提寺「國前寺」とした。本堂はこの時の造営によるもので、上棟は寛文11年（1671）である。

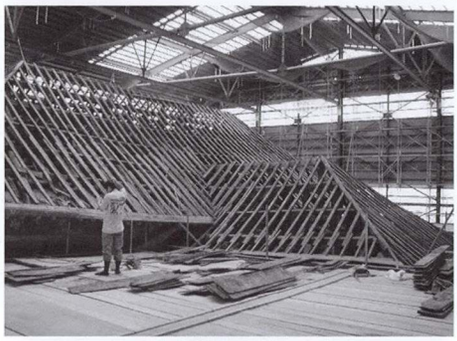
本堂は屋根が必要以上に複雑な形になっているが、これは社寺建築の形や大きさを規制した幕府の御触書に則って設計されたためである。そのほか各所に住宅的な様式を用い、また下重を素木造、上重を漆喰塗籠とするなどの特徴がある。

本堂は建立されてから後、被爆など多くの災難に遭ったにもかかわらず、大がかりな修理（山門２年・本堂５年）は今回が初めてである。工事では各部の腐朽・破損部材の補修・取替を行うこととしたが、特に小屋組の土台となる大梁を取替えるため、小屋全体を一旦解体した。組立工事は在来の工法に倣うことを原則としたが、軒の垂下を抑えるための桔木の強化と瓦葺等の軽量化や、床下に耐震補強を施すなどの改良も行った。また後世に改変された造作や被爆で失った建具等は、建物に残る痕跡や古写真等の資料により建立当初の形式に復原した。

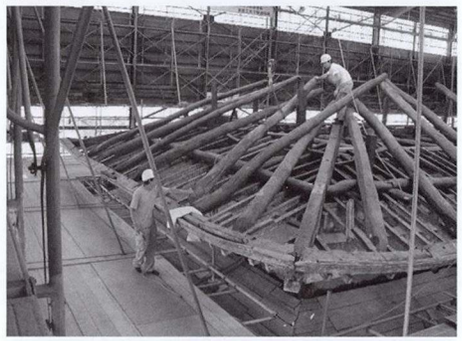
（岡　信治／財団法人文化財建造物保存技術協会整備設計課課長代理）



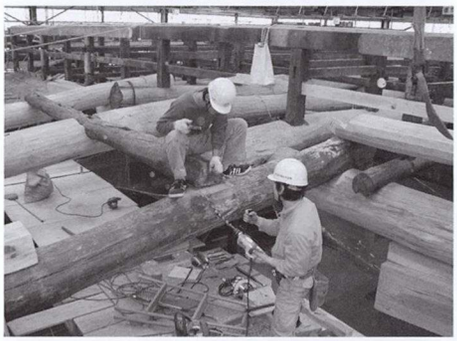
重要文化財國前寺本堂



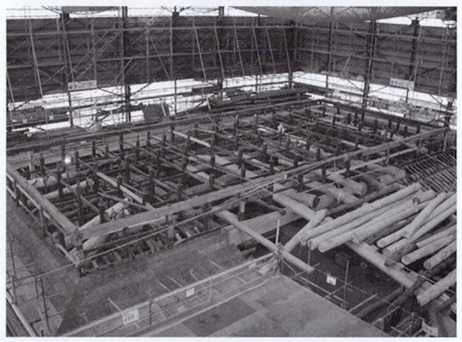
屋根野地板解体状況



小屋組解体状況



梁丸太組立て中



梁組立て中



國前寺山門

所 有 者：宗教法人　國前寺　住職　疋田英親
住　　所：広島市東区山根町32-1
工 事 名：重要文化財　國前寺本道保存修理工事
設計者名：財団法人　文化財建造物保存技術協会
施 工 者：株式会社　砂原組
最寄り駅：広島駅北出口（新幹線口）

建物概要
桁行24.0m、梁間12.1m、平家建、二重寄棟造、正面軒唐破風造向拝一間葺降ろし、背面両脇下屋葺降ろし、背面中央突出、桁行7.0m、梁間9.8m、一重寄棟造、本瓦葺、平面積（側柱真内側面積）404.162㎡。

広島市民病院増改築整備新棟建設その他建築工事

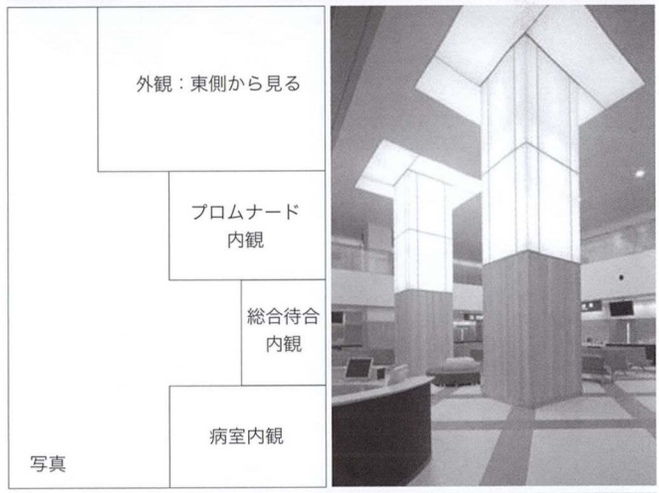
設計主
　広島市病院事業局
設計監理
　広島市病院事業局
　久米・村田相互設計監理業務共同企業体
施工
　清水・飛島・砂原・鴻治　建設工事共同企業体

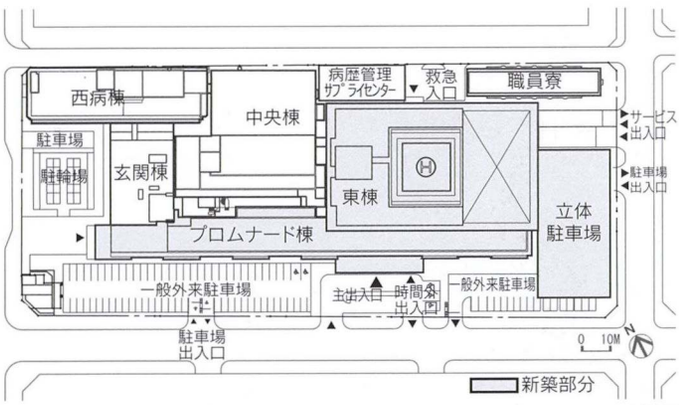


所在地：広島県広島市中区基町7番33号
敷地面積：18,079.38㎡
建築面積：11,544.69㎡
延床面積：76,450.81㎡
構　　造：SRC造、S造、RC造
　　東棟、及びプロムナード棟一部は免震構造
規　　模：地下1階、地上11階、塔屋１階
最寄駅：アストラムライン　県庁前駅
撮　　影：株式会社　西日本写房

昭和27年設立の広島市民病院は、社会環境の変化への対応や、新しい時代における医療需要への対応のため、今回の東棟やプロムナード棟新設を中心とした増改築整備を行った。
計画にあたり、広島市の中核病院として急性期医療を中心とした高度医療の提供、患者アメニティへの充分な配慮、効率的な病院運営により、市民に信頼され満足される新しい病院づくりをコンセプトとした。
今回の施設整備は、既存病棟の一部を撤去し、低層階に外来部門、上層階に病棟を持つ東棟の新設、既存の西病棟、玄関棟及び、サプライセンターの改修、各棟をつなぐ病院全体の主軸動線となるプロムナード棟の新設を行い、新棟及び既存棟を通じた一体的な施設計画の実現を行った。
外観デザインは、東棟は既存施設と階高を揃え、全体のスカイラインに統一感を与えた。外壁にはシックな色調のタイルを採用し、既存棟との統一感をはかるとともに、落ち着いた雰囲気とした。
プロムナード棟は、東西長さ約130メートルのガラスカーテンウォールで構成し、シャープで洗練された雰囲気とした。また、粗いテクスチャーのタイル貼りの壁面をカーテンウォール前面にリズミカルに配置し、変化を与えている。
内部デザインは、東棟は木調などの優しい色合いや素材を採用するとともに、テナントショップを配置するなど、主動線空間を患者さんの和める雰囲気を演出している。
プロムナード棟では、木調、街路風の床タイル、植栽の設置、左官風の仕上など、アースカラーを基調にした色彩や素材を採用するとともに、テナントショップを配置するなど、主動線空間を半屋外的な人々の動きが感じられる街路的な感覚で、病院らしさを感じさせない空間づくりとしている。　（永冨　誠・星野道子／久米設計）







配置図



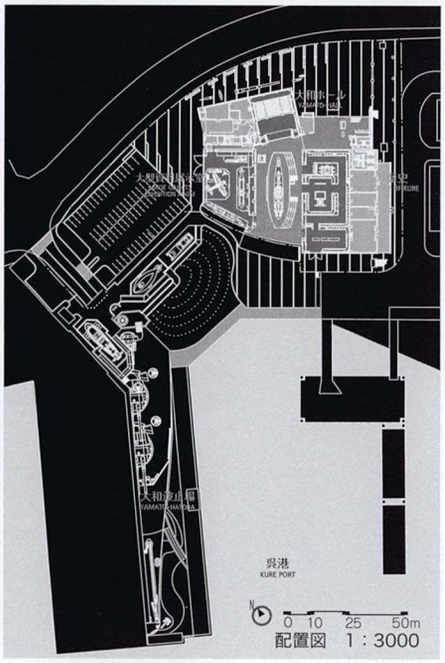
大和ミュージアム―呉市海事歴史科学館―


大和ひろば―背景に呉湾を望む開放的な展示空間で、戦艦大和1/10模型を展示の中心としている


北川外観―街並みに呼応するイギリス積みレンガを採用


夕景―戦艦大和が水盤に浮かぶように見える


大和ひろば



配置図 1：3000

生きた学習のできる博物館
海軍の街、造船・製鋼の街として発達してきた近代史を紹介する「呉の歴史」、戦前の技術の粋を集めて造船された戦艦「大和」の１／10模型を展示する「大和ひろば」、零戦をはじめ様々な海軍時代の実物品を展示する「大型資料展示室」、船の技術を子供たちにもわかりやすく紹介する「船をつくる技術」、未来への夢の架け橋となる「未来へ」の５つの展示を!大和ひろば」を中心に取り囲むように配置し、戦艦「大和」を中心に体感・学習できる展示構成としている。

歴史の香り漂う博物館
建築の仕上げは呉の歴史が創った街並みに呼応し、内外装に歴史的建造物で使用されてきたレンガブリックをイギリス積みで仕上げ、上層部は耐候性に優れるフェライト系スデンレスのコルゲート板張りによる外装で呉の産業を表している。

市民に開かれた博物館
博物館を日常的に広く市民に親しまれる施設づくりとするために、エントランスと展示室「大和ひろば」「大型資料展示室」に大板ガラスの開放的なガラスカーテンウォールを採用し、市街や中四国への海の玄関である呉湾、新たに整備された大和波止場(屋外緑地)に開かれたつくりとしている。

環境にやさしい博物館
地球環境に配慮し最適な電力のピークカットを行うために、空調は都市ガス空調と電気を使った蓄熱システムを併用し、省エネルギーに貢献するシステムとしている。また、夜間電気を蓄え、負荷の大きい昼間に放電し電力負荷平準化運転を行う「レドックスフロー蓄電池システム」を採用している。

(安東　直・久米設計)

所 在 地：広島県呉市宝町5-20
建 築 主：呉市
設計監理：株式会社久米設計
施　　工：五洋・増田・大之木JV
用　　途：博物館
構造形式：SRC造、一部S造、RC造、4F
建築面積：4,816.60㎡
延床面積：9,633.33㎡

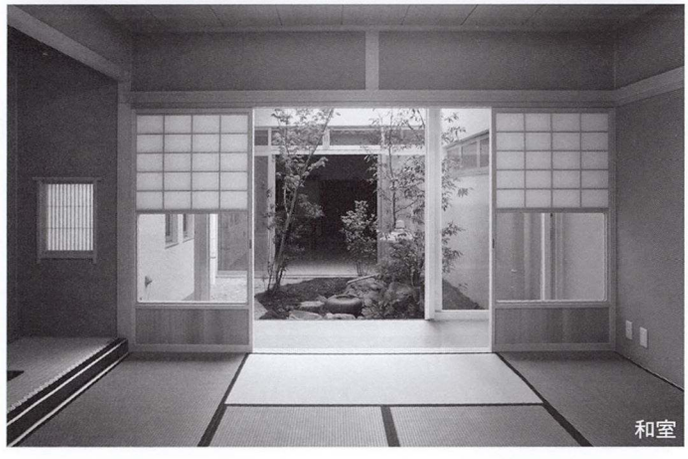
介護付有料老人ホーム　ティエラ


西側全景

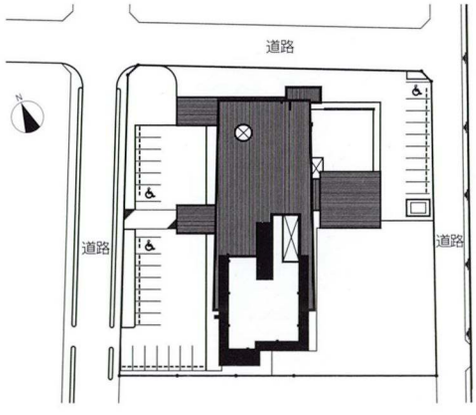
山口県岩国市、山陽道岩国IC近くに位置している。介護付有料老人ホームとデイサービス業務を行っている。クライアントからは、「入居者が満足できるゆとりある空間、ホテルのような雰囲気を」という要望であった。1階にデイサービス部門と重要入居者の居室を配し、中央部には管理・娯楽・食堂などの機能をまとめた。2階から4階は居室としている。各称の『ティアラ』はスペイン語で地球、大地、実家というような意味合いを持つ。
入居者にくつろぎの時間を提供したいと語るクライアントにふさわしいネーミングではなかろうか。おおらかに弧を描く屋根が印象的な仕上がりとなり、地球のランドマーク的な存在となっている。

（村重保則／村重保則現代建築設計事務所）

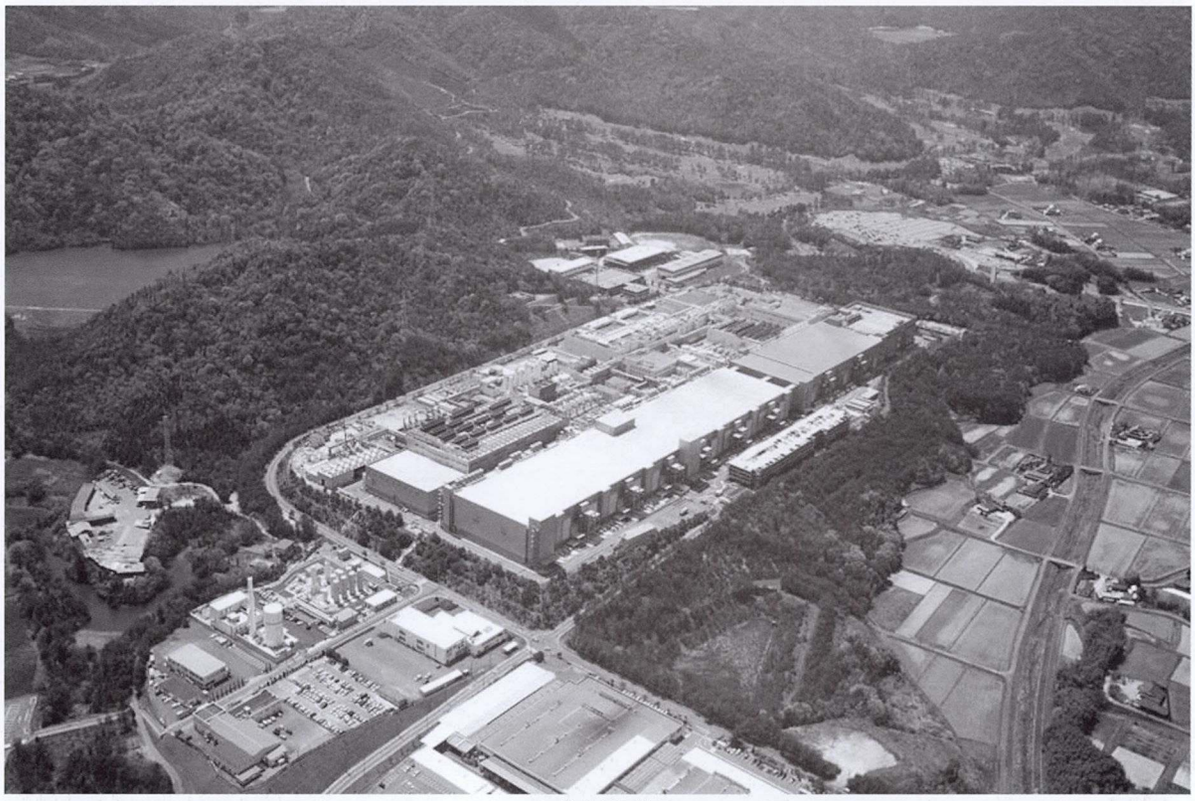

2階からロビーを見下ろす


和室

所 在 地：山口県岩国市多田
設　　計：村重保則現代建築設計事務所
施　　工：勝井建設
建築面積：1,417.70㎡
延床面積：2,837.51㎡
構造規模：RC造、4F
竣　　工：2004年3月24日
撮　　影：岡本公二



エルピーダメモリ株式会社 広島工場 E300ファブ増設プロジェクト



工場全景写真

日本で唯一のDRAM※専業メーカーのエルピーダメモリが、世界№１の地位を築くべく、最新300mmウエハ前工程の製造拠点を東広島に建設するプロジェクトである。設計・施工を含めたターンキーで竣工した。

設計の基本コンセプトとしては以下の６点である。

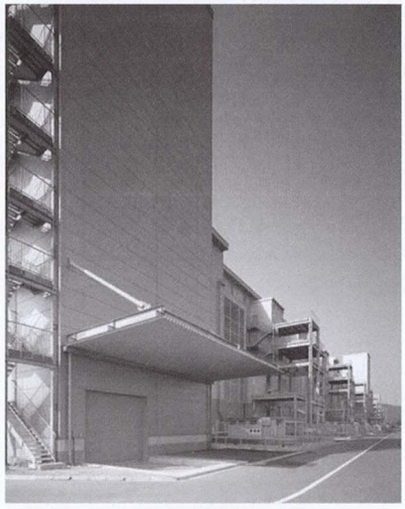
1．信頼性の高い生産供給システムの構築（24時間365日無停止に対応）
2．生産ラインの設置自由度を考慮した拡張性の重視
3．短工期に繋がる設計手法・システムの積極的な採用
4．エネルギー消費を抑制するシステム・機器の採用による、省エネルギー性の追求
5．自然災害・事故に対する人的・物的保全への配慮
6．経済性に配慮したコストコンシャスな設計

具体的な技術としては２層クリーンルームの下層を32m無柱空間とするVトラスシステム（トラス成3.5m）の採用、生産ライン無停止化のため各付帯設備にバックアップ機を設置、またCGS電源採用による安定電力供給を確保するなどの配慮を行った。

また施工面においては、短工期・ローコストでクリーンルームを構築する乾式の屋根・外壁気密工法の採用、嫌振エリアを短工期で実現するプレキャストコンクリート架構を採用した。

工事は大きく２期に分かれており、前期（2004年６月～2005年６月）で全体の建屋及び半分に当たる部分の内装、後期（2006年９月～2007年４月）で残りの半分の内装を施工。また付帯設備については、生産設備の拡充に合わせて段階的に施工を行いました。

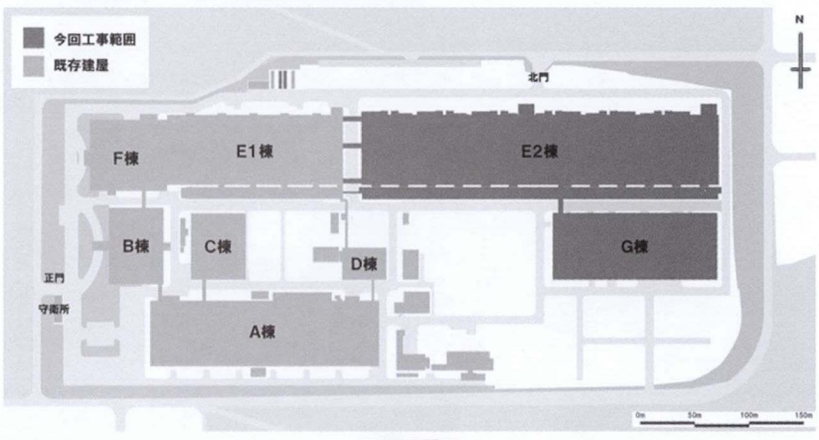
※DRAM：記憶保持動作が必要な随時書き込み読み出しできる半導体記憶回路



Ｅ２棟外観

概要

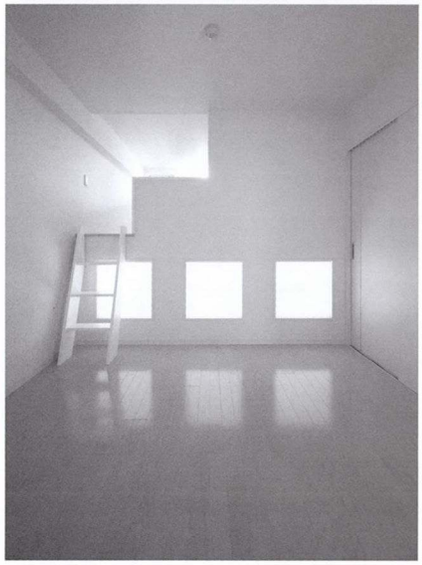
施工場所：広島県東広島市吉川工業団地
発 注 者：エルピーダメモリ株式会社
設計監理：株式会社大林組広島支店
　　一級建築士事務所
施　　工：株式会社大林組広島支店
建物用途：半導体工場
構造規模：S造、一部RC造　B1F、6F
延床面積：139,476.14㎡
敷地面積：193,680.76㎡
工　　期：2004年６月～2005年６月（前期）
　　2006年９月～2007年４月（後期）
最 寄 駅：JR山陽本線八本松駅から車で約15分



工場配置図

ラインヴァント「ハウス バーンフリート宇品東」











「ハウス バーンフリート」は当社がプロデュースする分譲マンションシリーズである。
建設地は近年開発がめざましい広島市南区宇品地区の閑静な住宅地の一角である。中広宇品線に沿う一部近隣商業地域であるが敷地の大半は第一種住宅地域であり、日影規制及び近隣協議による高さ制限のため、基本プラニング時点での住戸ブロック配置についてはかなり苦心した。
外観の基本コンセプトとしては、北側全面道路15メートルに面して一枚の大きな淡く白いスクリーンを映し出すイメージとし、分譲マンションでは希少なカーテンウォールを取り入れた。サッシカラーもシルバー色とし、コンクリート打放しと階段のガラス手摺、及び淡いグレータイルとの組み合わせにより軽い素材感を出しながらも、１階ベースメントのデザインや仕上げ素材など、逆に重厚感のあるものにし、地に足のついた存在感のある建物となるよう考慮した。
住戸数自体は13戸だがタイプ数としては７タイプあり、間取りも2LDKから4LDK、形態もメゾネット形式を取り入れるなどバリエーション豊かなものになっている。

（上田博幸／下岸建設）

事　業　主　フリート
設計・監理　下岸建設
施　　工　下岸建設

所 在 地　広島市南区宇品東7-43-26
敷地面積　531.19㎡
建築面積　304.25㎡
延床面積　1,471.81㎡
構　　造　RC造、６F
最 寄 駅　広島電鉄「宇品四丁目」下車
撮　　影　(有)JP

「建築と社会」誌

特集一覧 ●1986~2007

大正6年3月に誕生した日本建築協会（当時・関西建築協会）の、機関誌は大正6年9月に「関西建築協会雑誌」と題して創刊された。大正8年に「日本建築協会雑誌」、さらに1年後には「建築と社会」と改題し、今日に至っている。

取り上げてきた特集テーマは下記のとおりで、バックナンバー購入希望は、日本建築協会事務局（TEL 06-6946-6981、FAX 06-6946-6984）まで。販売価格は1200円（送料・消費税含）。

号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1986 vol.67	●これからの住空間―都市型集合住宅にみる	●屋根―そのデザインと素材	●現代デザイン―ポストモダニズム10年 ●これからの防水工法	●インテリジェントビルの建築・設備計画	●自治体営繕と公共建築	●建築防災と法 ●大阪市庁舎（第2期）	●21世紀の住宅と設備	●開発―その創造的仕掛けの鍵をもとめて― ●ツイン21	●CAD―その応用と展開	●オフィス空間の構成	●第33回青年技術者	●インテリア・イクステンションとリニューアル
1987 vol.68	●入浴物語	●腐食	●創立70周年記念号	●躍動する東海へ	●貯蔵・保管施設 ●大阪府立体育会館	●室内の仕上床	●駅	●行政建築家の可能性	●シティホテルの設備	●宝塚の街づくり＊	●建物と町並みの接点 ●昭和設計作品集	●第34回青年技術者
1988 vol.69	●ホテル物語	●軟弱地盤と基礎 ●文化と伝統―東海からの報告	●設備におけるLCCとリフレッシュ ●東畑建築事務所作品集	●建物の外装リフレッシュ＊	●都心居住	●中国地方の展望とひろしまのまちなみ	●21世紀への照明＊	●制振＊	●超高層住宅を考える	●集合住宅のリフレッシュ＊ ●大阪府営善	●第35回青年技術者 ●800号記念＊	●讀賣テレビ
1989 vol.70	●夢をのせる輸送設備	●リゾート事情 ●竹中工務店創立90周年記念	●色の復権 ●東海の新建築と伝統技術＊	●省力化のための材料・工法	●まちづくりと法	●博覧会とまちづくり	●都市環境創造と設備I	●建築とアート	●構造の省力化 ●鹿島建設大阪支店建築設計部作品集	●都市環境創造と設備II ●ユーザー参加のハウジング	●第36回青年技術者	●最近の博覧会パビリオン
1990 vol.71	●商品化住宅のデザイン＊	●ニュータウン・ルネサンス	●東海の都市景観 ●佐賀市文化会館＊	●スケール感	●プレハブ住宅技術の現在と未来	●国際花と緑の博覧会	●建築家のための設備知識―中規模オフィスビルによるケーススタディー	●高強度化―設計の多様化をめざして―＊	●やわらかな住宅管理・ユーザーの役割	●都市のナイス・プレイス ●兵庫県営繕の歩み	●第37回青年技術者 ●和歌山県の展望と景観＊	●高級感―建物の顔：感性の時代を迎えての外装材
1991 vol.72	●新しい都市空間づくり―I― ●オフィス・プレジャー ●新しい都市空間づくり―II― ●建築の風景	●東海支部復活30周年記念	●大阪東京海上ビルディング	●今、京都 ●建築家のための設備知識―複合商業ビルによるケーススタディー	●建築と土木 ●毎日放送本社ビル ●近畿地方建設局営繕部	●一般号＊	●建築をめぐるトラブルとその解決 ●建設現場のイメージアップ作戦	●空間のアイデンティティ ●きんでん写真集 ●大建設計40周年	●自治体住宅政策への提言 ●大林組創業100年記念	●建築と土木―構造技術の世界― ●第38回青年技術者	●スリムでタフなコンクリート ●21世紀の住まいを考えるシンポジウム
1992 vol.73	●夢物語―人がかわる、まちがかわる―	●こだわりのインテリア ●近畿の郵政建築15年の歩み	●建築とデザイン―東海支部―＊	●建築家のための設備知識―集合高層住宅の設備システム―	●地球環境時代の建築	●街創り、住まい創り―住宅・都市整備公団関西支社10周年―	●木構造を使ってみませんか―集成材による構造―＊	●接着―建築分野への限りなき可能性	●中国地方の町並みと建築家の「語り、夢、作品」＊	●屋台一仮設の魅力に学ぶ― ●ハウジングのメインストリームを探る	●いま建築教育に何が期待されているか	●京のかたちと色
1993 vol.74	●第38回青年技術者 ●東畑建築事務所創立60周年記念作品集	●大阪府営繕	●東海の美術館・博物館	●市民劇場の舞台設備	●環境―限りある自然と建築とのかかわり	●都市のスカイライン	●映画の中のインテリア ●けいはんなプラザ・住友ホール	●建築の再生―構造技術の役割― ●大阪市営繕	●国際的パートナーシップの可能性	●福祉のまちづくり	●都市型住宅再考	●第40回青年技術者 ●環境―人にやさしい空間創造をめざして
1994 vol.75	●コピー文化の新時代 ●広島の街創りアジア競技大会	●九州のインスタレーションと貌	●伊勢・神宮式年遷宮と神宮界隈＊	●建築のエネルギーシステム	●明日に向かって―会員作品＊	●いま、医療施設は	●住空間における居どころへの視点	●まちなかの看板 ●竹中工務店の集合住宅	●水と建築 ●日本建築総合試験所	●建築設備のCGシミュレーション ●村野、森建築事務所	●構造美―建築の中の美 ●集合住宅団地リニューアル	●第41回青年技術者 ●関西国際空港
1995 vol.76	●光がつくる風合の世界＊	●音―騒音から操音/創音へ	●飛騨・美濃―まちの活性化と地方文化＊	●トイレから見た都市文化	●トイレ空間	●接合 ●コスモタワー	●ユニバーサルデザインとは	●私の空間作法―会員作品	●新しい「都市・建築」の視点＊	●建築構造と社会の接点 ●日建設計＊	●ライフラインと建築設備＊	●第42回青年技術者 ●滋賀県建築課
1996 vol.77	●阪神大震災から学ぶ＊	●大阪府住宅供給公社創立30周年記念＊	●遠江―その地方振興と文化＊	●立体駐車場設備 ●大建設計	●災害！非常時に生きる法体系 ●OAPタワーズ	●いま、プールがおもしろい	●住まいの未来像	●マルチメディアがつくる世界	●キーコンセプトの新時代	●最新の大規模スポーツ競技施設の設備	●私の空間作法'96 ●九州の元気 ●りんくうの3作品	●第43回青年技術者 ●近畿地建営繕部
1997 vol.78	●建築のロングライフ化をめざして	●鉄ものがたり＊	●東海支部会員作品 ●金沢・優塾―風土・文化とまちなみ・建築＊	●創立80周年記念/建築と私と社会―80人の眼―＊	●木造建築物の伝統技術とその将来	●住む空間の復興―法・制度の運用と新たな展開へ― ●住都公団関西支社	●素材の不思議 ●大阪ドーム	●新エネルギー ●住宅・都市整備公団改革への提言	●クロスワード都市OSAKA＊	●モザイク都市の住むかたち ●昭和設計40周年	●私の空間作法―会員作品―	●第44回青年技術者 ●京都駅ビル
1998 vol.79	●新しいまちづくりの予感 ●東畑建築事務所創立65周年	●Concrete ●九州とわたし、そして建築	●東海支部会員作品 ●信州―諏訪とその周辺―	●街並みの演出―最近の外構材料	●生活環境の安全・安心	●地球環境保全と建築	●心と体を元気にするインテリア	●建築設備―ビルメンテナンスの立場から	●建築への証言´98―21世紀に向けて	●ゆれをとめる―たえる技術からかわす技術へ	●私の空間作法 ●2001年の医療施設	●第45回青年技術者 ●駅とともに歩んだJR西日本の12年
1999 vol.80	●“らしさ”のデザイン ●建築を綾どる小粋なモノの仕掛人	●大阪市都市整備局	●東海支部会員作品'99 ●北信濃―街並み修景と地域文化の再構築	●都市のパブリック	●関西建築界の流れと東畑謙三の足跡をたどる	●大阪城天守閣平成の大改修	●改正建築基準法―まちづくり・すまいづくりへの展開―	●私の目でみた環境問題	●アーバンインテリア―都市空間としてのインテリア	●木とともに	●私の空間作法	●第46回青年技術者
2000 vol.81	●21世紀のデザインの動向を見る ●安井建築設計事務所創業75周年	●中国支部―しまなみ海道と中国地方の街づくり―	●東海支部会員作品2000 ●越中・富山―地域文化の振興と新たな施設づくりの流れ	●こころを癒す環境デザイン	●測る―測定方法と測定結果が意味するもの―	●スケルトン&インフィル	●改正建築基準法―パートII―	●100年後へのメッセージ ●日建設計創業100周年	●来世紀に引き継ぐ―わざ、もの、こころ―	●時間	●私の空間作法―会員作品― ●21世紀の高齢者の居住環境	●第47回青年技術者
2001 vol.82	●エヌ・ティ・ティファシリティーズ	●21世紀の建築設計教育	●東海支部会員作品 ●岐阜・大垣	●IT社会におけるきずな	●自然素材をめぐる「もの・わざ・ひと」	●成熟社会をささえるまちづくり	●現代の日本の空間・文化を探る	●環境―近未来に向けて今できること― ●大建設計―作品特集1996~2001―	●建築の力都市の力	●緊張 ●都市基盤整備公団関西支社	●私の空間作法―会員作品―	●第48回青年技術者 ●NHK大阪放送会館・大阪歴史博物館＊
2002 vol.83	●国土交通省近畿地方整備局営繕部＊	●再生・リサイクル	●東海支部会員作品 ●愛知・名古屋	●生活環境の安全・安心―パート2―	●塗装のいろいろ	●都市再生に向けた建築基準法集団規定のあり方	●いま、インテリアデザインは ●深町リバープレイス	●建築をささえるセンサー	●建築とボランティア	●時を超えて～サステナブルエンジニアリングの現在～	●私の空間作法―会員作品―	●第49回青年技術者 ●大阪市中央公会堂
2003 vol.84	●東畑建築事務所創立70周年	●九州の地域づくり・まちづくり	●東海支部会員作品2003 ●愛知・名古屋―この地の文化・芸術と建築・街づくりを考える―	●サスティナビリティ～次世代に引き継ぐ都市・建築・暮らしのデザイン～	●建築と五感	●都市計画法及び建築基準法等の改正	●コンバージョン―インテリアから発信するまちなみ―	●介護と建築・設備	●建築とノスタルジー～建築の主観的価値について～	●力と楽しくつき合う方法	●私の空間作法―会員作品―	●第50回青年技術者＋青年技術者顕彰50年
2004 vol.85	●大阪市住宅局	●都市緑化	●東海支部会員作品 ●愛・地球博＊	●省リスクな「まち再生」＊	●リニューアルの技	●地域住民主体のまちづくりと支援制度	●Product Design＋1	●銭湯～心地よさを求めて～	●建築家とは何か	●巨大地震にそなえて	●私の空間作法―会員作品―	●第51回青年技術者
2005 vol.86	●震災から10年	●「健やか」 ●長崎医療センター	●東海支部会員作品2005 ●東海における施設づくりへの新たな試み	●建築の経済化	●住まい方の変化	●人工栽培	●次世代に伝える「木」の建築 ●「建築と社会」1000号記念	●改正建築基準法と景観緑三法	●火災から守る	●構造の過去から未来へ＊	●私の空間作法―会員作品―	●第52回青年技術者
2006 vol.87	●都市環境デザインと参加のまちづくり	●「地方空港の時代」～まちと共存する空港づくり～	●東海支部会員作品2006＋東海支部特集3部作＊	●都市再生の本質～光と影のはざまで～	●変容する家族形態とあたらしいライフスタイル	●身近な省エネルギー～エネルギーをたくわえ、有効利用する～	●設計図が伝えるもの	●建築物の安全・安心＊	●第53回青年技術者	●「セキュリティ」	●もしも…～構造が未来へつなぐ夢～	●私の空間作法―会員作品―
2007 vol.88	●光り輝く京都の景観まちづくり	●学校新時代	●東海支部会員作品2007＋東海支部特集3部作	●創立90周年記念―この10年、これからの10年	●あそび考	●こだわりが創る住まいのカタチ	●住まいの設備と空間の移り変わり	●建築系雑誌が伝えるもの	●建築基準法等大改正	●第54回青年技術者	●ガラスを考える	●楽しい構造の世界

＊は欠号

特集

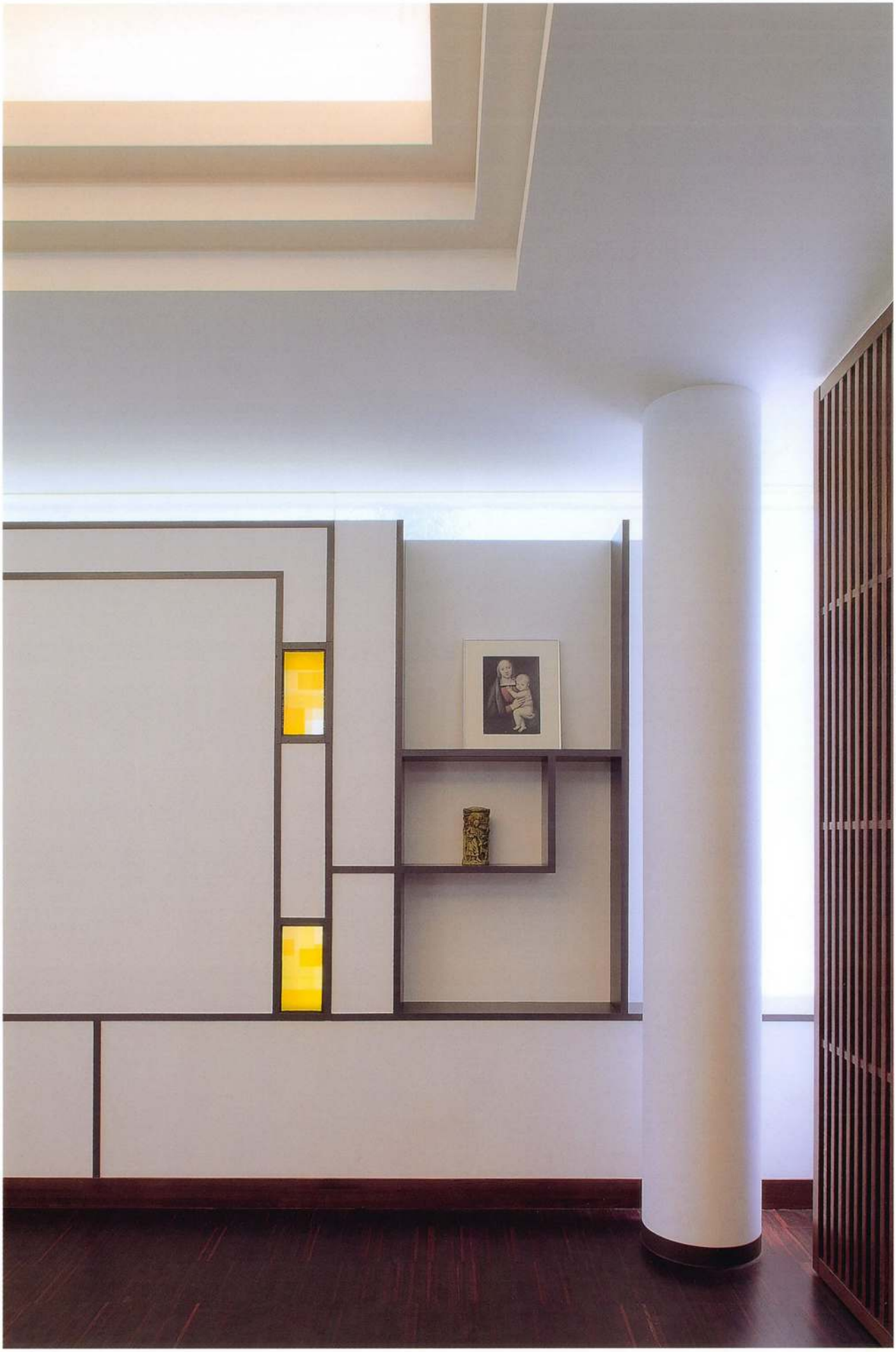
小林聖心女子学院



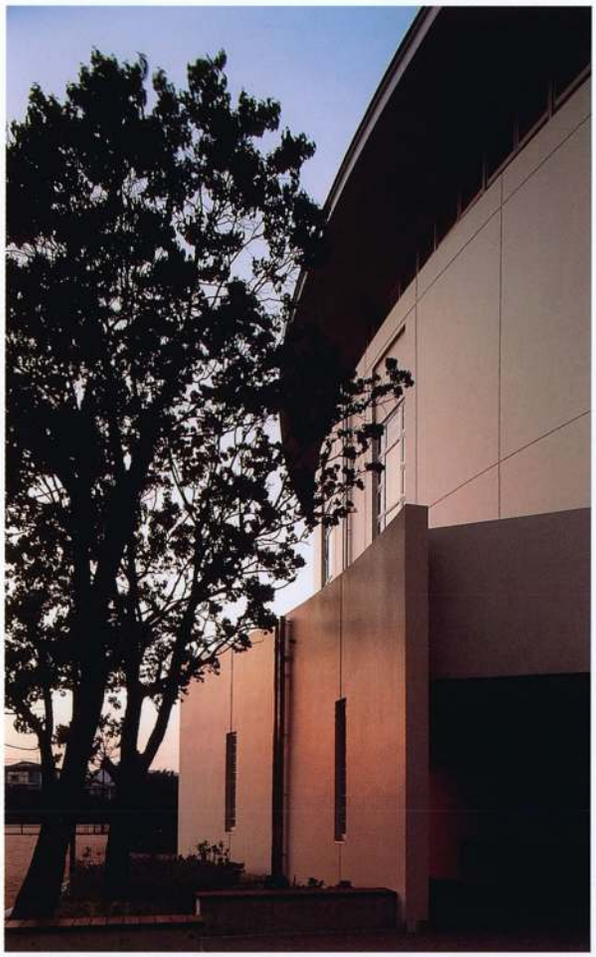




前頁：教室棟ディテール
上段：新校舎正面
下段：小聖堂とアンジェラスの鐘を結ぶ軸線



小聖堂







上段左：体育館夕景
上段右：緑に包まれる体育館
下段：体育館内部





上段：アンジェラスの鐘をのぞむワークスペース
下段：新校舎・前庭夕景

対談

小林聖心女子学院の85年
―築く―

貴重な文化遺産から学ぶ

佐野　小林（おばやし）聖心女子学院は今年創立85年、安井建築設計事務所は84年ですからほぼ同じ年齢。「建築と社会」を発行している日本建築協会は昨年が90周年でした。創設のころ、大正から昭和のはじめの関西は近代の興隆の時期でしたが、阪神間の住宅地も、さまざまな私学の整備も、この時期です。いまこうして学院を訪ねてみると、その時代が目指したものをあらためて確認することができます。

学院の85年に受け継がれた教育理念の歴史の中で、われわれは新校舎の建築に携わり歴史をつなぐ役割を果たしたことになりますが、大変誇りに感じています。

宇野　アントニン・レーモンド（1888～1976）設計の本館に大変調和した形で完成したので、私もほっとしました。また、卒業生の思いを受け継いで、ここまで歩んでまいりましたので、小林聖心の心の中の原風景をこわすことは避けたいと考えていましたが、自然な形で調和したので、安心して次の一歩に進んでいけるのではないかと思います。

佐野　レーモンドは小林聖心の本館だけでなく聖心の仕事に数多く携わっています。小林ではその後、竹腰健造さん（1888～1981）が聖堂・小学校棟・高校棟を設計しました。それぞれがさまざまな志を受け止め・受け継いできたわけで、今の時代における教育を実現するための施設のありようを考えるにあたっても、先駆者の取り組みは学ぶべきことの多いものでした。

宇野　新校舎建設の過程で、モニュメントを設置してはどうかと言われる方もおられましたが、私にとって、小林聖心のシンボルは毎朝鐘がなる塔と緑豊かな自然環境ですので、子どもたちの教育にとって直接必要なものを調えるということを第一に、設計等をお願いたしました。

佐野　建築とは幾何学的な箱をつくりながら、人が活動するための空間をつくることです。既存の校舎や自然との距離感、教室の大きさ、そこに差し込む光のボリュウムなどを考えてゆくのですが、それにしてもレーモンドの建築は良く練りこまれたものでした。

宇野　当時の文献を見ると、1926年、この小林の丘の上に当時としては珍しいヨーロッパ風の建築様式の校舎が建てられ、人々の目にはさぞ新鮮に映ったと思います。

佐野　西洋人の修道女がたくさんいた当時のミッションスクールは、西洋入門の役割を果たしていました。さらに1920年代はインターナショナリズムの時代、その頃はある面で情報化社会に入っているので、小林聖心の建築はヨーロッパの最先端のデザイン動向を反映している可能性があります。

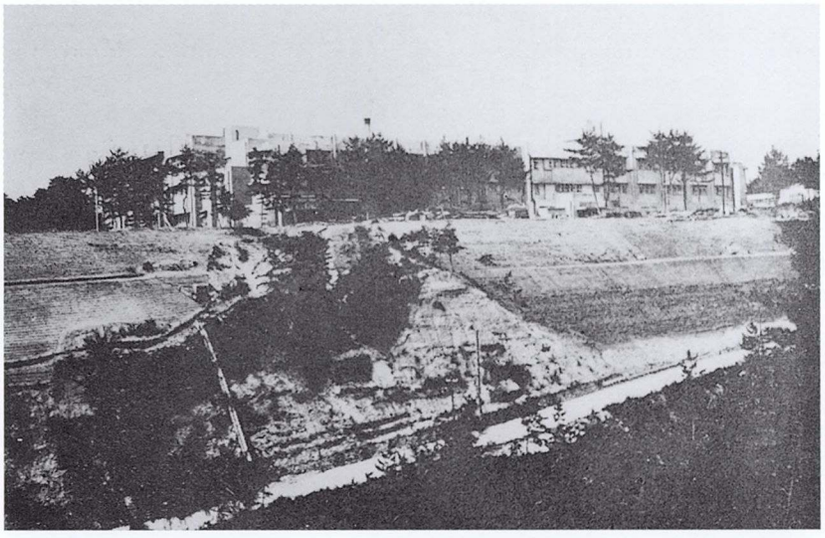
先駆者の築いた道を歩く

佐野　安井建築設計事務所は私の祖父・安井武雄（1884～1955）が創業しました。なので、私には先駆者の思いを伝えるメッセンジャーとしての役割もあります。建築設計とは発注者の理念を目に見える形にする職能だと言えますが、受け継がれてきた理念を継承しながら新しいものを実現することは、われわれが常々使命と感じているものです。

宇野　私は修道女で、日本にある聖心の各姉妹校で働いてまいりましたが、今では小林聖心が一番長くなります。子どもたちを育てること、ただ一緒にいることが楽しく、うれしい毎日です。時代の変化の中で、聖心の教育を刷新していかなければならない時期に校長に就任したのですが、先輩のシスター方に支えられてきました。リーダーとしては、先人たちの書いた文章を読み、先輩方の話を聞



アントニン・レーモンド設計の本館



竣工当時の小林聖心女子学院（『近代建築畫譜』より）
――昭和11年8月に刊行された同書には、「位置／兵庫縣武庫郡良元村小林字前原ハゼリ1番地、設計／レーモンド・サイキス建築事務所、施工／竹中工務店、工費／900,000圓」とある

き、神に祈りながら、今はこうした方がよい、こうしなければと、先生方との対話の中で生まれてきたものを形に表してきました。聖心は教育理念・教育方針が明確なので、その時代に合わせてどう具現化するかを考えていきます。

佐野　リーダーとは、必ずしも、見るからに腕力があるタイプがなるものではありませんね。その時代が求めるリーダーというものがあるはずです。あなたがふさわしいという啓示、時代の必然性があると思います。

支えあい、かかわりあうこと

宇野　教育の成果とは、すぐに結果の出るものではないと思います。人生のいろいろな局面にぶつかったとき学校で学んだことが力となっていると、折々に卒業生たちが言ってくるとき、大変うれしく思います。

佐野　昔の生徒と今の生徒では、どんな変化がありますか。

宇野　目に見える結果を重視する今の時代の影響でしょうか、役に立つか立たないかなど二元的なのものさしで測りがちです。かかわり能力が低下してきていることも一つの傾向です。親離れ子離れが昔よりむずかしくなっているのでしょうか。

しかし、小林聖心では行事が多く、集団で喜びを体験し支えあう機会が多くあります。高3の卒業時にプロファイルといって、18歳の姿として身につけておいてほしい力を5つの柱（宗教性、学習能力、かかわり能力、意思力、自己成長性）からなる70項目にまとめ、アンケートの形で自己評価をさせますが、その中で“学校生活の中で支えられた体験がある”ことへの肯定的な評価の割合は非常に高いです。

佐野　それは小中高一貫教育の中で時間をかけるからこそ、出来ることですね。

宇野　長い目でお互いの成長を見守り、かかわっているので…。


佐野吉彦氏


宇野三恵子氏

大きな存在を意識する

宇野　高3の宗教の時間を担当していますが、子どもたちは年齢に応じた形で、人間を超える存在を身近に感じていると思います。幼いときは気持ちで捉えていたものを、高校になると知的にも捉えることが出来るようになり、聖書が指し示すメッセージを考えるようになります。今日の宗教の時間、高2の修学旅行で長崎に行ったときに殉教の話を聞き、人間を超える存在に命を懸けることへの驚きを感じたと話してくれた生徒がいました。子どもたちが着実に知的に深まっているのを知り、感動しました。カトリックの学校ですから、“種まき”でしょうか。確かに種は蒔かれているのではないかとも思います。自然の豊かさにも影響され、豊かな感受性を育んでいっているようです。

マザー・マイヤーの志を受け継いで

宇野　小林聖心の創立にかかわった初代学院長のドイツ人修道女マザー・マイヤーが残した“Big You, small i”という言葉は、ここで学んだ者の心に深く刻まれています。

いつも社会の必要に目を向けた行動をされたマザーは、聖心の教育理念を関西の地でまさに目に見える形で示してくださいました。マザーの生き方は、今の時代に通じるものがあります。卒業生や保護者とのネットワークをつくり、今のこの地域に何が必要かを情報収集させ、行動に移しました。当時のシスターは外に出られませんから、卒業生や保護者が動きました。貧しい家庭が多い学校とかかわりを結び、生徒たちに各家庭へのクリスマスプレゼントをつくらせ、学校にも招待なさいました。戦前・戦後の大変な時期に、保護者・卒業生の力を結集して、大阪や小林など各地で無料診療所や養護施設、保育所の開設に力を尽くされました。

佐野　まさに、人を動かすエネルギーを持った創業者精神を感じます。ほかにも聖心には、女子大の卒業生で国際的にも類まれな活躍をされている外交官の緒方貞子さんなどがおられますよね。

宇野　マザー・マイヤーの書かれた「現代婦人の指針」の中には、女性は家庭に入っても経済人であり、教育者であり、外交官であらねばならないと説いています。そのために、女性は幅広い教養を身につけ、読書などを通して生きる豊かさをいつも深めていくようにしなければならないと。

佐野　聖心会に属する学校である東京・札幌・不二・小林の各聖心女子学院は、実に多彩で教養ある人材を輩出しており、しっかりした伝統の力を感じます。

宇野　それでは、聖心の卒業生が、与えられた状況の中で60歳から何をやれるのかと探し、活動している事例をご紹介しましょう。

藤松　ある聖心の卒業生が、子どもの手が離れた60歳でアフガニスタンへ行き、何が必要かを自分の目で見て、支援活動を始めました。女性たちが刺繍したものをどういうふうに日本で売るかを探り、組織化し、女性の自

立を支援し続けています。１年後には孤児院も立ち上げました。このように、卒業生たちは自分で行ってみて、女性的な視点でかかわっています。

宇野　「女性には女性ならではの人生のリズムがあり、リズムに合わせた生き方がある」と言われます。60歳から何かを始めるというのも、女性の素晴らしい生き方ですね。

建築は重要なメッセージを含んでいる

佐野　建築設計者は、建築主の理念を実現するために、細かい工夫を凝らしています。いろんなメッセージを盛り込んでいるのです。先ほど申しましたように、小林聖心での仕事には、先立つ作品があり、自然があります。したがって建築の解決としては楽しく取り組めたものでした。設計の途上では、単純な矩形から、矩形に楕円形の体育館を組み合わせた形となりました。小聖堂の位置づけとデザインについても意見交換をいたしました。貴重な経験です。

宇野　光にあふれたワークスペース、それに比べて廊下はぐっと落ち着き…。いい空間です。子どもたちも楽しんでいるでしょう。

藤松　ワークスペースは前庭や聖堂を見渡せる場所でもあり、今、作品を掲示していますが、子どもたちは実にいろいろな視点から写生をしています。



前庭のガラスのオブジェのまわりに集まる児童　撮影　島　修一

佐野　建築群というものを一望できる場所は、小林にはこれまでなかった。ここは子どもたちが聖心の歩みの物語を伝える場所になるでしょう。

宇野　これまでの建築の良さや自然の素晴らしさが理解できますね。明るい建物が完成しましたので、今、中学校校舎の内部が少し重々しく感じられてきました。

佐野　歴史を物語る建築は、ぜひ、手を入れながら生かしてゆくべきでしょう。

藤松　(窓の外に子どものざわめきを聞いて)今、子どもたちが体育の授業を終わって、運動場から前庭に戻ってきました。広場は格好の遊び場になりましたね。



光の差し込む廊下　撮影　福澤昭嘉



前庭を見下ろす
撮影　島　修一



昔の廊下の風景
小林聖心女子学院
所蔵の絵はがきより

佐野　新しい小学校が出来たことで、前庭は、西洋的に囲われた広場のイメージに近づきました。受け継ぎながら、変化を生み出しています。でも使い方は子どもたちが発見をしていくでしょう。今のところ明るい前庭ですが、木がもう少し茂ると落ち着きを増すでしょうし。

聖心会100周年から始まる歴史

宇野　この11月には85周年記念式典が予定されています。今年は聖心会来日100周年でもあるので、同時にお祝いをしたいと考えています。感謝ミサと式典が行われますが、式典の中では児童・生徒から募集した詩に曲をつけた記念歌が発表されます。また、卒業生の稲畑汀子先生の作詞になる新しい記念歌も合わせて発表します。

佐野　100年の間には実にいろんなドラマが起きるわけですけれど、私学の100年目も、ひとつの理念を貫きながら、次の世代を育てるミッションを改めて確認する節目となるでしょう。新しい校舎とともに、ますますの隆盛を願ってやみません。

と　き　2008年５月８日(木)14時～15時15分
ところ　小林聖心女子学院小学校・応接室
対　談　宇野三恵子
　　(小林聖心女子学院小・中・高等学校校長)
　　佐野　吉彦
　　(安井建築設計事務所社長)
オブザーバー／藤松　　薫
　　(小林聖心女子学院小学校副校長)

小学校および体育館の着工から完工まで

2006年冬から2008年初夏へ
―人と自然と学校と―

2006
冬

●

安全祈願祭

解体される旧体育館にて神父様の司式により安全祈願祭が執り行われた。

神父様のお話をお聞きするまで気づかなかったのだが、旧体育館のトラス部分には小さなお守りが取り付けられていて、ずっと子どもたちの安全を見守ってきた。それは子どもたちを育んでこられた先人たちの思いでもあったのだろう。

今回の工事でそれらのお守りは丁寧に取り外し、新しい体育館にまた取り付けられる。その時まで安全に工事を進める責任の重さに身の引き締まる思いであった。そして同時に、小林聖心にかかわる人々とともに、新しい校舎を創っていくプロセスへの期待感に胸が躍った。

●

旧体育館の解体、樹木の伐採

子どもたちや先生方、卒業生の思い出が詰まった旧体育館・アトリエ・茶室の解体が始まった。茶室は移築されるが、特に旧体育館に付随する卓球場は創立当初からの建物であり、別れを惜しむ声が多く聞かれた。

また、建設予定地には小林聖心の85年の歴史をともに歩んできた立派な樹木が、建物を囲む豊かな森を形成していたが、それらの大部分も伐採される。子どもたちが大きな松ぼっくりを楽しみにしていたダイオウショウも。

みんなに愛された建物、豊かな緑、子どもたちや関係者の皆さんの思いを礎にして、さらなる発展があることを忘れてはならない。


伐採前のダイオウショウ

2007
春

●

新しい擁壁をめぐって

新校舎の北側は通学路の坂に沿って玉石の擁壁となっていたが、新校舎が近接して計画されていることと、過去にも大雨で崩壊した


いまは真っ白の擁壁　撮影　福澤昭嘉

2006.11.メモより　　二宮章悟

青空に向かって背筋を伸ばし、登録文化財である本館と一体となり、両手を広げ、子どもたちをやさしく包み込むような様でどっしりと腰を落ち着け、ずっと以前からそこにあったかのような思いすら抱かせる小学校新校舎は、この３月に完成したばかりである。

2006年11月７日、まもなく解体される旧体育館内で松本武三司祭による安全祈願祭が行われ、既設建物の解体から建設工事が始まった。

旧体育館の解体には、多くの人たちから保存の声が起こったが、いざ保存となると、膨大な経費等から手を挙げる人はなく、取り壊さざるを得なくなった。

また、小運動揚にあって学院とともに成長し、毎年大きな「松ぼっくり」を実らせ、子どもたちに親しまれていた大王松。専門家に保存を検討してもらったが、あまりにも巨大で、移植は物理的に困難、完成時に若木を植えるということで決着。11月21日、大王松が切り倒される瞬間、その光景を見ていた子どもたちから大きな悲鳴があがったと聞き、胸が痛んだ。

同じくモルタル造２階建てのアトリエも、生徒たちとの多くの思い出を残し、その姿を消した。

一方、阪神・淡路大震災で倒壊、後に再建された茶室は、日本庭園に移築され、その姿を存続させることができた。ただ、そのためには日本庭園内の池の鯉がこの学院を去らざるを得なかった。現在は、宝塚市内の小学校の池などで元気に泳いでいると聞いている。

周りの緑に美しく映える新校舎完成の陰には、多くの関係者のご尽力とともに、これらの出来事も忘れないでおきたいものである。

（にのみや あきのり 小林聖心女子学院 前 事務長）

ことがあり、コンクリート製擁壁として再構築することとしていた。従前の玉石が趣のある表情だったので、単純なコンクリートでは味気ないと考えて、玉石風化粧型枠を使用して、石積み風に見えるように配慮した。

ところが実際出来上がってみるとコンクリートが思いのほか白く、規模も従前より大きくなったこともあり、非常に威圧的な擁壁になってしまった。将来、表面をツタが覆うよう植栽も計画していたが、すぐには繁茂しない。「悪趣味よねえ」なんて話しながら横を通り過ぎる保護者の声を聞きながら、途方にくれてしまった。

東京の聖心関係の皆さんの間でもちょっとした騒ぎになっていたようだが、だんだん色が落ち着き見慣れてきたのか、ほどなく騒ぎは沈静化し、工事に邁進することができた。

蔦やツルムラサキの覆う擁壁へ

藤松　薫

日々の生活圏で、身近に見ているもの、聞いているものに対し、私たちはどんなにそれに慣れ親しんでいるかを感じさせられたのが、正門を入った右手に新しい擁壁が出来た時だった。

古い擁壁は丸目の石を組み込んだもので、地上から３ｍの所で切れ、そこには、草や木が植わっていた。そこからさらに２ｍばかり石が組まれていた。石壁には苔が生し、周りの自然と調和していた。

新校舎建設のため、皆の目に親しまれていた擁壁がとり壊され、しっかりとした土台を築くために３ｍの深さに地面が掘られ、白っぽいモコモコとした凹凸のある擁壁が造られた時は、違和感と、何だか落ち着かない気分を味わったものだ。

それが１年以上過ぎた今、私たちの目には当たり前のものとして存在しているのだ。真っ白な校舎の高さと擁壁の高さが調和し、安定感を与えている。擁壁の上と下から蔦やツルムラサキの葉が伸び始め、５年後、10年後には蔦やツルムラサキで覆われた壁面緑化の擁壁になっていることだろう。鳥たちもそこに住み着くかもしれない。周りの木々よりも色濃くなった自然の緑が広がることだろう。今からその情景を想像し、愉しんでいる。

（ふじまつ かおる 小林聖心女子学院小学校副校長）

2007 夏

聖マグダレナ・ソフィア・バラと子どもの御像

昇降口に、聖心会創設者である聖マグダレナ・ソフィア・バラと子どもの御像を安置したいとのご要望があった。毎朝、登校してきた子どもたちが、見守られている安心感を実感できるようにしたいと考え、昇降口の中心にスクリーンと台座を設置した。



左に聖マグダレナ・ソフィア・バラと子どもの御像
撮影　福澤昭嘉

小林聖心の既存校舎にはあちこちにマリア像や宗教画が置かれ、毎日の学校生活の中でこころ静かに祈ることを大切にされている。新校舎もそれに倣い、昇降口の御像のほかにもニッチや棚をたくさん設置している。

祈ることと学ぶことが、自分自身を客観的に見つめると同時に、自分を取り巻く存在にも関心を持つことをその本質として共有していると考えれば、これは学校としてごく自然な風景なのだろう。

御像制作時の失敗

藤松　薫

新しい校舎の香りの中で、子どもたちは日々楽しく生活している。１階のエントランス広場には聖マグダレナ・ソフィアがお座りになり、その傍に小林の制服を着た小学生が立っている真っ白い像がある。優しい目差しで子どもを見つめるその姿には温かさと安堵感を覚える。

この御像は、建物が完成する頃にシスター宇野が小学生に合う御像として提案してくださったものである。東京聖心には、小学校校舎への門を入った所にこの御像がある。数十年前に東京聖心から発注された時の寸法が制作元に残されていたので、そのままの寸法で御像を注文した。11月に東京聖心を訪問し、その御像を眺めていた時に、東京と小林の制服が異なることに気づいた。このままだと小林の新校舎に東京聖心の制服を着た子どもの御像が置かれることになると慌てて、小林に帰るやいなや、事務長に制作元に連絡をしていただいたところ、今なら間に合うとの返事だった。無事、３月に聖マグダレナ・ソフィアと小林の制服を着た子どもの御像が届いたという裏話がある。

世界中の聖心学院の子どもたちが聖マグダレナ・ソフィアの周りに集まりお話を聞いている御像があってもよいなと思い始めている。

（ふじまつ かおる 小林聖心女子学院小学校副校長）


保存された
スチールサッシュの
レーモンドの窓

2007 秋

新校舎横を通学する子どもたちの会話

すっかり秋めいて、木々も色づき始めた。しかし登りのしんどさは変わらない駅からの坂道を、息を切らしながら登る。正門で一息ついてほぼ仕上がった校舎を見上げていると、下校する小学校の子どもたちが、おしゃべりしながら横を通り過ぎた。「あの窓が図書室。その下がコンピュータ教室」と友達同士で新校舎を見ている。

先生に聞いたのだろうか、子どもたちも新校舎の完成を楽しみにしてくれているのだと実感した。ワクワクしている子どもたちの表情を見ていると、私もワクワクした。

2007 冬

理想の教育をめざして

躯体がほぼ完成し、何度か先生方による内覧会を開催した。これまでは図面上で検討を繰り返していたが、実際に空間に立ってその広がりをつかめるようになると、先生方のイメージも一気に具体化してくる。授業のやり方や子どもたちの動きを想定しながら、スイッチの位置、家具、仕上げをひとつ一つ煮詰めていった。追加要望事項も数多く出され、コストをチェックしながら提案を行った。

先生方は真剣そのもの。学校生活におけるあらゆる場面を想定して、粘り強く取り組むそのエネルギーと熱意には敬服する思いだった。

この作業を通して、すべての関係者が小林聖心の教育を継承・発展させるために、同じ方向を向いて努力されていることが強く感じられた。

さあ、新校舎の見学へ

百々美佐子

10月17日、いよいよ新校舎の中にはいることが出来るようになった。今まで、図面上でしか考えられず、イメージがわかなかった職員全員、わくわくする気持ちを抑えきれずに、新校舎の見学へと向かった。まだ打ちっ放しのコンクリートの目立つ校内は、がらんとした感じであったが、広さや、それぞれの教室の造りはよく分かり、「ここにこの棚を置いて、子どもたちはこう動いて」等、想像をふくらませると、夢が広がる。各部屋の名前を考えるのも、イメージが広がり、楽しい作業となった。

定例会での打ち合わせは、より具体的な話し合いとなる。私が特に感じたことは、この校舎を作ってくださる方が、いかに子どもたちのことを考えて計画を練ってくださっているかということである。例えば、レインコートかけ一つにどれだけの時間をかけて検討していただいたことか。高さ、使い勝手、子どもたちはどのように行動するかをとことん追求され、よりよい物を提示してくださる。お弁当温め器の台にしてもそうだ。見本まで作って、子どもたちが手をはさまないよう、また、収納場所まで無理を言うと作ってくださる。

思い起こせば、最初の設計の段階から、何度も学校に足を運び、行事に参加して、聖心のイメージを確かに持って、新校舎建設へと取りかかってくださった。だからこそ、子どもたちにとって一番使いやすい校舎になっていくのだと実感した。

（どど　みさこ　小林聖心女子学院小学校教諭）

「実のならないイチジクの木」

定例会議のために現場に向かう前に、ひとつ手前の仁川駅で電車を降りる。2003年竣工の幼稚園の仕事をきっかけに、それからずっとお世話になっている修道会本部に立ち寄るためである。夏に外構工事を手がけさせていただいたのだが、何種類か植えた樹木のうち、ゲッケイジュに害虫が大発生し、その対応のために訪問したのであった。

原因と消毒などの対策を一通り説明したところ、来年もまた同じことが起こるのであれば維持管理も負担だし、もったいないけれど抜いてしまおうかというご意見が出た。あわてて「来年も引き続き状況を観察して対応するので、どうかもう一年様子を見てください」とお願いし、なんとか了承を得た。

そのやり取りを見ていた一人のシスターが「実のならないイチジクの木」※のお話と同じですねと笑いながら教えてくださった。クリスチャンではない（かといって敬虔な仏教徒でもない単なる無信心者の）私には、その時はシチュエーションに偶然に一致した聖書のエピソードという以上に、特には感慨はなかったのだが…。

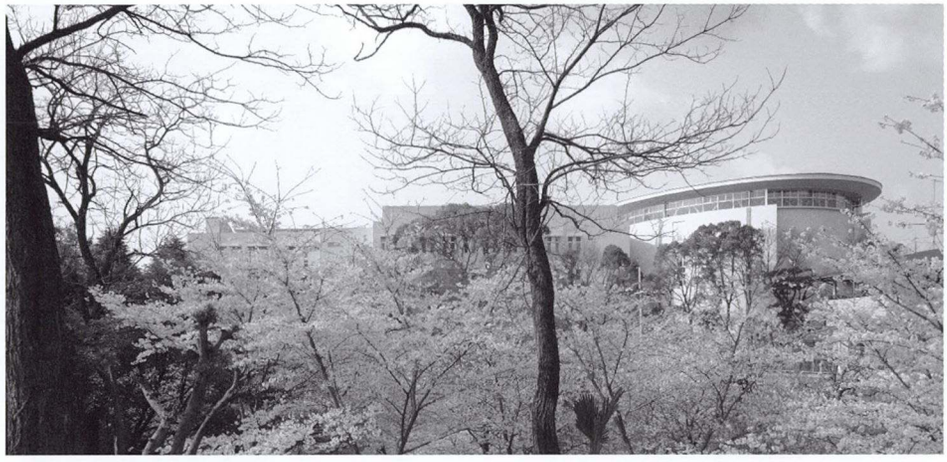
※「実のならないイチジクの木」
3年間、実を付けたためしがないイチジクの木を切り倒せと主人が命じたところ、園丁が「ご主人様、今年もこのままにしておいてください。木のまわりを掘って、肥料をやってみます。そうすれば、来年は実がなるかもしれません。もしそれでもだめなら、切り倒してください」と猶予を願う物語

2008 春

レーモンドの窓の保存

新校舎もほぼ仕上がり、調理室の仮使用を開始した。引き続き旧調理教室の解体にとりかかる。旧調理教室はA.レーモンド設計の本館に昭和14年に増築されたもので、新校舎に

撮影
福澤昭嘉



移転し、跡地を前庭の一部として整備する。

建築当初の本館の窓はスチールサッシュであったが、漏水が激しくなり、後に現状のアルミサッシュに交換されている。旧調理教室はその前に増築されたため、ボードで塞がれてはいたが、建築当初のスチールサッシュが残っていた。できれば保存する方針ではあったが、詳細な保存状態は不明で、漏水の心配もあり、本当に保存できるかどうか懸念されていた。しかし、オリジナルのサッシュが完全な状態で残っているのはこの一ヵ所しかなく、また風雨にさらされる期間が短かったからか調査結果は良好で、小林聖心の歴史の証人として保存し、継承することに決まった。

保存に際しては、さまざまな専門家の協力を得ることができた。こうして本館は約70年ぶりに建築当初の表情を現した。

●

ダイオウショウ再び

植栽工事の打ち合わせも最終段階。花の咲く樹木、花の色、時期などさまざまな観点から見直しを行った。そのなかで、前庭に計画していたモミノキの列植のうちの一本をメタセコイアに変更することになった。その際に、残りのモミノキをダイオウショウに変更することにした。樹形や長い葉はモミノキのイメージとはずいぶん違うのだが、伐採してしまったことがずっと気になっていたこともあり、85年にわたる小林聖心の歴史と、子どもたちの記憶や思い出のシンボルとして、そこが一番ふさわしいと考えたからだ。

小運動場にそびえていたあのダイオウショウのように、大きな松ぼっくりができるようになるにはかなりの年月がかかると思われるが、いつか子どもたちが喜ぶ姿を想像して一人ほくそえんでいる。

●

竣工、そして学院総出の引っ越し

建物が竣工し、検査を無事完了して、新学期に向けて引っ越しが始まった。新校舎を使うことのない中・高の生徒たちもお手伝いしている。

「ホテルみたい！」「小学生だけずるい！」「中学校と交換しようよ」子どもたちの元気な声が校舎内に響く。どれも素直で正直な感想だと思う。

子どもたちの活気が、建物に生命を吹き込む。いよいよ小学校らしくなってきた。

●

愛される小林聖心

多くの関係者の方々を集めて、祝別式を迎えた。会場は大きなガラスの向こうに前庭と本館、聖堂が見渡せる3階ワークスペースである。これまでのキャンパスにはなかった風景であり、これからの小林聖心を象徴する新しい風景でもある。開式と同時に聖堂の鐘が鳴り渡り、感動的な祝別式であった。ワークスペースと連続して使えるように計画した多目的室も利用して、さっそく新校舎のフレキシビリティーが発揮され、うまく使いこなしていただけていることにうれしくなる。

祝別式に引き続き催された茶話会で、シスター山下理事長の挨拶に「小林聖心を愛してください」というお言葉があった。今日を迎えるまでに小林聖心を愛する人々の力添えがあり、そしてみんなが幸せで心豊かな時間をともに過ごすことができた。

小林聖心を愛する人々の思いで満たされたこの空間、豊かな自然に包まれて、まるで私たちが小林聖心に愛されているような不思議な感じだった。

2008
初夏

●

小林聖心に息づく“まなざし”

子どもたちの歓声いっぱいの新校舎は、熱意を持って努力を続ける先生方が展開される多彩な学習活動によって、そのポテンシャルを予想以上に引き出されている。

設計段階から今日までを振り返ると、至らない設計者で反省ばかりだったが、先生方にはいつもあたたかく見守り、支えていただいた。そう考えた時、ふと「実のならないイチジクの木」の話が頭に浮かんだ。

あの園丁のように、だめだからといって切り捨てるのではなく、粘り強くかかわり続けようとする。小林聖心の空間は、そんな愛情を持って子どもたちそれぞれの存在を認め、受け入れ、そっと支え、見守り続ける“まなざし”にあふれている。そしてそれは子どもたちだけにではなく、私のような設計者にまで、そして小林聖心にかかわるすべての人たちに等しく注がれている。

その“まなざし”とは、教育（学校だけではなく、家庭や社会などにおける人間の活動として）の本質の一つと言っても間違いないだろう。しかしそれは社会や価値観の変化の中で見失われがちなものだから、その“まなざし”をもってかかわり続けていくことが重要なのだ。

小林聖心の85年とはそのように評価されるべきだと思うし、またこれから迎える100年、そして未来へとますます深みと重みを増していくことだろう。

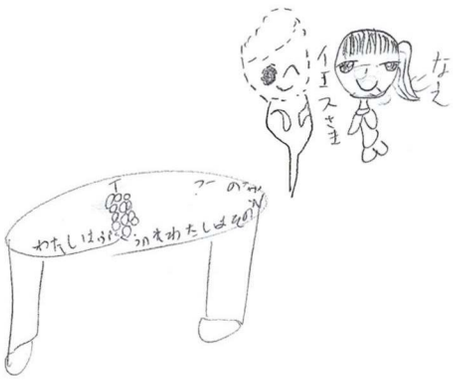
文・中村篤史（安井建築設計事務所）
二宮章悟／藤松　薫／百々美佐子

子ども視線

探検！発見！
新しいって？
私のお気に入り！

イエスさまといっしょ

①としょしつ（りゆう）わたしは本が大すきだから。
②おみどう（りゆう）しずかな心になれるから。
③まえにわ（りゆう）ガラスのつくえにいるとイエスさまといっしょにいるみたいだから。（2年）



えがおはプレゼント

わたしの、いつでも、ホッとするばしょは、小せいどうとまえにわのつくえや、いろいろあります。このこうしゃには、こころあたたまる、プレゼントがのこってると、おもいます。それは、がんばってつくられて、できあがったときの、つくられたかたがたのえがおです。えがおは、とてもきもちがあたたまって、たのしくなる。ないと、だめなプレゼントと、おもいます。えがおは、たいせつなプレゼントです。（2年）





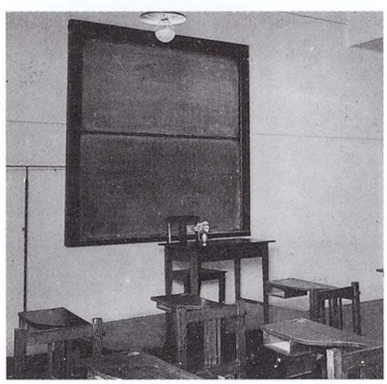
撮影　島　修一



撮影　福澤昭嘉



撮影　島　修一



小林聖心女子学院所蔵の絵はがきより

私のこころもピカピカ

教室は、ゆかがピカピカで、私の心もピカピカになったようでした。また、いすもすわりやすく安心して勉強ができます。トイレもきれいなタイルがあって、使っていると「きれいに使おう」という気になります。この新校舎を大切にしていきたいです。（5年）

4階のワークスペース

少しいやな事があった時などに、4階のワークスペースからとてもきれいな景色を見ていると、気持ちが晴れてくるので、ワークスペース（特に4階）は大好きです。図書室も、机やいすがたくさんあって、本だなも、とどかない所もないので好きです。（5年）

ひろくてすずしくて

教室です。広くて、ずっと教室にいたくなります。
図書かんです。本がいっぱいあって、いす、つくえがひろい。
ろうかです。すずしくて、きれいです。
くつばこの外のにわです。ひろくて、きれいで、日ざしが、いっぱいあたります。
おくじょうです。ひろくて、いいながめで、すずしいです。（3年）

よく考えているなぁ

お休み時間やお昼休みなどを使ってお友達と探検してみたのですが、足の不自由な方用のお手洗のドアは、とても開けやすかったし、手すりも、低い位置にあったし、なにより、1階にあるという事にとても感心しました。よく考えているなぁ。（5年）

視線 子どものもの

探検！発見！
新しいって？
私のお気に入り！



撮影　福澤昭嘉

おいしょ！おいしょ！

私が面白いな～！　ととくに思った事は、全部で２つあります。それは、１つめはトイレです！　前は電気もつけたり、また、大ぜい入った時には、ハンドルの所をおいしょ！おいしょ！って回しながら、流れない～と言ってトイレの一つ一つの部屋から聞こえて、少しおくれたりしたけど、パッっと流れるので、面白いな～(^∀^)　と思いました。それと、教室の黒板が上下に動くので、大きい先生も、小さい先生もいいからです！　新しいっていいな～！　（５年）

デザインがすてき

階段の曲がる所のデザイン（まるく切りぬいている所）がとてもすてきだと思いました。ワークスペースのガラスばりになっているところも、自然といっしょにいるようで、うれしいです。快適とデザインを取り入れていて、とてもすてきな校舎だと思います。　（６年）



撮影　福澤昭嘉

「家庭」という言葉

何もかもが新しくて、とても私たちは恵まれているなと思いました。体育館は広いし、２階～４階までワークスペースがあるし、どこをとっても、すーっごく「きれい」ということが好きです。初めてこの学校に入った時、まさに「家庭」という言葉があふれているように思いました。それは「聖心は一つの家庭です」という言葉があるからです。　（５年）

べんりなエレベータ

エレベータがあたらしくできていて、あしをけがしている人や、にんしんしている先生などにべんりになったと思います。わたしの一ばんおもしろかったところは、ワークスペースです。かくかいにあって、とってもひろいからです。

（３年）

茶色と白

私はこの新しい校舎で勉強して、教室の茶色と白が、勉強をする時におちついて勉強ができます。

体育館で運動をした時は広くてびっくりしたけれど、20分休みの時、１年から６年生までみんなで遊べるので楽しいです。　（４年）

絵をかく

図工で、この間、４階のワークスペースから、アンジェラスの塔の絵をかきました。自然たっぷりの新校舎の中庭もよく見え、この新しい校舎で学校生活を過ごせる幸せを感じました。また、85周年記念体育館は、まるい形をしていて、高さも十分あり、のびのびと遊ぶことができます。　（６年）

おく上への階だん

この校舎のおく上に行くまでの所です。まだ私は、おく上に行ったことがないけれど、そこに行くまでのまどから見えたけしきがとてもきれいでした。そしてその先に見える暗い階だんを上るのがとてもこわそうでした。旧校舎では、そんな所がなかったのでおもしろくて、びっくりしました。（４年）

撮影　島　修一



大きなまど

好きなところは、ワークスペースの大きなまどから、アンジェラスの塔が見える場所です。なぜなら、落ちついた気持ちでいられるからです。
体育館も広々としていて、20分休みや、朝礼に、全校生徒がつどう場所として、心が合わさったふんいきが出てきます。あと、舞台の上にピアノがあるのもいいなと思います。
けれど、私は、この広々とした新校舎全体が好きです。みんなで、この新校舎全体を明るく、楽しく、思いやりいっぱいのところにしたいです。（6年）



撮影　福澤昭嘉

まるで自分の部屋のように

ワークスペースや小聖堂、そして自分の教室です。私達6年生は、1年間しかこの校舎を使わないので、今の教室はとても思い出深い物になると思います。教室は、ほとんど1日中いるので、まるで自分の部屋のように親しみがあります。また、友達とゆっくり話をしたい時、心を静かにしたい時は、ワークスペースや小聖堂へ行きます。見晴らしのいいワークスペースから見る景色や小聖堂の静かで包み込むような空気は、私の心を常におだやかに和ませてくれます。（6年）

ドッジボール

体育館でドッジボールをした時、ゆかがきれいで線が見やすく、あまり好きでなかったドッジボールも建物のせいか、楽しかったです。教室で勉強した時、黒板が上下するし、マス目が付いているので先生がそれにそって書いて下さり、授業も分かりやすいです。（6年）

ほのおのようなライト

保健室に、和室のような所がありました。なぜ保健室にあるのかな？　発見した時とてもおもしろかったです。
その他、1かい、2かいなどと書いてある所の横にある、木の内側からライトがついてあるのが（ほのおのような）1、2、3、4かい全部本数がちがい、1かいから順に本数がふえているのもおもしろいです。（6年）





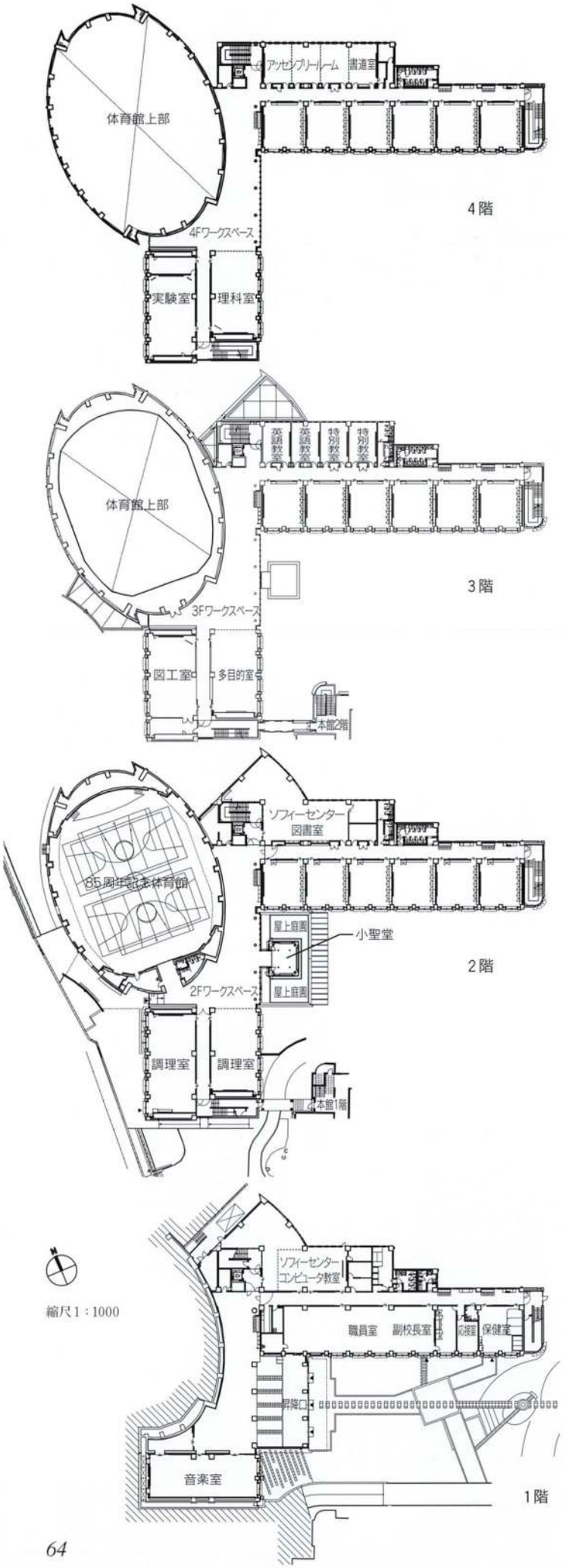
一直線につづく

私は4階のワークスペースがだーいすきです。それは1階のげんかんから続く道が「ガラスのオブジェ」につながって、最後に「アンジェラスのかね」にとどくからです。その一直線を、一番良い、特等席で見ると、なんだかおこっていても、いやされて、心が落ち着きます。一直線の上を、神様が歩いていらっしゃるように思います。私もいつかアンジェラスのかねにつづく道を歩いてみたいです。（5年）

撮影　福澤昭嘉



探検！発見！
新しいって？
私のお気に入り！
子ども視線



小林聖心女子学院 小学校棟と体育館等改築

設　　計 ——安井建築設計事務所
施　　工 ——竹中工務店
所 在 地 ——兵庫県宝塚市塔の町3-113
敷地面積 ——111,973.33㎡
建築面積 ——　3,102.80㎡
延床面積 ——　7,988.92㎡
構造規模 ——RC造、一部S造、地上４階
工　　期 ——2006年11月～2008年３月

編集後記

85年の歴史をもつ小林聖心女子学院
この春、小学校に新校舎と体育館が完成した
それらを築く２年の間には、これまでの歴史をともに歩んできたものとの別れもあった。それぞれが様々なものに思いをはせ、その別れに心を揺さぶられ、新しいものに期待を寄せる

＊

単に学校建築として作品を紹介するのではなく、そうした人々の心に焦点をあて、特集を企画しました。

＊

「新校舎についてどう思いますか」なんて聞いてきちんと書いてくれるかな？
子どもたちに感想文を書いてもらおうと思い、その質問を考えていた時には正直なところそう思っていました。
当初は、特集の中に少しずつ散りばめて載せる程度かなと……。
ところが学校から送られてきた原稿を見てびっくり！
みんながすべての質問に答えてくれていました。
それも書き足りないとばかりに用紙いっぱいに、中にはイラストまで書いてくれている子どももいます。
そこで急遽ページ構成を変更し、子どもたちだけのページを作ることにしましたが、それでもすべて掲載することができず、一人ずつ何度も読み返しどれを掲載するかを決めました。
どれもこれも本当にかわいらしくて気持ちのこもった文章で、断腸の思いで削っていきました。
そんな子どもたちの思いを伝えるためにあえて原文のまま掲載しました。（本当は書いた文字もそのままにしたいぐらいです）
いかがでしたか？　子どもたちの声が今にも聞こえてきそうでしょう。

＊

最後になりましたが、子どもたちの感想文をとりまとめていただいた森本幸一教頭先生、いろいろなお願いを快く受けていただいた堀本忠志事務長、そしていつも元気なあいさつと笑顔で迎えてくれた子どもたちに、この場を借りてお礼申し上げます。

渡邉浩文

451

法令コーナー

住宅の税制

国土交通省住宅局住宅政策課

平成20年度税制改正の概要

平成20年度税制改正においては、地球環境時代に対応した暮らしづくりに資するため、住宅の長寿命化（「200年住宅」）促進税制の創設を行うこととし、併せて住宅に係る省エネ改修促進税制の創設及びエネルギー需給構造改革投資促進税制の延長・拡充を行うこととした。

また、災害リスク増大に対応した防災・減災対策の強化を図る観点から、住宅に係る耐震改修促進税制の拡充及び事業用建築物に係る耐震改修促進税制の延長を行うとともに、防災街区整備事業の施行に伴い新築された防災施設建築物に係る特例措置の延長を行うこととした。

このほか、新築住宅に係る固定資産税の減額措置や住宅取得等資金に係る相続時精算課税制度の特例措置、新築住宅のみなし取得時期等に係る不動産取得税の特例措置等の適用期限を延長するなどの措置を講ずることとした。

住宅の改修に係る各種の特例措置

1）既存住宅に係る耐震改修促進税制

耐震性が確保された良質な住宅ストックの形成を促進するため、住宅の耐震化率を今後10年間で90％まで引き上げることを目標として、以下の特例が措置されている（平成18年度創設）。

【所得税】個人が2006年（平成18年）４月１日から2008年（平成20年）12月31日までの間に、一定の区域内※1において、既存住宅の耐震改修をした場合、改修費用の10％（20万円を上限）を所得税額から控除（住宅ローン減税制度との併用可）。

【固定資産税】既存住宅の耐震改修を行った場合、当該住宅に係る固定資産税額（120㎡相当部分まで）を次のとおり減額。

・2006年～2009年に工事を行った場合：３年間２分の１に減額
・2010年～2012年に工事を行った場合：２年間２分の１に減額
・2013年～2015年に工事を行った場合：１年間２分の１に減額

2）住宅のバリアフリー改修促進税制

高齢者等が安心して快適に自立した生活を送ることのできる環境の整備を促進し、高齢者等の居住の安定の早期確保を図るため、以下の特例が措置されている（平成19年度創設）。

【所得税】2007年（平成19年）４月１日から2008年（平成20年）12月31日までの間に、一定の者※2が自己の居住の用に供する家屋について一定のバリアフリー改修工事※3を含む増改築等工事を行った場合、現行の住宅リフォーム・ローン減税制度と、同制度の特例として**表１**の制度が選択できる。

【固定資産税】2007年４月１日から2010年３月31日までの間に、2007年１月１日以前から存していた家屋のうち一定の者※4が居住するもの（賃貸住宅を除く）について一定のバリアフリー改修工事※3を行った場合、当該家屋に係る翌年度分の固定資産税額（100㎡相当分までに限る）を１/３減額する。

3）住宅の省エネ改修促進税制

地球温暖化防止に向けて家庭部門のCO_2排出量の削減を図るため、既存住宅において省エネ改修工事を行った場合の特例が、今年度（2008年）創設された。

【所得税】2008年（平成20年）４月１日から同年12月31日までの間に、居住者が自己の居住の用に供する家屋について省エネ改修工事※5を含む増改築等工事を行った場合、現行の住宅リフォーム・ローン減税制度と、同制度の特例として新設された**表２**の制度が選択できる。

【固定資産税】2008年４月１日から2010年３月31日までの間に、2008年１月１日以前から存していた家屋（貸家住宅を除く）について省エネ改修工事※6を行った場合、当該家屋に係る翌年度分の固定資産税額（120㎡相当分までに限る）を１/３減額する。

表1　バリアフリー改修工事に伴う住宅ローン減税制度

居住の用に供する時期	控除期間	住宅借入金等の年末残高	控除率
2007年４月１日～2008年12月31日	５年間	1,000万円以下の部分	（イ）一定のバリアフリー改修工事に係る工事費用相当部分（200万円を限度）……２％ （ロ）イの「一定のバリアフリー改修工事に係る工事費用相当部分」以外の工事費用相当部分……１％

表2　省エネ改修工事に伴う住宅ローン減税制度

居住の用に供する時期	控除期間	住宅借入金等の年末残高	控除率
2008年４月１日～2008年12月31日	５年間	1,000万円以下の部分	（イ）特定の省エネ改修工事※に係る工事費用相当部分（200万円を限度）……２％ （ロ）イの「特定の省エネ改修工事に係る工事費用相当部分」以外の工事費用相当部分……１％

※特定の省エネ改修工事
改修後の住宅全体の省エネ性能が、現行の省エネ基準（平成11年基準）相当に上がると認められる内容の省エネ改修工事

（参考）省エネ改修促進税制における対象工事と改修前後の省エネ性能

		改修後の住宅全体の省エネ性能		
		昭和55年基準相当（等級２）	平成４年基準相当（等級３）	平成11年基準相当（等級４）
改修前の住宅全体の省エネ性能	昭和55年基準未満（等級１）	「省エネ改修工事」（１％）	「省エネ改修工事」（１％）	「特定の省エネ改修工事」（２％）
	昭和55年基準相当（等級２）		「省エネ改修工事」（１％）	「特定の省エネ改修工事」（２％）
	平成４年基準相当（等級３）			「特定の省エネ改修工事」（２％）
	平成11年基準相当（等級４）			

※１：住宅耐震改修のための一定の事業を定めた以下の計画の区域
地域住宅特別措置法第６条第１項に規定する地域住宅計画、耐震改修促進法第５条第１項に規定する都道府県耐震改修促進計画、地方公共団体が地域の安全を確保する見地から住宅の耐震改修について定めた計画

※２：次のいずれかに該当する者
①50歳以上の者②要介護または要支援認定を受けている者③障害者④②若しくは③に該当する者または65歳以上の者のいずれかと同居している者

※３：次のいずれかに該当する改修工事
①通路等の拡幅②階段の勾配の緩和③浴室改良④便所改良⑤手すりの取り付け⑥段差の解消⑦出入り口の戸の改良⑧滑りにくい床材料への取り替え

※４：次のいずれかに該当する者
①65歳以上の者②要介護または要支援認定を受けている者③障害者

※５：次の要件に該当する改修工事
①居室のすべての窓の改修工事、または①と併せて行う②床の断熱工事③天井の断熱工事④壁の断熱工事で、改修部位がいずれも現行の省エネ基準（平成11年基準）以上の省エネ性能となり、かつ改修後の住宅全体の省エネ性能が現状から一段階相当以上上がると認められる工事内容であること

※６：次の要件に該当する改修工事
①窓の改修工事、または①と併せて行う②床の断熱工事③天井の断熱工事④壁の断熱工事で、改修部位がいずれも現行の省エネ基準に新たに適合することになるもの

363
構造の頁

積層パイプ構法

―輪切りにした鋼管を積層した耐震補強構法―

九嶋壮一郎
㈱竹中工務店大阪本店設計部構造部門、博士（工学）

兵庫県南部地震後、耐震性能に関する社会の関心と注目が高まり、旧耐震建物*1を対象とした耐震診断が数多く実施されている。

一方、診断を実施した上で実際に耐震補強に至る割合（以降、耐震補強実施率と呼ぶ）は低く、その値が約25％という調査結果も存在する*2。

本構法は、この耐震補強実施率を向上することを目的とし、開発が進められた。

耐震補強実施率が低くとどまる理由

まず、現状の耐震補強実施率が低くとどまっている原因や理由について考察したい。

お客様が耐震補強に抵抗を感じる理由として、

①補強コストが高い
②補強構法外観が既存デザインと不調和
③補強により開口部面積が低減され、採光・通風が確保できない

という３点が挙げられる場合が多い。（そのほかに、施工期間が確保できないなどの意見もある）

①のコストについては、より低コストな技術開発を進める一方で、費用対効果の効果に当たる部分をお客様にわかりやすく継続して説明し、理解を深めていただくことが肝要であろう。

②のデザイン、③の機能については、これまでの耐震補強では、耐震性能は向上するものの、総合的な建物の利便性や意匠性の価値が低下する場合があったことが原因となっている。

耐震補強実施率の向上のために

前節より、耐震補強実施率向上のためには補強性能とコストのみならず、美観と機能に配慮し、建物全体としての性能保持・向上を意図したものが必要であると判断した。従来耐震補強技術の美観・機能的な問題点を図１に示す。

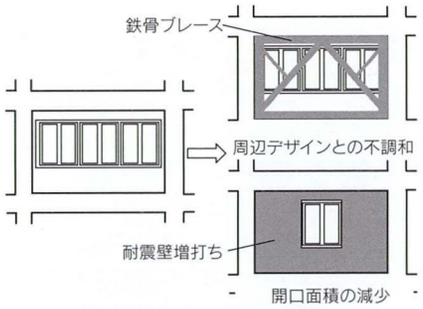


図1　従来耐震補強技術の美観･機能的な問題点

これらの技術の問題点の改善として、美観・機能の改善目標を以下のように定めた。

美観
既存外観と調和する幾何学的連続性を有するもの

機能
採光、通風のための開口率を極力保持するもの

積層した鋼管による新たな補強方法

同一形状を連続した場合に、空間を最小面積で構成することが可能な形式として、六角形を用いたハニカム構造が存在することが知られている。ただし、六角形は周辺デザインとの調和の点や構造材として利用できる工業製品が存在しないという問題点がある。

そこで本構法では、開口率を最大限に確保し、周辺デザインと調和しながら独自性のある外観を有し、一般的な工業製品を用いた構法として、鋼管を積層する新たな耐震補強方法を考案した（図２）。

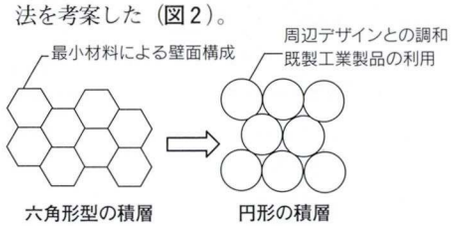


図2　積層構造

鋼管の接合方法・架構の構造性能

積層した鋼管は、面外方向への変形防止や引張力の伝達による剛性と耐力確保のために、隣接鋼管どうしを隅肉溶接にて接合する。

本構法では、例えばϕ450×16、奥行き200（mm）にて約2,000（kN）の水平力負担が可能であり、*H*-250×250の鉄骨ブレースとほぼ同等の性能を実現することが可能である。

構造性能は実験・解析により確認を行った。

実プロジェクトへの適用

竹中工務店深江竹友寮（神戸市東灘区深江北町）は、1960年に設計された新社員の研修用施設である。耐震診断の結果から耐震補強の必要性を確認したが、補強必要位置がエントランスロビー近傍に限定され、

・既存建物の外観イメージを保持
・ロビーの採光を確保

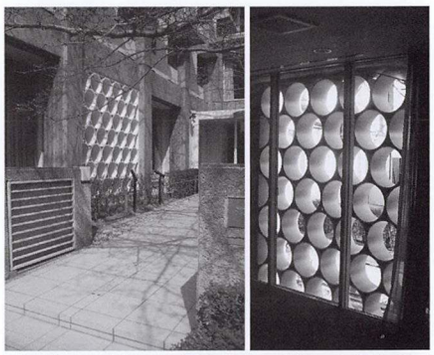


写真1　（左）外部より　（右）内部より

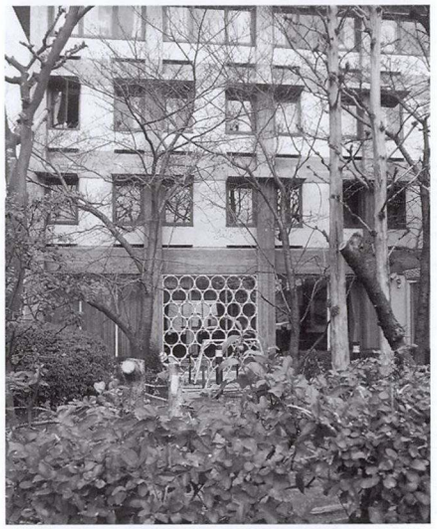


写真2　遠景

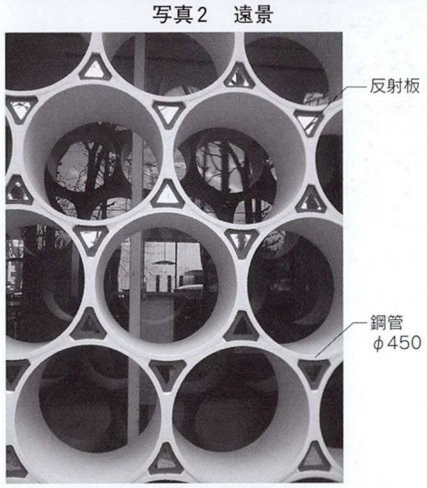


写真3　鋼管拡大

が求められたことから、本構法を採用するに至った。

写真１～３に、完成した積層パイプ構法を示す。

おわりに

深江竹友寮耐震補強工事は2008年３月に完了し、４月より今年度の新社員が寮生活をおくっている。積層パイプが耐震補強部材であることに気付いた新社員はおらず、技術開発の目標は達成できたのではないかと感じている。

＊1　1981年以前の建築基準法に準拠している建物
＊2　2003年日本建築構造技術者協会ホームページより

（くしま　そういちろう）

お知らせ information

▶推薦してください!素敵なマンション —大阪市ハウジングデザイン賞

第22回「大阪市ハウジングデザイン賞」は、下記要領で大阪市内に建つマンションの推薦募集を始めた。

なお、推薦者の中から、抽選で50名にレインボーカード（500円分）がプレゼントされる。

募集期間　2008年７月１日～７月31日（木）

審査対象　2003年４月１日～2008年６月30日の間に完成した大阪市内の民間(分譲・賃貸)マンションで、デザイン、住み心地や人にやさしいすまいづくりの観点から優れているもの。

URL　http://www.city.osaka.jp/jutaku/

問い合せ　大阪市都市整備局企画部民間住宅助成担当　電話06-6208-9228

▶自立循環型住宅設計講習会開催

住宅における生活時のエネルギー消費を50%削減することをめざした『自立循環型住宅』設計のための講習会が、（財）建築環境・省エネルギー機構の主催で開催される。

■京都会場

日　時　2008年８月28日(木)
10：00～17：00

会　場　京都リサーチパーク・サイエンスホール
京都市下京区中堂寺南町134

講　師　自立循環型住宅開発委員会フェーズ１の研究にかかわった研究機関・大学

定　員　150名

参加費　8000円（税、テキスト代含む）
指定銀行口座に振り込み。

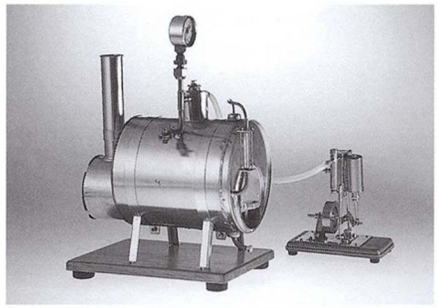
申込み　㈱建築環境・省エネルギー機構企画・環境部　TEL.03-3222-6697

申し込み方法等はhttp://www.jjj-design.orgを参照。

▶工作の時代展 -『子供の科学』で大人になった

科学ジャーナリスト・原田三夫が大正13年に創刊した『子供の科学』。創刊当初より高度な工作図面を掲載し、実際に手を動かすことを通して子供たちにものの仕組みを教え、多くの子供たちに愛されてきた。そこには紙飛行機、ラジオ、家電類、発明されたばかりの世界の乗り物など玩具の域にはとどまらない本格的な工作の作り方が掲載されている。

INAXギャラリー大阪の会場では、高度経済成長期を中心に同誌に紹介された工作の数々を、日本の技術を支えてきた「工作少年」たちが再現し展示している。入場無料。



オシレーチングエンジン（1961年11月号掲載）
模型製作／山口　脩　　撮影／大西成明

会　期　2008年６月６日～８月22日(金)
10：00～18：00
水曜日と８/13～17は休館日

会　場　INAXギャラリー大阪
大阪市中央区久太郎町4-1-3
伊藤忠ビル１階

▶「ネパールの大工道具」展

中国・チベット文化とインドの植民地時代の文化が混在したネパールでは、大工道具においてもその影響が見られる。たとえば製材道具では、鋸の推し使い、引き使いの両方の使用が確認されている。



竹中大工道具館ミニ企画展では鋸、鑿、鉋、斧などを展示するほか、道具の製作法・使用法を解説したパネル・映像、併せてネパール木工具の多様な文化も紹介する。

会　期　2008年７月１日～10月５日(日)
９：30～16：30　月曜日休館

会　場　竹中大工道具館　TEL.078-242-0216
神戸市中央区中山手通4-18-25

入館料　300円、大高生200円、
中小生100円

▶北京大会の競技コートに 仏ジェルフロアー社の床材

世界で3000万㎡以上設置されているPVC製屋内スポーツ床材「Taraflex®」のノウハウが、北京オリンピック2008で活躍する。

ジェルフロアー社は1976年のモントリオール大会以来、夏季オリンピックに自社製品を提供しており、2008年夏の北京大会でもオーダーメイドの提案をして、オリンピック組織委員会のテストイベントを経て、７カ所・14面のバレーボールコートと２つの卓球コートで15000㎡のスポーツ床材が使用されることになった。

▶シンポジウム「再発見！歴史遺産の魅力」

近年、歴史遺産をめぐる市民の意識は確実に変わりつつあり、歴史的建築や近代化遺産に価値を見いだし、再評価しようという動きの表れとして、歴史的建築や近代化遺産に新しい命を吹き込み、再利用、再活用しようという動きをあげることができる。

シンポジウムは、そのような活動をおこなっている人たちをパネリストに迎え、経験談を交えて意見を出し合い、今後の保存と活用の方向を探ろうというものである。

●基調講演

「大阪町人と近世、近代のまちづくり」

脇田　修（大阪歴史博物館長・近世史）

●シンポジウム

進行／谷　直樹（大阪市立大学大学院教授）

大阪府登録文化財所有者の会会長・畑田耕一

大阪ガスエネルギー文化研究所・栗本智代

大阪市立大学大学院教授・竹原義二

北浜レトロビル所有者・小山壽一

大阪市教育委員会・植木　久

日　時　2008年7月31日(木)13：00～17：00

場　所　大阪市中央公会堂・1階大集会室

申込先　郵便はがきかFAXに、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入し、7月26日までに下記へ。

〒530-8201　大阪市北区中之島1-3-20

大阪市教育委員会文化財保護担当シンポジウム係

FAX 06-6201-5759

募　集　先着300名（招待券を郵送）

問い合わせは、大阪市教育委員会文化財保護担当・植木（TEL06-6208-9069）まで。

なお、シンポジウム参加者は、会場となる大阪市中央公会堂の主要な部屋を見学することができ、改修工事の設計担当者が、中央公会堂の改修工事の概要などを説明する。

▶大阪歴史博物館の7・8月

会　場　大阪歴史博物館　TEL.06-6946-5728

大阪市中央区大手前4-1-32

地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」

時　間　9：30～17：00(金曜日は20：00まで)

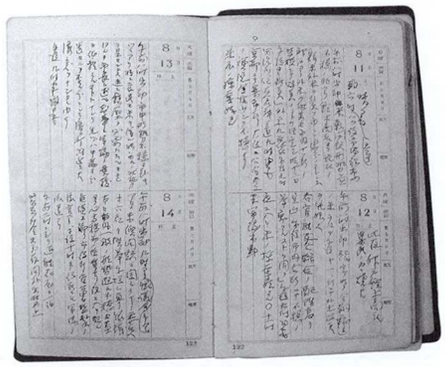
火曜日は休館

■特集展示「大阪の米騒動と方面委員の誕生」

大正7年に都市部を中心に全国で米騒動が発生してから、今年でちょうど90年。

米騒動をきっかけに、「大正デモクラシー」と呼ばれる状況が生まれる。

大阪では、府・市が共同して米の廉売事業を始め、方面委員（民生委員制度の先駆け）がこの事業に協力する。



戦前の大阪市長・関一は、米騒動時には市の助役として騒動対策に奔走した。大正7年8月11日の日記には「米屋ノ掠奪」が始まり、翌12日には早速市が外国米の販売を始めたことが記されている

会　期　2008年7月9日(水)～8月25日(月)

会　場　大阪歴史博物館・8階特集展示室

観覧料　大人600円、高大生400円

展　示　約30点―大阪白米廉売所入場券、方面委員手帳、関一日記など

■特別展「大阪府・大阪市指定文化財―大阪の祈り　さまざまな美と形―」



木造不動明王坐像
江戸時代：千手寺蔵

将来にわたって保存すべき指定文化財は、大阪府で昭和44年度以来464件、大阪市で平成11年度以来122件ある。特別展では、＜祈り＞から生み出された作品を展示し、併せて平成18・19年度に大阪市が新たに指定した文化財のお披露目も行う。

会　期　2008年7月19日(土)～9月1日(月)

会　場　大阪歴史博物館・6階特別展示室

観覧料　大人600円、高大生400円

展　示　木像不動明王坐像、三十六歌仙扁額、山本發次郎蒐集の佐伯祐三作品など約100点

両展それぞれに招待券あり。希望者は日本建築協会（TEL.06-6946-6981）へ。

▶Art Court Frontier 2008#6

関西の新進作家が競演するアニュアル企画「Art Court Frontier」の第6回。若手作家12人（写真―ARIKO・大西正一・金仁淑・坂下清・中居真理、立体―石塚源太・田中真吾、ドローイング―稲垣元則、絵画―瓜生祐子・鈴木佑佳子、インスタレーション―国谷隆志、映像―林勇気）が選ばれた。

会　期　2008年7月4日～7月19日(土)

11：00～19：00(土・日は17：00まで)

会期中無休

会　場　アートコートギャラリー

大阪市北区天満橋1-8-5

OAPアートコート1階

▶建築がみる夢―石山修武と12の物語

石山修武（いしやま・おさむ1944年～）の出世作《幻庵》(1975年）は、工業用コルゲートパイプを軀体に転用し、吉田五十八賞を受賞した《伊豆の長八美術館》(1984年）では左官の技術を蘇らせた。

本展では、前の家の廃材を再利用しつつ緩やかに建設作業を進めている自邸《世田谷村》、カンボジアのプノンペンで建設資金を募り10年以上の歳月をかけて少しずつレンガを積み2007年に完成した《ひろしまハウス》、近年手がけている12のプロジェクトを中心に、石山修武の活動を模型やドローイングで紹介する。

会　期　2008年6月28日～8月17日(日)

10：00～18：00

月曜日休館（ただし7/21は開館）

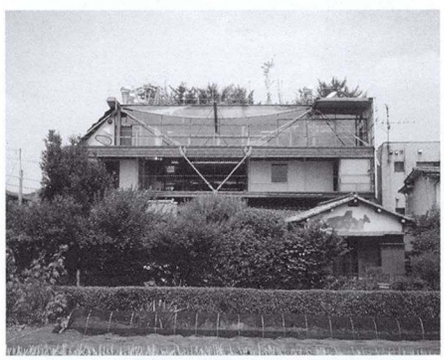
会　場　世田谷美術館・1階企画展示室

東京都世田谷区砧公園1-2

観覧料　1000円、大高生・65歳以上800円

中小生・障害者500円

招待券は日本建築協会(TEL.06-6946-6981)へ。



《世田谷村》2001年撮影

▶花鳥画に託す「生命のぬくもり」

会　期　2008年6月11日～7月27日(日)

10：00～17：00

月曜日休館（7/21は開館）

会　場　松柏美術館　TEL.0742-41-6666

奈良市登美ケ丘2-1-4

入館料　大人800円、小中生400円

出　品　上村松園、上村松篁、上村淳之の収蔵作品

招待券は日本建築協会(TEL.06-6946-6981)へ。



上村松篁「草原八月」　1956年　松伯美術館蔵

▶NIPPONの夏―応挙・歌麿・北斎から「きもの」まで



円山応挙「青楓瀑布図」
前期8月10日まで展示
天明7年、サントリー美術館蔵

江戸時代の夏の一日、朝、昼、夕方、夜と時間の流れを、北斎や歌麿の肉筆浮世絵、祭礼図や、着物、ガラスなどの工芸品約100点の美術品を通して追体験できる展覧会。

三井記念美術館の「美術の遊びとこころ」シリーズ第3弾では、日本人の夏とのかかわりを日本・東洋の美術品を通して紹介する。

会　期　2008年7月12日(土)～9月15日(月・祝)
10：00～17：00
月曜日休館（7/21と9/15は開館）
会　場　三井記念美術館（三井本館7階）
東京都中央区日本橋室町2-1-1
入館料　1000円、大高生700円、中小生無料
出　品　葛飾北斎「夏の朝」、「江戸天下祭図屏風」（右隻）、「藍色薩摩切子小瓶」、歌川広重「名所江戸八景大はしあたけの夕立」、喜多川歌麿「寒泉浴図」「夏姿美人図」、丸山応挙「鵜飼図」など
招待券は日本建築協会（TEL.06-6946-6981）へ。

▶モディリアーニ展



モリディアーニ《シャイム・スーティン》
1916年、個人蔵

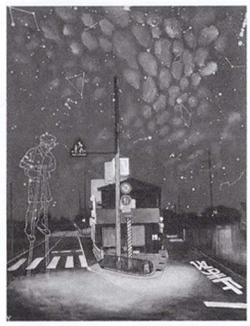
10カ国を超える国々から選びぬかれた、アメディオ・モディリアーニ（1884～1920）の油彩と素描百数十点を公開する。

モディリアーニはしばしば、35歳で没したボヘミアン画家のイメージとして語られてきたが、近年では、原始的な芸術を理知的に分析しながら西洋美術の造形理念との融合を試み、プリミティヴィスムを革新的な芸術創造に結びつけた画家であったことが明らかとなっている。

とくに大阪会場となる国立国際美術館では、モディリアーニ最後の作品《自画像》や、《若い娘の肖像（ルイーズ）》《ブルゴーニュの女》が展示される。

会　期　2008年7月1日～9月15日(月・祝)
10：00～17：00（金曜は19：00まで）
月曜日休館（7/21と9/15は開館）
会　場　国立国際美術館
大阪市北区中之島4-2-55
観覧料　1500円、大学生1200円、高校生600円
招待券は日本建築協会（TEL.06-6946-6981）へ。

▶「冒険王・横尾忠則」



横尾忠則《竹馬座》　2006年

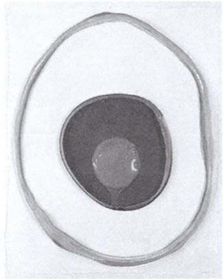
アートの境界を侵犯して、絵画とグラフィック・デザインの二つの領域で優れた活動を展開してきた横尾忠則（1936年～）を「冒険」という切り口で紹介する。

「冒険」とは、一つは血湧き肉躍る冒険物語をテーマにした作品群であり、もう一つは冒険精神にあふれた創造性の高い作品である。

兵庫県立美術館の会場では、新作を数多く出品し、旧作についても「冒険」のテーマのもとに構成し、7つのコーナーで絵画（コラージュ含む）約170点、グラフィックとその原画及び下絵数百点を紹介する。

会　期　2008年6月27日～8月24日(日)
10：00～18：00（金・土は20：00まで）
月曜日休館（ただし7/21は開館）
会　場　兵庫県立美術館・企画展示室
神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
阪神電車「岩屋駅」下車、徒歩8分
入場料　1200円、大高生900円、中小生500円
招待券は日本建築協会（TEL.06-6946-6981）へ。

▶「現代美術の冒険」



松谷武判「作品66生命」
1966年

西宮市大谷記念美術館は、収集してきた現代美術のコレクションの中から、元永定正、白髪一雄、松谷武判、植松奎二ら18作家の作品30点を展示する。戦後の美術表現が取り組んできたさまざまな試みを紹介しようという展覧会である。

さらに常設展示室には、小出楢重、梅原龍三郎、伊藤慶之助、河野通紀など12作家の約20点の静物画が展示される。

会　期　2008年7月12日(土)～8月3日(日)
10：00～17：00　水曜日休館
7/21（月・祝）は無料開館日
会　場　西宮市大谷記念美術館
西宮市中浜町4-38
阪神電車「香櫨園」駅下車徒歩6分
入館料　300円、高大生200円、小中生100円
招待券は日本建築協会（TEL.06-6946-6981）へ。

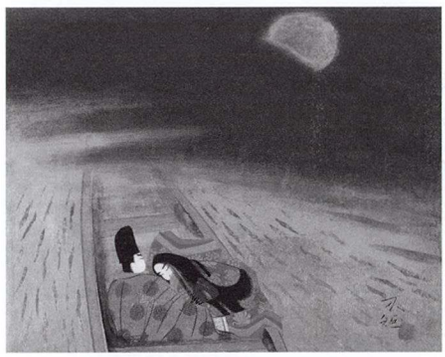
▶京都文化博物館の展覧会2つ

■「源氏香の世界」と「現代京都画壇による源氏物語絵」展

江戸初期、香道の世界では「源氏香」という組香が考案された。香木の香りを競技形式で聞き分けるもので、その答えを表した「源氏香の図」は古典文様としてやきものや、漆工芸、和菓子などに用いられている。

併せて、現代京都画壇の54作家が源氏物語の世界に取り組んだ作品を展示する。秋野不矩、上村松篁ら重鎮から若手まで日本画家が、源氏物語の各帖への思いをつづっている。

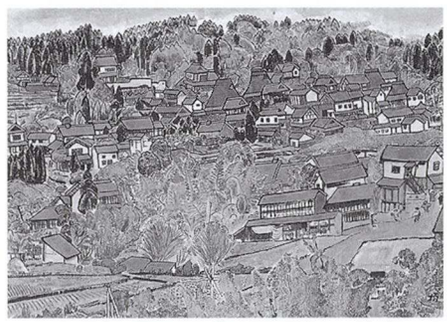
会　期　2008年6月17日～7月27(日)
10：00～19：30　月曜日休館



秋野不矩「第五十一帖 浮舟」

会　場　京都文化博物館・3階美術・工芸展示室
京都市中京区三条高倉
入場料　500円、大高生400円、中小生300円

■京都美の探訪



小松 均「大原風景」

画家が京都を描いた絵画を集めた展覧会。

画家は上村松園、上村松篁、小松均、山口華楊、向井潤吉ら。

会　期　2008年6月19日～7月21(月・祝)
10：00～18：00（金曜日は19：30まで）
会　場　京都文化博物館　TEL.075-222-0888
入場料　1000円、大高生700円、中小生400円
招待券は日本建築協会（TEL.06-6946-6981）へ。

理事会

第２回常任理事会

５月28日（水）16：00～17：30
出席者　佐野会長ほか　８名
議　事（１）平成19年度事業報告（案）について
（２）平成19年度収支決算（案）について

編集委員会

第２回編集委員会

５月14日（水）18：00～20：00
出席者　設楽委員長ほか５名
議　事（１）６月号「設備に役立つ地震対策」特集の企画
（２）７月号「中国支部」・「小林聖心女子学院」特集の企画
（３）８月号「建築と景観」特集の企画
（４）９月号「第55回青年技術者」特集
（５）11月号「(仮)建築ロボット」特集の企画
（６）12月号「自然と闘う構造」特集の企画
（７）各小委員会・分科会の報告
（８）収支状況報告

第２回建築系分科会

５月19日（月）19：00～20：30
出席者　楠幹事ほか３名
議　事　2008年８月号特集「建築と景観」企画案検討

第２回構造分科会

５月２日（金）18：00～20：15
出席者　房安幹事ほか４名
議　事（１）平成20年度の構造分科会
（２）「構造の頁」の企画
（３）12月号構造特集
（４）情報交換

第２回施工材料分科会

５月23日（金）17：00～18：00
出席者　山岡幹事ほか３名
議　事（１）11月号「(仮)建築ロボット」特集の企画
（２）今後のスケジュール

第２回法令分科会

５月15日（木）15：00～15：45
出席者　谷本幹事ほか３名
議　事（１）「法令コーナー」の企画
（２）10月号法令特集の企画
（３）情報交換

第３回法令分科会

５月30日（金）15：00～17：00
出席者　谷本幹事ほか4名
議　事（１）「法令コーナー」の企画
（２）10月号法令特集の企画

第２回作品作風小委員会

５月22日（木）19：00～20：00
出席者　居内副委員長ほか９名
議　事（１）作品の選定
（２）作品の掲載状況並びに掲載予定の報告
（３）「gallery」掲載報告・予定
（４）前回の編集委員会の報告

第２回広告企画小委員会

５月14日（水）17：00～18：00
出席者　設楽委員長ほか４名
議　事（１）６月号「設備に役立つ地震対策」特集の企画
（２）７月号「中国支部」・「小林聖心女子学院」特集の企画
（３）８月号「建築と景観」特集の企画
（４）広告頁「第一線の建築設計担当者に聞く　いち押し建材・設備」シリーズの企画
（５）広告掲載状況
（６）収支状況報告

第２回10年委員会（一部）

５月８日（木）19：00～20：00
議　事　現場見学会検討
出席者　設楽編集委員長・前川副委員長ほか７名

第２回10年委員会（二部）

５月８日（木）20：00～21：30
議　事　アイデアコンペ案検討
出席者　設楽編集委員長・前川副委員長ほか３名

事業委員会

第２回情報見学小委員会

５月８日（木）18：00～19：00
出席者　瀬戸川委員長ほか11名
議　事（１）本年度事業について
（２）その他

出版委員会

第２回出版委員会

５月15日（木）18：00～19：00
出席者　上原委員長ほか６名
議　事（１）＜プロのノウハウ＞と特装本の経過報告
（２）進行中のテーマについて
（３）その他

見　学　会

兵庫県立考古博物館見学会

５月24日（土）14：00～16：30
場　所　兵庫県加古郡播磨町大中
参加者　12名
出席者　瀬戸川委員長　ほか１名
講　師　山下　史朗氏／兵庫県立考古博物館
久保　　岳氏／㈱昭和設計

講　　座

出版委員会企画／第32回プロのノウハウ講座『建築主が納得する 住まいづくり』

５月28日（水）18：00～20：00
場　所　ＯＭＭビル２Ｆ　２号室
参加者　24名
出席者　上原委員長ほか３名
講　師　玉水　新吾氏

入会者（敬称略）

〔団体正会員〕

㈱共立

〔個人正会員〕

池端 早苗　㈱タケチ
河野　学　大阪大学大学院特任研究員
田中 慎治　大阪市計画調整局

〔個人准会員〕

前田 薫子　愛知工業大学

●訃報

〔個人正会員〕
有吉 小夜子 氏
平成20年５月14日逝去 享年65歳
森田 富士男 氏
平成20年５月18日逝去 享年73歳

暑中お見舞申し上げます

平成20年盛夏

淺沼誠夫
株式会社 淺沼組
会長
〒543-8688 大阪市天王寺区東高津町12－6 TEL(06)6768-5222

佐野吉彦
株式会社 安井建築設計事務所
代表取締役社長
〒540-0034 大阪市中央区島町2－4－7 TEL(06)6943-1371代

会長
中井進
日建設計
取締役常務執行役員
〒541-8528 大阪市中央区高麗橋4－6－2 TEL(06)6203-2361

名誉会長
市川宏
株式会社 東畑建築事務所
取締役相談役
〒541-0044 大阪市中央区伏見町4－4－10 TEL(06)6202-0391

設楽貞樹
株式会社 安井建築設計事務所
常務取締役
〒540-0034 大阪市中央区島町2－4－7 TEL(06)6943-1371代

沼田亘
株式会社 昭和設計
代表取締役社長
〒552-0007 大阪市港区弁天1－2－1－800 TEL(06)6575-5555

岡本慶一
日建設計
代表取締役社長
〒541-8528 大阪市中央区高麗橋4－6－2 TEL(06)6203-2361

錢高一善
錢高組
社長
〒550-0005 大阪市西区西本町2－2－11
なにわ筋ツインズ ウエスト
TEL(06)6538-7801

林新一
社団法人 日本建築協会
常務理事兼事務局長
〒540-6591 大阪市中央区大手前1－7－31 TEL(06)6946-6981

嘉納秀一
三宝電機 株式会社
代表取締役社長
〒530-0047 大阪市北区西天満2－6－8 堂ビル
TEL(06)6364-1471

立成良三
財団法人 大阪住宅センター
理事長
〒542-0081 大阪市中央区南船場4－4－3 心斎橋東急ビル4F
TEL(06)6253-0071 FAX(06)6253-0145

原眞一
コーナン建設 株式会社
代表取締役
〒531-0075 大阪市北区大淀南1－9－10号 TEL(06)6456-4311

近藤徹
不二熱学工業 株式会社
代表取締役
〒542-0081 大阪市中央区南船場2－1－1 TEL(06)6261-4321

立野純三
株式会社 ユニオン
代表取締役社長
〒550-0015 大阪市西区南堀江2－13－22 TEL(06)6532-3188

藤井實
エスケー化研 株式会社
代表取締役社長
〒567-0034 茨木市中穂積3－5－25 TEL(072)621-7720

名誉会長
佐野正一
株式会社 安井建築設計事務所
代表取締役相談役
〒540-0034 大阪市中央区島町2－4－7 TEL(06)6943-1371代

谷淳之介
株式会社 東畑建築事務所
代表取締役社長
〒541-0044 大阪市中央区伏見町4－4－10 TEL(06)6202-0391

古元眞美
株式会社 シブタニ
相談役
〒542-0082 大阪市中央区島之内2－13－7 TEL(06)6211-7335

宮　本　博　司

株式会社 宮本工務設計事務所　代表取締役

ISO9001認証取得（創立62年）

〒665-0022 宝塚市野上1－2－34（宮本ビル）
TEL(0797)71-0431(代)　FAX(0797)71-5139(受)
E-mail : mto@gold. ocn. ne. jp URL : http : //宮本設計. jp. io
神戸支店　TEL＆FAX(078)997-0371

村　石　　全

株式会社 クトクコーポレーション
代表取締役社長

〒556-0021　大阪市浪速区幸町2－5－3　　TEL(06)6568-3671
〒596-0011　工場・岸和田市木材町9－3　　TEL(0724)37-2524
〒649-7167　工場・和歌山県伊都郡かつらぎ町移430番地
TEL(0736)22-7880

森　　悠

西日本建設業保証 株式会社
取締役社長

〒550-0012　大阪市西区立売堀2－1－2　TEL(06)6543-2553

森　田　司　郎

財団法人 日本建築総合試験所
理事長

〒565-0873　吹田市藤白台5－8－1　　TEL(06)6872-0391
http://www.gbrc.or.jp

安　田　　誠

安田 株式会社
代表取締役社長

〒542-0081　大阪市中央区南船場1－11－9　TEL(06)6251-7091

高千穂峡



暑中お見舞申し上げます

平成20年盛夏

設計事務所有志

株式会社 伊東建築設計事務所

代表取締役　岡　本　清　彦

〒556-0016 大阪市浪速区元町1－5－7　TEL 大阪 (06) 6646-0161(代)

株式会社 伊藤建築設計事務所

代表取締役会長　織　田　愈　史
代表取締役社長　森　口　雅　文

本社・名古屋事務所　〒460-0002 名古屋市中区丸の内1－15－15（桜通ビル）TEL（052）222-8611
東京事務所　〒101-0021 東京都千代田区外神田3－5－12（聖公会神田ビル）TEL（03）5294-6211

株式会社 瀬戸本淳建築研究室 ISO9001

代表取締役　瀬　戸　本　淳

〒650－0024 神戸市中央区海岸通1－1－1 神戸郵船ビル　TEL（078）333－0138
http://www.jsao.co.jp

株式会社 東畑建築事務所

代表取締役社長　谷　淳之介

本社・大阪事務所　〒541-0044　大阪市中央区伏見町4-4-10　TEL（06）6202-0391
http://www.tohata.co.jp
大阪・東京・名古屋・九州

日建設計

代表取締役社長　岡　本　慶　一

東　　京	102-8117	東京都千代田区飯田橋2－18－3	TEL（03）5226-3030
大　　阪	541-8528	大阪市中央区高麗橋4－6－2	TEL（06）6203-2361
名 古 屋	460-0008	名古屋市中区栄4－15－32	TEL（052）261-6131

安井建築設計事務所

代表取締役社長　佐　野　吉　彦

本　社　〒540−0034　大阪市中央区島町2−4−7　TEL（06）6943−1371（代表）
支　社　大阪・東京・名古屋・広島・九州　http://www.yasui-archi.co.jp/

建設業有志

人・都市・自然のシンフォニー

Asanuma

株式会社 淺沼組

代表取締役社長　淺　沼　健　一

本社・大阪本店　大阪市天王寺区東高津町12－6　TEL(06)6768-5222
東京本店　東京都新宿区荒木町5　TEL(03)5269-3111
名古屋支店　名古屋市中村区名駅南3－3－44　TEL(052)571-5571
支　　店　北海道・東北・北関東・横浜・神戸・広島・九州

100年をつくる会社

鹿島
KAJIMA CORPORATION

本　　社：東京都港区元赤坂1丁目3番1号
関西支店：大阪市中央区城見二丁目2番22号・マルイトOBPビル
電話06（6946）3311
http://www.kajima.co.jp/

清水建設株式会社

Life Cycle Valuation

取締役社長　宮　本　洋　一　専務執行役員関西事業本部長　小　橋　鴻　三

本　　社　〒105-8007　東京都港区芝浦一丁目2番3号　シーバンスS館　Tel. 03(5441)1111
関西事業本部　〒541-8520　大阪市中央区本町三丁目5番7号　御堂筋本町ビル　Tel. 06(6263)2800
http://www.shimz.co.jp/

大地への愛　人間への愛

錢高組

社長　錢高一善

本店　大阪市西区西本町2－2－11
なにわ筋ツインズ　ウエスト
TEL (06) 6531－6431
本社　東京都千代田区一番町31番地
TEL (03) 3265－4611
支社・支店　大阪・東京・北海道・東北・北関東・千葉
横浜・北陸・名古屋・神戸・広島・四国・九州
URL　http:// www. zenitaka. co. jp/

地図に残る仕事。

TAISEI

大成建設株式会社

社長　山内隆司
専務関西支店長　寺下均

http : // www. taisei. co. jp/

株式会社 竹中工務店

取締役社長　竹中統一

〒541-0053　大阪市中央区本町4－1－13　TEL (06) 6252-1201 (代表)

戸田建設株式会社

代表取締役社長　井上舜三
常務執行役員大阪支店長　野村昇

本社　〒104-8388　東京都中央区京橋1－7－1　TEL 東京03(3535)1354
大阪支店　〒550-0005　大阪市西区西本町1－13－47　TEL 大阪06(6531)6095
支店　東京・千葉・関東・横浜・北陸・名古屋・札幌・東北・広島・四国・九州

建材・報道・学校・団体有志等

建築　インテリア　大工　ロボット　機械

大阪工業技術専門学校

OCT

大阪市北区天満1−8−24　〒530-0043
0120-0910-19　FAX(06)6352-2861
URL http://www.oct.ac.jp

建築ものづくり学科／2年制
インテリアデザイン学科／2年制
大工技能ものづくり学科／2年制
ロボット・機械ものづくり学科／2年制
建築士専科／1年制
建築学科Ⅱ部／2年制(夜間)



1955年創業

日報

建設業界でもっとも信頼　読まれている日刊情報紙

株式会社 建設日報社

社主　重村　一

〒550-0006 大阪市西区江之子島1−6−2　TEL(06)6444−2405

三和電気土木工事株式会社

代表取締役社長　森　淳　http://www.sanwa-e.co.jp

本　社	〒530-0054	大阪市北区南森町1-4-19	Tel：06-6361-6451／Fax：06-6361-6948
大阪本店	〒532-0003	大阪市淀川区宮原5-3-26	Tel：06-6395-9130／Fax：06-6393-8123
東京支店	〒105-0013	東京都港区浜松町1-5-5	Tel：03-3434-1586／Fax：03-3434-7419
名古屋支店	〒450-0003	名古屋市中村区名駅南3-12-22	Tel：052-541-8221／Fax：052-541-8226
和歌山支店	〒640-8111	和歌山市新通5-11	Tel：073-422-2539／Fax：073-422-2303
四国支店	〒771-0138	徳島市川内町平石流通団地11-1	Tel：0886-65-7888／Fax：0886-65-7887
北陸支店	〒918-8239	福井市成和2-515	Tel：0776-24-0477／Fax：0776-27-6620
本社事業部	〒471-0832	愛知県豊田市丸山町9-16	Tel：0565-28-6983／Fax：0565-28-6982

カーペットタイル各種
ファッション床材
特殊用途床材
プラスチック汎用床材
プラスチック二重床

TAJIMA　株式会社 タジマ

大阪営業所	550-0003	大阪市西区京町堀1-8-5 明星ビル11F	06-6441-5951
東京営業所	101-8577	東京都千代田区岩本町3-11-13	03-5821-7731
神戸営業所	657-0025	神戸市中央区御幸通2-1-18 建徳ビル201	078-241-2172
地方営業所(西日本)		広島・高松・福岡・鹿児島	

NKK

社団法人 日本建築材料協会

会長　藤井　實

〒550-0003　大阪市西区京町堀1−3−13　辰巳ビル9階　TEL(06)6443-0345　FAX(06)6443-0348
http://www.kenzai.or.jp/

社団法人 日本建築協会京都支部

支部長　上林研二

〒604-0944　京都市中京区押小路通柳馬場東入 京都建設会館別館 TEL(075)211-2857

社団法人 日本建築協会中国支部

支部長　森畑　武

〒732-0048　広島市東区山根町28番22号 下岸建設株式会社内　TEL(082)264-0709

社団法人 日本建築協会東海支部

支部長　佐伯　博

〒460-0008　名古屋市中区栄4－3－26（昭和ビル5階） TEL(052)261-1451

社団法人 日本建築協会和歌山支部

和歌山支部一同

〒640-8045　和歌山市ト半町38番地　建築士会館内　TEL(073)423-2562

安全・安心・快適

三和シャッター

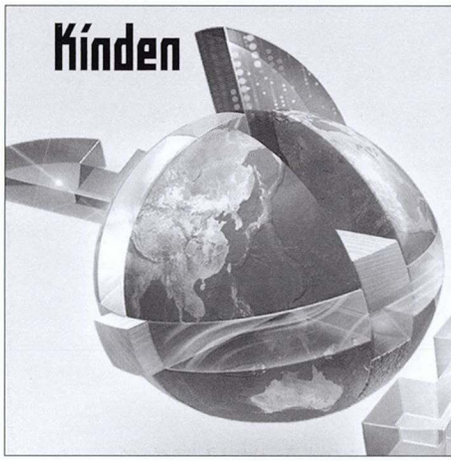


人にやさしく・街にやさしく。

三和シヤッターは、お客様に「安全・安心・快適」を提供することを、
グループの使命に掲げ、商品・サービスの提供に努めています。
生活に触れ、暮らしに関わる製品をお届けし、安らぎのお手伝いができたら…
お客様の"笑顔"に出会うため、
三和シヤッターは、これからも創造の芽を育んでまいります。

三和シヤッター工業株式会社 広島支店 広島市西区南観音6-3-13 TEL.082-297-3838

Kinden



時代のニーズを、確かなフォルムに。

ひとつひとつのピースがしっかりと結びつき
美しい形を完成させる球体組みパズル——。
きんでんは電気をはじめとする様々な技術をピースとして
社会生活の安定を支える
確かな結びつきを創造しています。



未来のことを はじめています。
きんでん

本　店　大阪市北区本庄東2丁目3番41号
〒531-8550 ☎06-6375-6000
東京本社　東京都千代田区九段南2丁目1番21号
〒102-8628 ☎03-5210-7272
http://www.kinden.co.jp/

SANKEN
ENVIRONMENTAL ENGINEERING
http://skk.jp



人と空気と水の環境創造。

求められる環境を、望まれたカタチにする。
三建設備工業は豊富な実績と確かなノウハウで
常に最適環境を創り出します。
空気と水、そして、人…この技術を「全て」のために。

空気と水の環境創造企業
三建設備工業
本社　東京都中央区日本橋蛎殻町1-35-8
TEL:03-3667-3431

あなたの、
いちばん心地良い場所はどこですか。
きっと、多くの方が、
大自然の中をイメージされることでしょう。
私たちは、そんな快適さを
あらゆる建物の内に
創造していきたいと考えています。
もっとナチュラルに、
いつもあなたのそばに、ダイダンです。



Always With You.

——光と空気と水を生かす——
ダイダン

www.tte-net.co.jp



人・空気・未来
高砂熱学工業

グリーンエア®は、
高砂熱学工業の地球環境活動。
人に自然にやさしい空気づくりのために。

省エネルギーコンサルテーションから運用・メンテナンスまで。新しい空気環境をワンストップ・ソリューションで実現します。

快適実感

わたしたち中電工は、お客さまの「快適」を
ひとつひとつ「かたち」にしていきます。

「リニューアル 思った時が 中電工」
ビルのリニューアルならおまかせください http://www.chudenko.co.jp

■電気設備工事 ■エネルギー関連 ■送配電線工事 ■情報通信設備工事 ■空調管設備工事 ■水道施設工事 ■環境関連
■防災・消防設備工事 ■リニューアル・リフォーム ■鉄塔工事 ■土木建築工事 ■電気機器の設計・製作・販売・修理・据付・保守
■ソフトウエア関連 ■コンサルティング・メンテナンス業務 ■電気通信事業

CHUDENKO 総合設備エンジニアリング企業 中電工

本　店／広島市中区小網町6番12号　TEL082-291-7411
統括支社／広島・岡山・山口・島根・鳥取
東京本部、大阪本部、名古屋支社、九州支社、四国支社

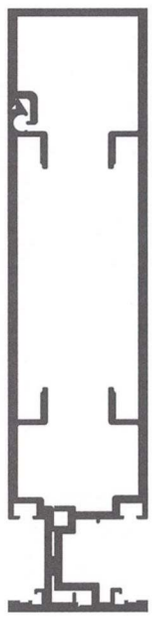
instax

次世代フロント［インスタックス］

"フロントの世界を変える" 新サッシシリーズ誕生！

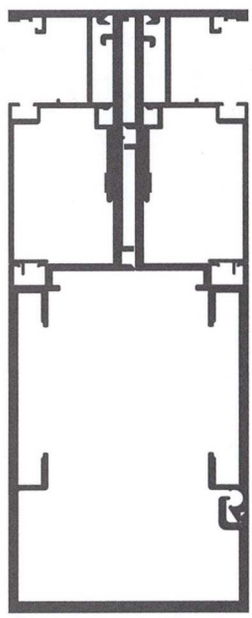
【フロントサッシ】
建設業界で使用されている呼称です。主として1階や店舗部分に使用されるサッシシリーズを意味し、流通加工事業者にて加工・組立及び施工を行います。短納期と小規模な工事に柔軟に対応しますが、性能は明記されないことが一般的です。インスタックスはメリットはそのままに、サッシに求められる耐風圧・気密・水密の3性能を明記します。

次世代フロント［インスタックス］選べる2シリーズ
New Products！



【35シリーズ】
スリムなデザイン

【60シリーズ】
スマートなデザイン



三協立山アルミ株式会社
インスタックス推進グループ：〒164-8503 東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル18F TEL.03-5348-0364
広島支店 ビル建材部：〒732-0827 広島市南区稲荷町2-16 TEL.082-261-2215

http://www.instax-series.net/

YKK AP株式会社

ビル建材事業部　中国統括支店　広島支店

〒732-0802　広島市南区大州5丁目1-10
TEL：082-284-4134　FAX：082-283-8490
http://www.ykkap.co.jp/

YKK ap®

TOSTEM SUZUKI

ひろびろした開口！すっきり空間！
トステム鈴木シャッターの開口王が最適！

●防火扉と連動の防煙・防火シャッター
●防火扉の先端にレールを組み込み従来の固定レールをなくしました
●大空間を実現できるのが大きなメリット

大臣認定番号
CSA-0367　たて穴区画の為の大臣認定（S62スラット型）
CSA-0368　たて穴区画の為の大臣認定（S75スラット型）
CSA-0369　エレベーター乗場戸前の空間を含めた防火設備の大臣認定

トステム鈴木シャッター株式会社

本社　〒170-0005 東京都豊島区南大塚1丁目1番地4号
TEL　03-3944-1111　FAX 03-3944-2111　http://www.suzuki-st.co.jp/
中四国支店　〒734-0014　広島市南区宇品西3-5-4
TEL　082-250-5633　FAX 082-250-5631

現場マン必読!!

建築主が納得する住まいづくり

Q&Aでわかる技術的ポイント

玉水新吾 著
Shingo TAMAMIZU

企画・日本建築協会



四六判・224頁
定価1995円（本体1900円）

建築主が大満足する家づくりとは。住宅メーカーのベテラン技術者が、現場で経験したクレームやトラブルの事例より、家を建てる時に、建築主に説明して念押ししたほうがよいポイントや、着工までに納得してもらうべき事項をあげ、その対応や配慮を工程にそって解説した。現場マン必読!!顧客満足度アップ、クレームゼロの方法。

◎目次

第1章	敷地の法規制	第7章	外部仕舞い
第2章	事前準備	第8章	開口部
第3章	工程と祭り事	第9章	竣工・引渡し
第4章	基礎構造	第10章	電気設備
第5章	大工上棟	第11章	給排水・ガス設備
第6章	大工造作		





著者略歴

玉水新吾（たまみず　しんご）
1953年京都市生まれ、名古屋工業大学建築学科卒業後、1976年から大手住宅メーカーにて、住宅現場の施工管理・品質・保証・工程・安全衛生・環境・技術研修・知的財産・教育など、住宅技術一筋。
著書：『現場で学ぶ住まいの雨仕舞い』（学芸出版社）、『低層住宅施工現場のCIS』『かんたんCISマナー』（ともに共著、PHP研究所）
所属：日本建築協会、大阪住宅安全衛生協議会

学芸出版社　〒600-8216 京都市下京区木津屋橋通西洞院東入
tel 075-343-0811　fax 075-343-0810
http://www.gakugei-pub.jp/　E-mail info@gakugei-pub.jp

空調・衛生・クリーンルーム設備
（設計・施工）

朝日工業社

本社・本店　東京都港区浜松町1-25-7　電話03(3432)5711
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話06(6302)2270
支　　店　北海道/東北/北関東/横浜/名古屋/中国/九州

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設　計　施　工

ダイダン株式会社

本店・大阪本社　〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　電話(06)6441-8231
東京本社　〒102-0071 東京都千代田区富士見２丁目15番10号　電話(03)3261-8231
支　　社　名古屋・福岡
支　　店　札幌・仙台・新潟・大宮・千葉・横浜・金沢・京都・神戸・天理・岡山・広島・高松・熊本
営業所　帯広・函館・青森・秋田・盛岡・前橋・長野・静岡・豊田・津・富山・福井・徳山・松山・高知・北九州・鹿児島・那覇
出張所　旭川・福島・川崎・松江・徳島・下関・長崎・大分・宮崎
海外支店　シンガポール・ホンコン
技術研究所　〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町大字北永井390番地　電話(0492)58-1511

www.naniwa.com
We have hope

■印刷事業 ポスター、カタログ、パンフレット、書籍、年鑑、社史、雑誌、文字、画像データ処理
■メディア事業 SPプランニング・コンサルティング、ITソリューション、web及びメディアコンテンツ企画制作

株式会社NPCコーポレーション
本　社　〒530-0043 大阪市北区天満1-9-19
tel:(06)6351-7271(代) fax:(06)6352-7479
第二ビル　〒530-0043 大阪市北区天満1-11-8
tel:(06)6351-0128(代) fax:(06)6351-0208
東京支社　〒105-0004 東京都港区浜松町1-2-1 一光浜松町ビル7F
tel:(03)3433-5211(代) fax:(03)5776-7733
（旧社名ナニワ印刷㈱、日本データネット㈱）

地球環境を守り、100年建築に貢献する
NACL のアルミ表面処理
株式会社日本電気化学工業所
http://nacl.jp　E-mail:sc@nacl.co.jp
本部営業部　〒560-0036 大阪府豊中市蛍池西町2丁目7番26号 NACLﾋﾞﾙ2階
TEL (06)6843-1235(代) FAX (06)6853-1632
東京事務所　〒111-0051 東京都台東区蔵前2丁目7-2 東京NACLﾋﾞﾙ
TEL (03)3862-0978(代) FAX (03)3862-7098

デンカCSAファミリー製品

●デンカCSA（膨張性混和材）　コンクリートのひびわれ防止に
●デンカタスコン（グラウト用無収縮材）　鉄骨ベース、逆打部の充塡モルタルに
●デンカキューテックス（止水・補修用急硬セメント）　コンクリート躯体の漏水補修に
●デンカES（土質安定用急硬材）　地盤補強用薬注入
●デンカΣ1000（製品用超高度混和材）　コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に

電気化学工業株式会社
近畿地区販売店

浜宗産業株式会社
TEL 本社・京都・京丹後（0772）72－2220
舞　鶴（0773）76－0133

金森藤平商事株式会社
TEL 大阪（06）6332－6861
TEL 東京（03）3272－8501

小浦産業株式会社
TEL 大阪（06）6443－6181

光洋物産株式会社
TEL 大阪（06）6252－6000

東郷化成株式会社
TEL 滋賀・守山（0775）83－2381
TEL　大阪（06）6877－1581

SANSEKI
地球が相手。世界とネットワーク。
SANSEKIは、
〝石が拓く新しい世界文化〟の創造に邁進します。



華やかさと気品を合わせもつ
繊細で美しい大理石。
ブリリアントホワイト（スラッシュ仕上げ）
100×200×12mm
¥22,000／㎡



上品な石目模様で
どんなスペースにも合わせやすい磁器質タイル。
外装床タイル
ローツェ 300角
サンセキオリジナル
平物 ¥4,800／㎡
段鼻 ¥1,300／枚
カラーセレクト全9種類

建築石材・施工販売・墓石販売
株式会社サンセキ

本　　社　鳥取県東伯郡北栄町東園323-1　〒689-2293　TEL(0858)49-1111（代表）
建築ブロック　山陰営業所　鳥取県東伯郡北栄町東園323-1　〒689-2293　TEL(0858)49-1118
関西営業所　兵庫県伊丹市西台1-6-13伊丹コアビル501　〒664-0858　TEL(072)784-6701
東京営業所　東京都立川市栄町5-42-36-101　〒190-0003　TEL(042)534-8827

http://www.sanseki.net/index.html

雑誌　03379-7

建築と社会　2008.7　Vol.89　No.1036　社団法人 日本建築協会
〒540-6591　大阪市中央区大手前1-7-31　電話：06-6946-6981　FAX：06-6946-6984　http://www.aaj.or.jp
毎月1回1日発行　昭和24年3月19日第3種郵便物認可　ISSN 0912-8182
定価 1,200円（税込）
正会員の講読料は会費に含めて徴収